

総合教育支援センター研修ガイド

令和3年度版



ひら
未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

Yamaguchi Education Support Center

やまぐち総合教育支援センター

TEL:083-987-1160 FAX:083-987-1200

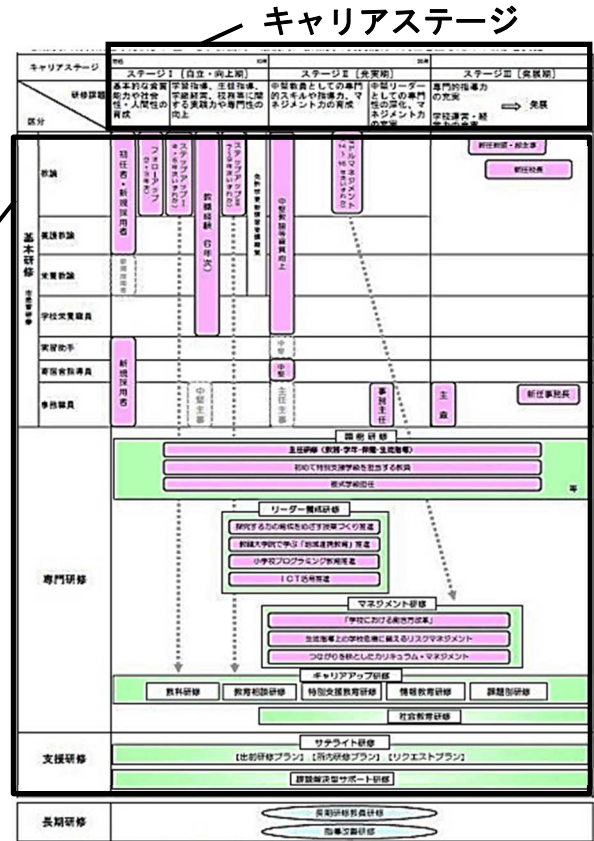
<https://www.ysn21.jp/>

＜総合教育支援センター研修ガイドについて＞

■「研修体系及び研修講座体系」(p 1)

総合教育支援センターにおいて、各キャリアステージに応じて、どのような研修が位置付けられているかを示しています。

各キャリアステージに応じた研修



■「研修体系別講座一覧」(p 2)

総合教育支援センターの全ての研修講座とその対象について、研修区分ごとに示しています。

【研修区分】

- 基本研修**: キャリアステージに応じて、必ず受講する研修
- 専門研修**: 希望（選択）して受講する研修
 - ・**職能研修**: 専門的スキルと指導力を育成する研修（初めて担当になった際に受講）
 - ・**リーダー養成研修**: 学校・地域で研修内容を推進するリーダーを育成する研修
 - ・**マネジメント研修**: マネジメント力を育成する研修
 - ※ミドルマネジメント研修対象者（14～16年次）は、この中から選択
 - ・**キャリアアップ研修**: 自身の課題に応じた資質能力を育成する研修
 - ※ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者（4・5、7～9年次）は、この中から選択

研修区分

研修講座

区分	研修講座名	対象者
基本研修	新任教員研修（初任研修）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（2年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（3年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（4年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（5年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（6年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（7年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（8年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（9年次）	小・中・高 新任教員
	新任教員研修（10年次）	小・中・高 新任教員
専門研修	リーダー養成研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員
支援研修	リーダー養成研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員
	マネジメント研修	小・中・高 新任教員
	キャリアアップ研修	小・中・高 新任教員
	職能研修	小・中・高 新任教員

※本独立行政法人教育支援センターは大学センターとの連携です。

■「研修講座番号一覧」(p 3～)

研修区分ごとに講座番号と該当する講座名、研修講座の詳細が掲載されたページを示しています。研修講座の詳細については、「詳細ページ」の欄に記載したページで確認できます。

研修区分

8 キャリアアップ研修(課題別研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細ページ
講座番号	講座名	講座番号	講座名	講座番号	講座名	講座番号	講座名	講座番号	講座名	講座番号	講座名	
		268	子どもの学びを未来につなぐキャリア教育	368	子どもの学びを未来につなぐキャリア教育	468	子どもの学びを未来につなぐキャリア教育	568	子どもの学びを未来につなぐキャリア教育			p 0
		269	農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育	369	農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育	469	農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育	569	農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育			p 0
		270	JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 小学校					570	JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 小学校			p 0

講座番号、講座名

詳細ページ

■「研修講座内容」(p 16～)

各研修講座の詳細について以下の内容を示しています。

①研修講座名

②校種・講座番号・定員

- ・基本研修は定員欄がありません。
- ・定員が空白の研修講座については、定員数を定めていません。

③開催期日

④研修講座の目的

⑤対象

対象には教職員と教員とがあり、以下のよう

教員

副校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、保育教諭、実習を担任する教諭、助教諭、養護助教諭、講師（常勤）

教職員

上記「教員」に、校長、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、事務職員、技術職員、その他職員を加え全ての職を含む。

①	農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育研修講座	②	校種	幼	小	中	高	特	教
			講座番号	—	269	369	469	569	—
③	期日	④	目的	⑤	対象	⑥	会場	⑦	内容
	令和3年6月29日(火)		環境教育を実践するための資質能力の向上を図るため、地域資源を活用し、農業と持続可能な社会との関わりを通じた環境教育の進め方について研修する。		教職員		山口県立農業大学校(防府市牟礼318)		(講義・実習) 持続可能な農業生産と地球環境 —山口県における農業の現状— ■県立農業大学校 職員 (講義・実習) 農業から考える環境教育 —農業実習を通して— ■県立農業大学校 職員 ※5コースから選択 野菜・花き・果樹・酪農・肉用牛 (研究協議) 持続可能な社会をめざす環境教育の進め方 —各学校の取組を通して—
		⑧	指標		(教)人権教育、(教)道徳、総合、特活、(教)組織的学校の運営、(教)家庭・地域等との連携、(養)人権教育、(養)道徳、総合、特活、(養)組織的学校の運営、(養)家庭・地域等との連携、(食)食に関する指導、(栄)人権教育、(栄)道徳、総合、特活、(栄)組織的学校の運営、(栄)家庭・地域等との連携				

⑥会場

会場は、総合教育支援センター以外で行う場合のみ記載しています。

⑦研修講座の内容

⑧指標

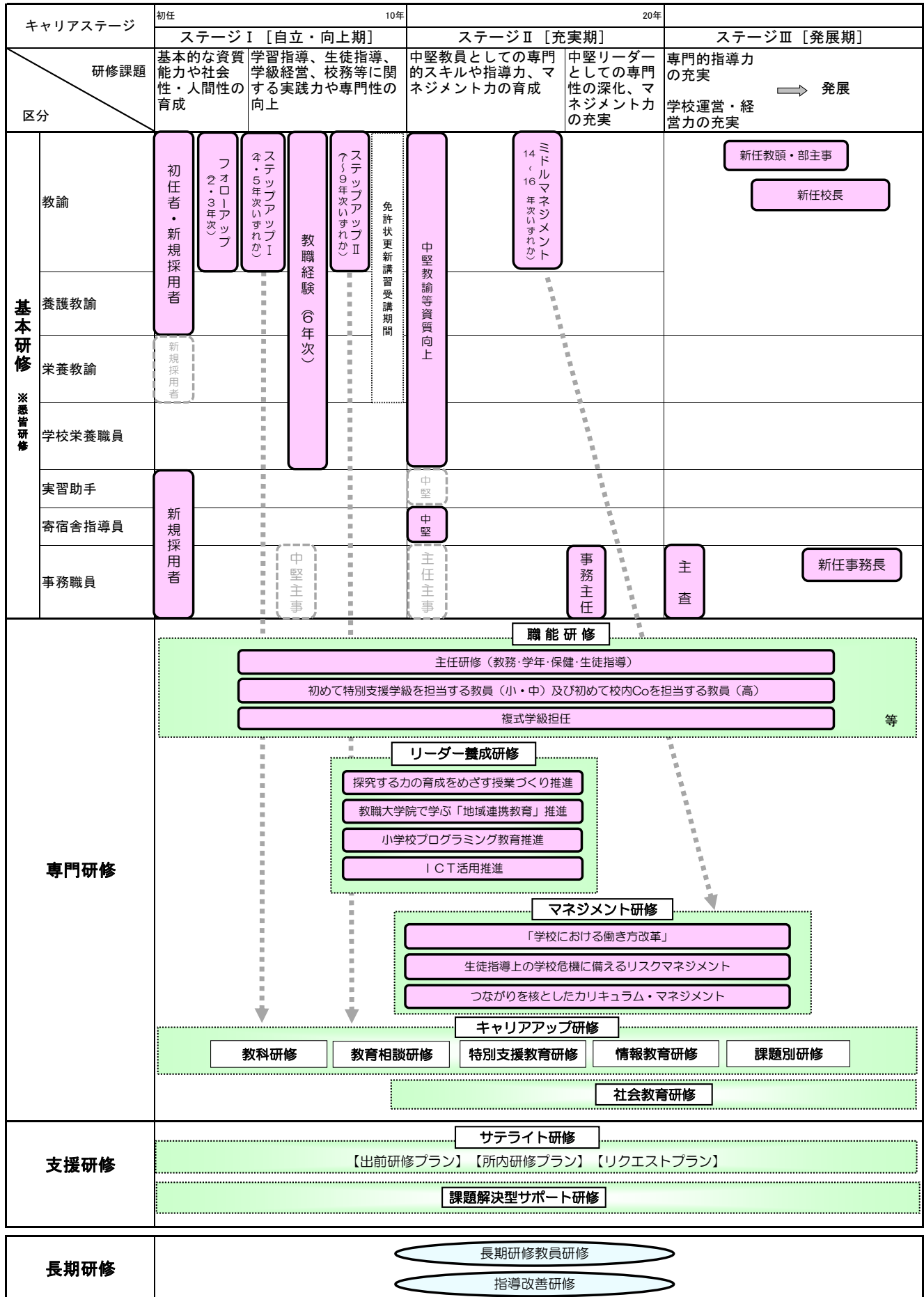
研修講座で育成をねらう山口県教員育成指標（p 8）の指標項目を掲載しています。

目 次

○令和3年度研修体系及び研修講座体系	1
○令和3年度研修体系別研修講座一覧	2
○令和3年度研修講座番号一覧	3
○山口県教員育成指標一覧	8
1 基本研修	16
幼稚園（新規採用教員）	16
小学校（初任者）	19
中学校（初任者）	23
高等学校（初任者）	27
特別支援学校（初任者）	33
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（フォローアップ（2年次）、フォローアップ（3年次）、ステップアップⅠ）	37
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（教職経験教諭（6年次）、ステップアップⅡ）	40
幼稚園（中堅教諭等資質向上）	41
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（中堅教諭等資質向上Ⅰ、ミドルマネジメント）	43
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（新任教頭・部主事、新任校長）	48
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（養護教諭）	50
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（栄養教諭等）	56
高等学校、特別支援学校（実習助手）	59
高等学校、特別支援学校（寄宿舎指導員）	60
小学校、中学校（事務職員）	62
2 専門研修	67
職能研修	67
リーダー養成研修	72
マネジメント研修	77
キャリアアップ研修（教科研修）	79
キャリアアップ研修（教育相談研修）	87
キャリアアップ研修（特別支援教育研修）	88
キャリアアップ研修（情報教育研修）	90
キャリアアップ研修（課題別研修）	92
社会教育研修	95
3 支援研修	96
サテライト研修	96
課題解決型サポート研修	106
4 開放講義	107
5 オープンセミナー	108
6 付記	109
施設案内	109
駐車場案内	110
位置・案内	111

令和3年度研修体系及び研修講座体系

「教職員人材育成基本方針」に基づき、計画的・継続的に教職員の資質能力の向上を図るための研修を実施



- 基本研修とは、キャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図る研修をいう。
- 専門研修とは、一人ひとりの適性や能力に応じて専門性を高める研修をいう。
- 支援研修とは、課題の解決に向けた組織的な学校運営を支援する研修をいう。

○凡例

研修区分名

研修講座名

本年度は実施しない研修講座

その他

.....▶ 矢印先の研修区分の中から選択

令和3年度研修体系別研修講座一覧

区分		研修講座名				
基本研修	幼特	新規採用教員（幼稚園）	小中高特	新任校長		
	小	小初任者	小中高特	養護教諭新規採用者		
	中	中初任者	小中高特	教職経験養護教諭（6年次）		
	高	高初任者	小中高特	中堅養護教諭資質向上		
	特	特初任者	小中高特	教職経験栄養教諭等（6年次）		
	小中高特	フォローアップ（2年次）	小中高特	中堅栄養教諭等資質向上		
	小中高特	フォローアップ（3年次）	高特	実習助手新規採用者		
	小中高特	ステップアップⅠ（4～5年次）	特	寄宿舎指導員新規採用者		
	小中高特	教職経験教諭（6年次）	特	中堅寄宿舎指導員資質向上		
	小中高特	ステップアップⅡ（7～9年次）	小中	新規採用事務職員課程		
	幼特	中堅教諭等資質向上（幼稚園）	小中	事務職員事務主任課程		
	小中高特	中堅教諭等資質向上	小中	事務職員主査課程		
	小中高特	ミドルマネジメント（14～16年次）	小中	事務職員新任事務長課程		
	小中高特	新任教頭・部主事	※小中 栄養教諭新規採用者、高特 中堅実習助手資質向上については、令和3年度は実施しない。			
専門研修	職能研修	小中高特	教務主任	小中高	初めて特別支援学級を担当する教員（小・中）及び初めて校内Coを担当する教員（高）	
		小中高特	学年主任	小	複式学級担任	
		小中高特	保健主任	高特	観察、実験の技能を高める実習助手	
		小中高特	生徒指導主任	教委等	教育委員会事務局新任職員等	
	リーダー養成研修	小中高特	探究する力の育成をめざす授業づくり推進（リーダー養成）	小中特	★ICT活用推進（小・中・特）（リーダー養成）	
		小中高特教委等	★教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進（リーダー養成）	高	★ICT活用推進（高）（リーダー養成）	
		小	小学校プログラミング教育推進（リーダー養成）			
	マネジメント研修	幼小中高特	「学校における働き方改革」	小中高特	つながりを核としたカリキュラム・マネジメント	
		幼小中高特	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント			
	キャリアアップ研修	教科研修	小中特	情報を関連付けて読む力を育てる国語科授業づくり	高特	新学習指導要領の実施に向けた外国語科（英語）
			高特	表現を吟味して書く力を育成する国語科	小中特	考え、議論する道徳科授業づくり
			中高特	新学習指導要領を踏まえた社会科（歴史的分野）・地理歴史科「歴史総合」	小特	深い学びにつなげる理科授業づくり
			小特	対話を通して学びを深める算数科授業づくり	小特	これで安心！基礎から学ぶ理科観察、実験
			中高特	数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくり	中特	深い学びにつなげる理科（第1分野）観察、実験
			小中特	食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり	中特	深い学びにつなげる理科（第2分野）観察、実験
			中特	「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」について基礎から学ぶ技術・家庭科（技術分野）	高特	深い学びにつなげる理科（物理）授業づくり
		小中特	小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科（英語）			
		教育相談研修	小中高特	教育相談におけるコーディネート力養成	小中高特	今日から始める不登校に関する支援の在り方
		特別支援教育研修	幼小中高特	ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた発達障害のある子どもを含む全ての子どもへの支援	幼小中高特	専門性を高める特別支援教育（自閉症・情緒障害、視覚障害）
			幼小中高特	専門性を高める特別支援教育（知的障害、肢体不自由）	幼小中高	通級による指導の充実
			情報教育研修	小特 中特	基礎からはじめるICT活用（小・特） 基礎からはじめるICT活用（中・特）	高特
		課題別研修	小中高特	子どもの学びを未来につなぐキャリア教育	中高特	JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 中学校・高等学校 地理情報システム（GIS）を用いたデータ活用
	小中高特		農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育	小中高特	社会教育の視点を学校教育に生かすための社会教育主事有資格者等	
	小特		JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 小学校			
	社会教育研修	教委等	社会教育の視点を業務に生かすための社会教育主事有資格者等	教委等	社会教育指導者のための人権教育	
	支援研修	サテライト研修	出前研修プラン	キャリア教育 危機管理、人権教育、AFPY活用 小中高 授業研究支援 小 授業づくり 国語、社会、算数、家庭、外国語活動・外国語、道徳、外国語活動、複式学級、理科実験（1～18） 中 授業づくり 国語、社会、数学、技術・家庭（家庭分野）、外国語（英語）、道徳、理科実験（1～13） 高 授業づくり 国語、地理歴史、公民、数学、外国語（英語）、家庭、実習助手理科実験 総合的な学習（探究）の時間 ICTセミナー（1～5） 発達障害教育セミナー（1～3）、高等学校における特別支援教育、特別支援教育授業研究 サポートセミナー（1～4）		
所内研修プラン			理科実験セミナー			
リクエストプラン						
課題解決型サポート研修						

★は独立行政法人教職員支援機構山口大学センターとの共催です。

令和3年度研修講座番号一覧

基本研修

※小中 栄養教諭新規採用者、高特 中堅実習助手資質向上研修については、令和3年度は実施しません。

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
101	新規採用教員(幼稚園)							501	新規採用教員(幼稚園)			p16
		202	小初任者									p19
				303	中初任者							p23
						404	高初任者					p27
								505	特初任者			p33
		206	フォローアップ(2年次)	306	フォローアップ(2年次)	406	フォローアップ(2年次)	506	フォローアップ(2年次)			p37
		207	フォローアップ(3年次)	307	フォローアップ(3年次)	407	フォローアップ(3年次)	507	フォローアップ(3年次)			p39
		208	ステップアップⅠ(4～5年次)	308	ステップアップⅠ(4～5年次)	408	ステップアップⅠ(4～5年次)	508	ステップアップⅠ(4～5年次)			p39
		209	教職経験教諭(6年次)	309	教職経験教諭(6年次)	409	教職経験教諭(6年次)	509	教職経験教諭(6年次)			p40
		210	ステップアップⅡ(7～9年次)	310	ステップアップⅡ(7～9年次)	410	ステップアップⅡ(7～9年次)	510	ステップアップⅡ(7～9年次)			p40
111	中堅教諭等資質向上(幼稚園)							511	中堅教諭等資質向上(幼稚園)			p41
		212	中堅教諭等資質向上	312	中堅教諭等資質向上	412	中堅教諭等資質向上	512	中堅教諭等資質向上			p43
		213	ミドルマネジメント(14～16年次)	313	ミドルマネジメント(14～16年次)	413	ミドルマネジメント(14～16年次)	513	ミドルマネジメント(14～16年次)			p47
		214	新任教頭・部主事	314	新任教頭・部主事	414	新任教頭・部主事	514	新任教頭・部主事			p48
		215	新任校長	315	新任校長	415	新任校長	515	新任校長			p49
		216	養護教諭新規採用者	316	養護教諭新規採用者	416	養護教諭新規採用者	516	養護教諭新規採用者			p50
		217	教職経験養護教諭(6年次)	317	教職経験養護教諭(6年次)	417	教職経験養護教諭(6年次)	517	教職経験養護教諭(6年次)			p53
		218	中堅養護教諭資質向上	318	中堅養護教諭資質向上	418	中堅養護教諭資質向上	518	中堅養護教諭資質向上			p54
		219	教職経験栄養教諭等(6年次)	319	教職経験栄養教諭等(6年次)	419	教職経験栄養教諭等(6年次)	519	教職経験栄養教諭等(6年次)			p56
		220	中堅栄養教諭等資質向上	320	中堅栄養教諭等資質向上	420	中堅栄養教諭等資質向上	520	中堅栄養教諭等資質向上			p57
						421	実習助手新規採用者	521	実習助手新規採用者			p59
								522	寄宿舎指導員新規採用者			p60
								523	中堅寄宿舎指導員資質向上			p61
		224	新規採用事務職員課程	324	新規採用事務職員課程							p62
		225	事務職員事務主任課程	325	事務職員事務主任課程							p65
		226	事務職員主査課程	326	事務職員主査課程							p66
		227	事務職員新任事務長課程	327	事務職員新任事務長課程							p66

令和3年度研修講座番号一覧

専門研修

1 職能研修

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		228	教務主任	328	教務主任	428	教務主任	528	教務主任			p67
		229	学年主任	329	学年主任	429	学年主任	529	学年主任			p67
		230	保健主任	330	保健主任	430	保健主任	530	保健主任			p68
		231	生徒指導主任	331	生徒指導主任	431	生徒指導主任	531	生徒指導主任			p68
		232	初めて特別支援学級を担当する教員(小・中)及び初めて校内Coを担当する教員(高)	332	初めて特別支援学級を担当する教員(小・中)及び初めて校内Coを担当する教員(高)	432	初めて特別支援学級を担当する教員(小・中)及び初めて校内Coを担当する教員(高)					p69
		233	複式学級担任									p69
						434	観察、実験の技能を高める実習助手	534	観察、実験の技能を高める実習助手			p70
										635	教育委員会事務局新任職員等	p71

2 リーダー養成研修

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		236	探究する力の育成をめざす授業づくり推進(リーダー養成)	336	探究する力の育成をめざす授業づくり推進(リーダー養成)	436	探究する力の育成をめざす授業づくり推進(リーダー養成)	536	探究する力の育成をめざす授業づくり推進(リーダー養成)			p72
		237	教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進	337	教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進	437	教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進	537	教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進	637	教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進	p73
		238	小学校プログラミング教育推進(リーダー養成)									p74
		239	ICT活用推進(小・中・特)(リーダー養成)	339	ICT活用推進(小・中・特)(リーダー養成)			539	ICT活用推進(小・中・特)(リーダー養成)			p75
						440	ICT活用推進(高)(リーダー養成)					p76

※塗りつぶしの研修講座については、教育委員会で受講者を選定するので、希望選択できません。

3 マネジメント研修

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
141	「学校における働き方改革」	241	「学校における働き方改革」	341	「学校における働き方改革」	441	「学校における働き方改革」	541	「学校における働き方改革」			p77
142	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント	242	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント	342	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント	442	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント	542	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント			p77
		243	つながりを核としたカリキュラム・マネジメント	343	つながりを核としたカリキュラム・マネジメント	443	つながりを核としたカリキュラム・マネジメント	543	つながりを核としたカリキュラム・マネジメント			p78

令和3年度研修講座番号一覧

4 キャリアアップ研修(教科研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		244	情報を関連付けて読む力を育てる国語科授業づくり	344	情報を関連付けて読む力を育てる国語科授業づくり			544	情報を関連付けて読む力を育てる国語科授業づくり			p79
						445	表現を吟味して書く力を育成する国語科	545	表現を吟味して書く力を育成する国語科			p79
				346	新学習指導要領を踏まえた社会科(歴史的分野)・地理歴史科「歴史総合」	446	新学習指導要領を踏まえた社会科(歴史的分野)・地理歴史科「歴史総合」	546	新学習指導要領を踏まえた社会科(歴史的分野)・地理歴史科「歴史総合」			p80
		247	対話を通して学びを深める算数科授業づくり					547	対話を通して学びを深める算数科授業づくり			p80
				348	数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくり	448	数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくり	548	数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくり			p81
		249	食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり	349	食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり			549	食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり			p81
				350	「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」について基礎から学ぶ技術・家庭科(技術分野)			550	「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」について基礎から学ぶ技術・家庭科(技術分野)			p82
		251	小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科(英語)	351	小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科(英語)			551	小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科(英語)			p82
						452	新学習指導要領の実施に向けた外国語科(英語)	552	新学習指導要領の実施に向けた外国語科(英語)			p83
		253	考え、議論する道徳科授業づくり	353	考え、議論する道徳科授業づくり			553	考え、議論する道徳科授業づくり			p83
		254	深い学びにつなげる理科授業づくり					554	深い学びにつなげる理科授業づくり			p84
		255	これで安心！基礎から学ぶ理科観察、実験					555	これで安心！基礎から学ぶ理科観察、実験			p84
				356	深い学びにつなげる理科(第1分野)観察、実験			556	深い学びにつなげる理科(第1分野)観察、実験			p85
				357	深い学びにつなげる理科(第2分野)観察、実験			557	深い学びにつなげる理科(第2分野)観察、実験			p85
						458	深い学びにつなげる理科(物理)授業づくり	558	深い学びにつなげる理科(物理)授業づくり			p86

令和3年度研修講座番号一覧

5 キャリアアップ研修(教育相談研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		259	教育相談における コーディネート力養成	359	教育相談における コーディネート力養成	459	教育相談における コーディネート力養成	559	教育相談における コーディネート力養成			p87
		260	今日から始める不登 校に関する支援の在 り方	360	今日から始める不登 校に関する支援の在 り方	460	今日から始める不登 校に関する支援の在 り方	560	今日から始める不登 校に関する支援の在 り方			p87

6 キャリアアップ研修(特別支援教育研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
161	ユニバーサルデザイ ンの考え方を取り入れ た発達障害のある子 どもを含む全ての子ど もへの支援	261	ユニバーサルデザイ ンの考え方を取り入れ た発達障害のある子 どもを含む全ての子ど もへの支援	361	ユニバーサルデザイ ンの考え方を取り入れ た発達障害のある子 どもを含む全ての子ど もへの支援	461	ユニバーサルデザイ ンの考え方を取り入れ た発達障害のある子 どもを含む全ての子ど もへの支援	561	ユニバーサルデザイ ンの考え方を取り入れ た発達障害のある子 どもを含む全ての子ど もへの支援			p88
162	専門性を高める特別 支援教育(知的障害、 肢体不自由)	262	専門性を高める特別 支援教育(知的障害、 肢体不自由)	362	専門性を高める特別 支援教育(知的障害、 肢体不自由)	462	専門性を高める特別 支援教育(知的障害、 肢体不自由)	562	専門性を高める特別 支援教育(知的障害、 肢体不自由)			p88
163	専門性を高める特別 支援教育(自閉症・情 緒障害、視覚障害)	263	専門性を高める特別 支援教育(自閉症・情 緒障害、視覚障害)	363	専門性を高める特別 支援教育(自閉症・情 緒障害、視覚障害)	463	専門性を高める特別 支援教育(自閉症・情 緒障害、視覚障害)	563	専門性を高める特別 支援教育(自閉症・情 緒障害、視覚障害)			p89
164	通級による指導の充 実	264	通級による指導の充 実	364	通級による指導の充 実	464	通級による指導の充 実					p89

7 キャリアアップ研修(情報教育研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		265	基礎からはじめるICT 活用(小・特)					565	基礎からはじめるICT 活用(小・特)			p90
				366	基礎からはじめるICT 活用(中・特)			566	基礎からはじめるICT 活用(中・特)			p90
						467	基礎からはじめるICT 活用(高・特)	567	基礎からはじめるICT 活用(高・特)			p91

令和3年度研修講座番号一覧

8 キャリアアップ研修(課題別研修)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
		268	子どもの学びを未来 につなぐキャリア教育	368	子どもの学びを未来 につなぐキャリア教育	468	子どもの学びを未来 につなぐキャリア教育	568	子どもの学びを未来 につなぐキャリア教育			p92
		269	農業の視点から持続 可能な社会をめざす 環境教育	369	農業の視点から持続 可能な社会をめざす 環境教育	469	農業の視点から持続 可能な社会をめざす 環境教育	569	農業の視点から持続 可能な社会をめざす 環境教育			p92
		270	JAXA・やまぐち宇宙 教育推進事業 小学 校					570	JAXA・やまぐち宇宙 教育推進事業 小学 校			p93
				371	JAXA・やまぐち宇宙 教育推進事業 中学 校・高等学校 地理情 報システム(GIS)を用 いたデータ活用	471	JAXA・やまぐち宇宙 教育推進事業 中学 校・高等学校 地理情 報システム(GIS)を用 いたデータ活用	571	JAXA・やまぐち宇宙 教育推進事業 中学 校・高等学校 地理情 報システム(GIS)を用 いたデータ活用			p94
		272	社会教育の視点を学 校教育に生かすため の社会教育主事有資 格者等	372	社会教育の視点を学 校教育に生かすため の社会教育主事有資 格者等	472	社会教育の視点を学 校教育に生かすため の社会教育主事有資 格者等	572	社会教育の視点を学 校教育に生かすため の社会教育主事有資 格者等			p94

9 社会教育研修

幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		教育委員会等		詳細 ページ
講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	講座 番号	講座名	
										673	社会教育の視点を業 務に生かすための社 会教育主事有資格者 等	p95
										674	社会教育指導者のた めの人権教育	p95

山口県教員育成指標【教諭】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性もち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
求められる資質能力		山口県に掲げる教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。
区分	項目				
教諭【専門・実践力向上期】	授業計画	○学習指導要領に示された教科等の目標及び内容並びに児童生徒の実態に即した授業構想の重要性を理解している。	○教科等に関する専門的な知識・技能を活用し、児童生徒の実態を踏まえて、ねらいを明確にした年間・単元・単位の授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえて適切な教材研究・開発を行っている。	○児童生徒の発達の段階や習熟度、学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえた教材研究・開発を行い、他の教員と共有している。	○授業計画の作成について、他の教員に対して適切な助言を行っている。 ○教材研究・開発の在り方について、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	授業実施	○基本的な指導方法や教科等の特性に応じた指導形態等について理解している。 ○ＩＣＴを始めとした教材・教具の活用など、効果的な授業の在り方について理解している。	○基本的な指導方法や場面に適した指導形態等を理解し、児童生徒の反応を見ながら個に応じた指導を行っている。 ○授業の中でＩＣＴ等を積極的に活用した指導を行っている。	○指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら主体的な学習を促す指導を行っている。 ○授業の中でＩＣＴ等を効果的に活用し、児童生徒の学力向上につなげている。	○指導方法や指導形態等について、他の教員に対して適切な助言を行っている。 ○ＩＣＴ等の活用について、専門性の向上を図りながら、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	評価	○学習評価の考え方を理解している。	○指導と評価の一体化について理解し、評価基準を設定している。 ○指導と評価の計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かしている。	○評価の信頼性を高めるために、評価基準や評価方法の改善を図っている。 ○評価を児童生徒の学力の向上を図る指導に生かしている。	○指導と評価の計画に従って、信頼性の高い評価を行っている。 ○他の教員に対して、評価の改善につながる適切な助言を行っている。
	授業研究 授業改善	○模擬授業や教育実習における授業実践等の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 ○授業改善の視点としての主体的・対話的で深い学びの実現の重要性を理解している。	○日常的に授業を公開し、他の教員や地域の方々の指導・助言や授業評価を受け、自己のよさや課題に気づき、授業改善に努めている。 ○主体的・対話的で深い学びについて理解し、授業を実践している。	○校外の教員等を対象とした研究授業を積極的にこに行い、授業評価も踏まえながら授業力の向上に努めている。 ○学習目標に応じて適切な授業形態を用い、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている。	○他の教員に対して、助言を積極的にこに行い、授業研究や教材開発に取り組む雰囲気づくりに努めている。 ○児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、他の教員に適切な助言を行っている。
生徒指導・教育相談・教員相談に関わる人	児童生徒理解	○受容、傾聴、共感的理解の大切さを理解している。	○学校の指導方針を基に、児童生徒一人ひとりへの理解を深め、柔軟かつ適切に児童生徒への指導助言を行っている。	○的確な児童生徒理解に努めることを通して、児童生徒の自己指導能力を高め、主体的な行動を促すよう、組織的な動きの中心となって対応している。	○関係機関と連携を図りながら、組織的・計画的に児童生徒への支援を進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	教育相談 (カウンセリング)	○教育相談に関する基礎的な知識を身に付けている。	○教育相談に関する基礎的な知識・技能を身に付け、傾聴の大切さを理解し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援をしている。	○教育相談に関する高い見識と専門性を身に付けるとともに、スクール・カウンセラーと連携して、児童生徒や周囲の状況を把握しながら対応している。	○あらゆる場面で児童生徒に適切に関わることができるように、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	問題行動への対応	○生徒指導上の課題及び対応の視点を理解している。 ○いじめに対する基本的な知識を有し、いじめ防止の重要性を理解している。	○直面する課題を把握し、他の教職員と情報を共有しながら解決に努めるとともに、児童生徒、保護者に対して丁寧に対応している。 ○いじめ防止等の基本的な方針を理解し、児童生徒のささいな変化に気付く力を高め、いじめの早期発見に努めるとともに、組織的な対応につなげている。	○他の教職員と情報を共有しながら客観的な事実の把握に努め、組織的な動きの中心となることにも、児童生徒、保護者への信頼感に基づいた対応をしている。 ○組織的な対応の中核となって、いじめの根絶及び解決に向けた取組を推進している。	○直面する課題の解決に向けて、他の教職員の抱える課題を共有し、助言したり、具体的方策を提案したりしている。 ○いじめ防止等の基本的な方針や、いじめに係る組織的な対応の中で、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
その他の教育活動に関わる人	人権教育	○基本的な人権の意義や理念について正しい理解と認識をもっている。	○基本的な人権の意義や理念について正しい理解と認識をもち、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、人権尊重の視点に立って指導している。	○学校運営における自己の役割を踏まえ、学校や学年の課題を把握し、課題解決に向けて人権尊重の視点に立って取り組み、成果を得ている。	○人権が尊重された学校づくりを推進するため、校内推進体制の構築や家庭・地域との連携等において、人権尊重の視点に立って指導的な役割を果たしている。
	進路指導・キャリア教育	○教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や目標を理解している。	○進路指導・キャリア教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ○進路に関する情報を収集し、それを基に、児童生徒に対して適切なガイダンスを行っている。	○各種体験活動の充実や家庭、地域、産業界等との連携協力体制の強化に努めている。	○小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的な推進、学校の教育全体を通じた組織的・効果的な推進に向けて中心的な役割を果たしている。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
その他の教職活動に関わらない	特別支援教育	○特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念、合理的配慮の提供に関する考え方を理解している。 ○特別な教育的支援を必要とする児童生徒の多様な教育的ニーズを理解しようとしている。	○障害等により困難を示す児童生徒の気持ちや、その背景を理解しようとしている。 ○障害等による困難に応じた多様な学習指導、学級経営の方法を知っている、又は活用している。 ○校内支援体制の仕組みや個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成について理解し、参画している。	○児童生徒の障害者理解を深める指導や交流及び共同学習の内容・方法の改善に努めている。 ○特別支援教育の視点を取り入れ、自分の学習指導、学級経営、生徒指導の幅を広げている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画を活用し、他の教職員や校内コーディネーター、家庭、関係機関と連携して支援している。	○児童生徒の障害者理解を促進するための実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。 ○特別支援教育の視点を踏まえた学習指導・学級経営・生徒指導の実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用、校内委員会や事例検討会の充実等に向け、中心的役割を果たしている。
	道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関すること	○学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。 ○総合的な学習の時間の意義や役割について、教科を越えて必要となる資質能力の育成の観点から理解している。 ○特別活動の目標及び内容を理解している。	○学校における道徳教育の重要性を理解し、ねらいを明確にした道徳科の授業を行っている。 (高等学校：教育活動全体で道徳教育に取り組んでいる。) ○学習課題に対して、横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践している。 ○特別活動の意義を理解し、児童生徒の主体的な活動となるよう積極的に指導を行っている。	○道徳科を要とし、教育活動全体を通じた道徳教育に取り組んでいる。 ○学習課題を学校の実態に応じて設定し、横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践している。 ○特別活動の意義を理解し、児童生徒の自治的能力の育成を重視した指導を行っている。	○道徳教育を推進するとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践するとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○各学年、教科との関連、地域や異校種と連携した組織的な指導を計画的に進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
学校運営に関わらない	学級（学年）経営	○学級経営の仕組み及び効果的な方法を理解している。	○学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえ、学級（学年）集団の規律を維持し、計画的な活動を行っている。	○学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえ、他の教職員と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりの能力を高め、積極的に学級（学年）経営を行っている。	○校内における学級（学年）経営の要として、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	校務分掌への取組	○校務分掌の仕組み及び必要性を理解している。	○担当する校務分掌について、他の分掌や全体との関わりの中で自己の役割を理解し、迅速かつ的確に処理している。	○校務分掌について、課題を把握し、工夫や改善をしながら、中核となって取り組んでいる。	○校務分掌間の調整を図りながら、積極的に取り組むとともに、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	組織的・学校運営への参画	○学校運営に関して、組織的な対応の必要性を理解している。 ○児童生徒と向き合う時間を確保するためにも、効率的な業務遂行が必要であることを理解している。 ○教育課程の役割や機能、意義について理解している。	○学校運営に関して、自分の役割を理解し、学校教育目標の達成に努めている。 ○教員として必要な知識・技能を高めるよう研鑽するとともに、他の教職員と協力し、限られた時間の中で最大限の効果をあげるよう努めている。 ○学習指導要領に従い、学校教育目標の達成に向けて、教育課程に基づいて児童生徒の実態に応じた指導に取り組んでいる。	○自校の状況や課題への対応について積極的に意見を述べ、課題解決や学校教育目標の達成に向けて組織的に行動している。 ○教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働くことができるよう、効率的・効果的な学校の指導・運営体制の構築に向け、具体的な提言をしている。 ○自校の特色を生かした教育課程の編成に当たり、積極的に提言している。	○高い能力や専門性を発揮し、様々な校務を通して学校運営に積極的に参画している。 ○持続可能な学校の指導・運営体制の構築に参画するとともに、教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現を呼びかけている。 ○自校や地域の特色を生かした教育課程の編成に積極的に参画している。
	学校安全	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けている。	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けるとともに、学校内の危険を察知し、児童生徒の安全管理のために適切に対応している。	○学校安全に関わる研修等を企画するとともに、校内の危機管理体制や危機管理マニュアル等の点検・改善について提言している。	○学校を取り巻く危険について、家庭、地域、関係機関との協力体制を確立するとともに、危機管理体制の状況を常に把握して、緊急時においても適切に判断している。
	家庭、地域、関係機関等との連携	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義や学校運営協議会の仕組みを理解している。	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義を理解し、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組に積極的に参加して、保護者や地域の方との信頼関係を築いている。	○学校課題の解決、教育目標の達成に向けて、学校支援・地域貢献の取組の企画・立案など、学校運営に積極的に参加している。 ○地域連携担当教職員等と協力し、家庭、地域や関係機関等と連携・協働してコミュニティ・スクールの取組の充実に努めている。	○これまでの実践や経験を生かして、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組など、学校運営に積極的に参画している。
	人材育成	○疑問や悩みを相談し、チームで対応する必要性を理解している。	○疑問や悩みを相談・共有しながら、自らの実践力を磨いている。	○互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の深い教職員を積極的に支援している。	○人材育成の重要性を踏まえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境づくりに協力するとともに、若手、中堅の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	法令遵守	○教育公務員として求められる法令を理解し、教育に対する強い使命感や情熱をもっている。	○教育に対する強い使命感や情熱をもち、信頼関係に基づいて職務を遂行するとともに、法令を遵守し、不祥事の防止に努めている。	○学校運営の一翼を担い、高い倫理観と規範意識に基づいて法令遵守の重要性を他の教職員に助言している。	○高い危機管理意識をもって学校運営に積極的に参画し、法令遵守の重要性を教職員全体に指導するとともに、模範となっている。

山口県教員育成指標【養護教諭】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性を持ち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
求められる資質能力		山口県の場合教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教職員の人材育成に取り組みたりしながら、企画力・調整力を発揮している。
区分	項目				
保健管理・保健教育・保健相談に関する力	保健管理	○児童生徒の実態の把握の必要性を認識している。 ○基本的な処置の仕方や健康診断の計画・立案、学校環境衛生基準に基づく検査の実施等、保健管理について理解している。 ○アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解している。	○児童生徒の健康課題を早期に見出し、適切に対応している。 ○学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防等、適切な保健管理を行っている。 ○救急処置の技術を高めるとともに、医学的な情報や現代的な健康課題の傾向等を、教職員に的確に周知している。	○児童生徒の健康課題の解決に向けて支援方法を立てるなど、組織的に対応している。 ○保健管理に関して、指導的な立場を果たしている。 ○現代的な健康課題に迅速に対応できるよう校内研修を企画するなど、教職員の資質能力向上に参画している。	○専門性を生かし、児童生徒の健康課題の解決に向けて、校内及び地域の関係機関と連携を図っている。 ○豊かな経験を生かして、学校保健に係る学校運営に参画している。 ○現代的な健康課題に適切に対応するため、常に新たな知識や技能を習得し、学校内・学校外で指導的立場を果たしている。
	保健教育	○学習指導要領を理解し、学校における保健教育の重要性を認識している。	○養護教諭の役割を理解した上で、学級担任、教科担任等と連携し、専門性を生かしながら授業に参画している。	○児童生徒の実態を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを促す指導及び信頼性の高い評価を行うとともに、それらの改善に努めている。	○児童生徒や地域の健康課題を踏まえ、地域の専門家や関係機関等と連携した指導を進めるとともに、他の教職員に指導や助言を行っている。
	健康相談	○健康診断や日常の健康観察の結果等を基にした、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談の重要性を理解している。	○養護教諭の専門性を生かして、対象児童生徒が発するサインにいち早く気づき、基本的なプロセスを踏まえた健康相談を実施している。	○対象児童生徒の心身の状況を医学的な観点から捉え、校内支援体制の充実を図りながら健康相談を実施している。	○対象児童生徒の心身の状況を総合的に捉え、学校及び地域の関係機関との連携に係るコーディネーターの役割を果たしながら、継続した支援方針・支援方法を検討している。
生徒指導・教育相談に関する力	児童生徒理解	○受容、傾聴、共感的理解の大切さを理解している。 ○いつでもだれでも相談できる保健室の必要性を理解している。	○学校の指導方針を基に、児童生徒一人ひとりへの理解を深め、柔軟かつ適切に児童生徒への指導助言を行っている。 ○いつでもだれでも相談できる保健室環境を整え、児童生徒理解に努めている。	○的確な児童生徒理解に努めることを通して、児童生徒の自己指導能力を高め、主体的な行動を促すよう、組織的な動きの中心となって対応している。 ○保健室だけでなく、あらゆる場面で児童生徒への声かけなどを通して日頃の状況把握に努めている。	○関係機関と連携を図りながら、組織的・計画的に児童生徒への支援を進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○日頃の児童生徒の状況を的確に把握し、児童生徒の問題の早期発見・早期対応につなげるとともに、重大事案の未然防止に努めている。
	教育相談（カウンセリング）	○教育相談に関する基礎的な知識を身に付けている。	○教育相談に関する基礎的な知識・技能を身に付け、傾聴の大切さを理解し、必要に応じて医療機関と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援をしている。	○教育相談に関する高い見識と専門性を身に付けるとともに、スクール・カウンセラーと連携して、児童生徒や周囲の状況を把握しながら対応している。	○あらゆる場面で児童生徒に適切に関わることをできるように、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	問題行動への対応	○生徒指導上の課題及び対応の視点を理解している。 ○いじめに対する基本的な知識を有し、いじめ防止の重要性を理解している。	○保健室の特性を生かし、直面する課題を把握し、他の教職員と情報を共有しながら解決に努めるとともに、児童生徒、保護者に対して丁寧に対応している。 ○いじめ防止等の基本的な方針を理解し、児童生徒のささいな変化に気付く力を高め、いじめの早期発見に努めるとともに、組織的な対応につなげている。	○他の教職員と情報を共有しながら客観的な事実の把握に努めるとともに、多角的に児童生徒を捉え、組織的な動きの中心となって、関係教職員と連携して対応している。 ○組織的な対応の中で、養護をつかさどる立場として、いじめの根絶及び解決に向けた取組を推進している。	○関係機関との連携を図るとともに、他の教職員の抱える課題を共有し、助言したり、具体的な方策を提案したりしている。 ○いじめ防止等の基本的な方針や、いじめに係る組織的な対応の中で、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
人権教育・進路指導に関する力	人権教育	○基本的な人権の意義や理念について正しい理解と認識をもっている。	○基本的な人権の意義や理念について正しい理解と認識をもち、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、人権尊重の視点に立って指導している。	○学校運営における自己の役割を踏まえ、学校や学年の課題を把握し、課題解決に向けて人権尊重の視点に立って取り組み、成果を得ている。	○人権が尊重された学校づくりを推進するため、校内推進体制の構築や家庭、地域との連携等において、人権尊重の視点に立って指導的な役割を果たしている。
	進路指導・キャリア教育	○教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や目標を理解している。	○進路指導・キャリア教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	○各種体験活動の充実や家庭、地域、産業界等との連携協力体制の強化に努めている。	○小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的な推進、学校の教育全体を通じた組織的・効果的な推進に積極的に参画している。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
その他の教職活動に関わらない	特別支援教育	○障害のある児童生徒の生理・病理に関する一般的な知識を身に付けようとしている。 ○特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念、合理的配慮の提供に関する考え方を理解している。 ○特別な教育的支援を必要とする児童生徒の多様な教育的ニーズを理解しようとしている。	○学校に在籍している障害のある児童生徒の生理・病理に関する基礎的な知識を身に付けている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づき、専門的立場から必要な支援や配慮を行っている。 ○児童生徒の障害に関する保護者や担任からの健康相談等に真摯に対応し、その意見や事情を踏まえた支援や配慮を行っている。	○疾病の状況や障害の特性に応じた個別の保健指導を積極的に進めている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成と評価において、専門的立場から意見を述べている。 ○児童生徒の障害に関する健康相談の内容を校内で共有し、必要に応じて医療機関や保健機関と連絡・調整を図っている。	○疾病の状況や障害の特性に応じた支援や配慮の実践を蓄積し、校内や家庭への普及を進めている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用、校内委員会の充実等による保健指導推進の中心的な役割を果たしている。 ○災害時等における障害のある児童生徒への支援など、校内の安心安全な教育環境の構築について提案している。
	道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関すること	○学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じて指導の必要性を理解している。 ○総合的な学習の時間の意義や役割について、教科を越えて必要となる資質能力の育成の観点から理解している。 ○特別活動の目標及び内容を理解している。	○学校における道徳教育の重要性を理解し、教育活動全体で、道徳教育に取り組んでいる。 ○総合的な学習の時間における健康に関わる学習課題について、横断的・探究的な学習となるよう学級担任等に情報提供している。 ○特別活動の意義を理解し、積極的に保健指導を行っている。	○教育活動全体を通じて、保健指導と道徳教育を関連付けて取り組んでいる。 ○目標の実現のためにふさわしい健康課題を学校の実態に応じて設定し、横断的・探究的な学習となるよう学級担任等と連携している。 ○特別活動と保健指導を関連付け、児童生徒の自治的能力の育成を重視した指導を行っている。	○教育活動全体との関連を図りながら、保健指導と道徳教育を関連付けた指導計画の作成・見直しを行っている。 ○健康課題の解決に向けて、横断的・探究的な学習を展開するとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○各学年、教科との関連、地域や異校種と連携した組織的な指導を計画的に進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
学校運動に関わらない	校務分掌への取組	○校務分掌の仕組み及び必要性を理解している。	○担当する校務分掌について、他の分掌や全体との関わりの中で自己の役割を理解し、迅速かつ的確に処理している。	○校務分掌について、課題を把握し、工夫や改善をしながら、中核となって取り組んでいる。	○校務分掌間の調整を図りながら、積極的に取り組むとともに、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	保健室経営	○保健室経営の概念を知り、学校教育目標や学校保健目標などを受け、保健室経営計画を立てる方法を身に付けている。	○学校や児童生徒の実態に即した保健室経営計画を立て、学校保健推進のセンター的役割を果たすよう取り組んでいる。	○養護教諭の職務や保健室の機能を考慮し、学校保健推進のセンター的役割を果たす保健室経営において達成すべき目標を立て、計画的・組織的に保健室を経営している。	○学校保健推進のセンター的役割を果たす保健室経営を行い、子どもの健康づくりを効果的に推進する中心的役割を担うとともに、経営の改善を図っている。
	組織的・学校運営への参画	○学校運営に関して、学校保健の推進に向けた組織的な対応の必要性を理解している。 ○児童生徒と向き合う時間を確保するためにも、効率的な業務遂行が必要であることを理解している。 ○教育課程の役割や機能、意義について理解している。	○学校運営に関して、学校保健の推進に向けた自分の役割を理解し、学校教育目標の達成に努めている。 ○教員として必要な知識・技能を高めるよう研鑽するとともに、他の教職員と協力し、限られた時間の中で最大限の効果をあげるよう努めている。 ○学習指導要領に従い、学校教育目標の達成に向けて、教育課程に基づいて児童生徒の実態に応じた指導に取り組んでいる。	○自校の児童生徒の健康課題やその解決に向けた方策について積極的に意見を述べ、学校教育目標の達成に向けて組織的に行動している。 ○教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働くことができるよう、効率的・効果的な学校の指導・運営体制の構築に向け、具体的な提言をしている。 ○自校の特色を生かした教育課程の編成に当たり、積極的に提言している。	○学校内及び地域の医療機関等との連携を推進する上で高い能力や専門性を発揮するとともに、様々な校務を通して学校運営に積極的に参画している。 ○持続可能な学校の指導・運営体制の構築に参画するとともに、教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現を呼びかけている。 ○自校や地域の特色を生かした教育課程の編成に参画している。
	学校安全	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けている。	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けるとともに、学校内の危険を察知し、児童生徒の安全管理のために適切に対応している。	○学校安全に関わる研修等を企画するとともに、校内の危機管理体制や危機管理マニュアル等の点検・改善について提言している。	○学校を取り巻く危険について、家庭、地域、関係機関との協力体制を確立するとともに、危機管理体制の状況を常に把握して、緊急時においても適切に判断している。
	家庭、地域、関係機関等との連携	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義や学校運営協議会の仕組みを理解している。	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義を理解し、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組に積極的に参加して、保護者や地域の方との信頼関係を築いている。	○学校課題の解決、教育目標の達成に向けて、専門性を生かし、学校支援・地域貢献の取組に積極的に参加している。 ○地域連携担当教職員等と協力し、家庭、地域や関係機関等と連携・協働してコミュニティ・スクールの取組の充実に努めている。	○これまでの実践や経験を生かし、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組など、学校運営に積極的に参画している。 ○地域連携担当教職員等への助言・支援や全教職員の主体的な参画について働きかけ、コミュニティ・スクールの取組の一層の充実に努めている。
	人材育成	○疑問や悩みを相談し、チームで対応する必要性を理解している。	○疑問や悩みを相談・共有しながら、自らの実践力を磨いている。	○互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援している。	○人材育成の重要性を踏まえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境づくりに協力するとともに、若手、中堅の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	法令遵守	○教育公務員として求められる法令を理解し、教育に対する強い使命感や情熱をもっている。	○教育に対する強い使命感や情熱をもち、信頼関係に基づいて職務を遂行するとともに、法令を遵守し、不祥事の防止に努めている。	○学校運営の一翼を担い、高い倫理観と規範意識に基づいて法令遵守の重要性を他の教職員に助言している。	○高い危機管理意識をもって学校運営に積極的に参画し、法令遵守の重要性を教職員全体に指導するとともに、模範となっている。

山口県教員育成指標【栄養教諭】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性を持ち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等にに応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
求められる資質能力		山口県に掲げる教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教職員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。
区分	項目				
食の指導に関わる人	食に関する指導	○児童生徒の実態を踏まえた食に関する指導の重要性を理解している。	○児童生徒の実態を把握し、食に関する指導の全体計画に沿って、学校給食を活用しながら各教科等や給食時間の指導を行ったり、他の教職員に資料提供を行ったりしている。	○食に関する指導の全体計画の見直しを行うとともに、保護者、地域等と連携しながら、自ら食に関する指導を行ったり、他の教職員の行う食に関する指導に積極的に関わったりしている。	○食育の推進体制の整備に参画し、学校全体で行う食に関する指導に積極的に関わるとともに、他の教職員に対して専門性を生かした指導や助言を行っている。 ○学校、家庭、地域の食育推進に積極的に関わっている。
生徒指導・教育相談に関わる人	児童生徒理解	○受容、傾聴、共感的理解の大切さを理解している。	○学校の指導方針を基に、児童生徒一人ひとりへの理解を深め、食の専門家として、柔軟かつ適切に児童生徒への指導助言を行っている。	○的確な児童生徒理解に努めることを通して、児童生徒の自己指導能力を高め、主体的な行動を促すよう、組織的な動きの中で対応している。	○組織的・計画的に児童生徒への支援を進めるための中・長期的ビジョンを理解し、他の教職員と連携した対応をしている。
	教育相談（カウンセリング）	○教育相談に関する基礎的な知識を身に付けている。	○教育相談に関する基礎的な知識・技能を身に付け、食に関する専門的な知識を生かして、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援をしている。	○児童生徒や児童生徒を取り巻く周囲の状況を把握しながら、他の教職員や学校医等の関係者と連携して、食に関する個別的な相談指導を行っている。	○児童生徒の食に関する個別の課題に対して適切に関わることができるよう、他の教職員や学校医等の関係者と連携した対応をしている。
	問題行動への対応	○生徒指導上の課題及び対応の視点を理解している。 ○いじめに対する基本的な知識を有し、いじめ防止の重要性を理解している。	○直面する課題を把握し、他の教職員と情報を共有しながら解決に努めるとともに、児童生徒、保護者に対して丁寧に対応している。 ○いじめ防止等の基本的な方針を理解し、児童生徒のささいな変化に気付く力を高め、いじめの早期発見に努めるとともに、組織的な対応につなげている。	○客観的な事実の把握に努め、組織的な動きの中で、児童生徒、保護者への信頼感に基づいた対応をしている。 ○組織的な対応の中で、栄養の指導及び管理をつかさどる立場として、いじめの根絶及び解決に向けた取組を推進している。	○関係機関との連携を図るとともに、他の教職員の抱える課題を共有し、具体的な方策を提案している。 ○いじめ防止等の基本的な方針や、いじめに係る組織的な対応の中で、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
その他の教育活動に関わる人	人権教育	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもっている。	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもち、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、人権尊重の視点に立って指導している。	○学校運営における自己の役割を踏まえ、学校や学年の課題を把握し、課題解決に向けて人権尊重の視点に立って取り組み、成果を得ている。	○人権が尊重された学校づくりのため、校内推進体制の構築や家庭、地域等との連携等、組織的な取組に積極的に参画している。
	進路指導・キャリア教育	○教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や目標を理解している。	○進路指導・キャリア教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	○各種体験活動の充実や家庭、地域、産業界等との連携協力体制の構築に積極的に協力している。	○小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的な推進、学校の教育全体を通じた組織的・効果的な推進に主体的に取り組んでいる。
	特別支援教育	○特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念、合理的配慮の提供に関する考え方を理解している。 ○特別な教育的支援を必要とする児童生徒の多様な教育的ニーズを理解しようとしている。 ○児童生徒一人ひとりの状態等に応じた食に関する指導を実践しようとしている。	○障害等による肥満、偏食、食物アレルギー、禁止食材など、児童生徒の食に関する実態を把握している。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づき、専門的立場から必要な支援や配慮を行っている。 ○児童生徒の障害に関する保護者や教職員からの栄養相談等に真摯に対応し、その意見や事情を踏まえた献立や食事形態、食器等を検討している。	○障害の特性や発達の段階に応じた個別の食に関する指導を積極的に進めている。 ○個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成と評価において、専門的立場から意見を述べている。 ○児童生徒の障害に関する栄養相談の内容を校内で共有し、必要に応じて保健機関等との連絡・調整を図っている。	○障害の特性や発達の段階に応じた支援や配慮の実践を蓄積し、校内や家庭への普及を進めている。 ○個別的教育支援計画等の活用や校内委員会に積極的に参画し、一人ひとりを大切にした食に関する指導の中心的な役割を果たしている。 ○児童生徒の障害に応じた食に関する指導が適切に行われるよう、推進体制づくりに参画している。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
その他の教育活動に関するもの	道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関するもの	○学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。 ○総合的な学習の時間の意義や役割について、教科を越えて必要となる資質能力の育成の観点から理解している。 ○特別活動の目標及び内容を理解している。	○学校における道徳教育の重要性を理解し、道徳科の授業における食に関する指導に参加したり、資料提供を行ったりしている。 ○食に関する指導の目標を理解し、総合的な学習の時間における食に関する指導に積極的に関わっている。 ○特別活動の意義を理解し、積極的に学級活動や給食時間に食に関する指導を行っている。	○教育活動全体を通して食育と道徳教育を関連付けて、食に関する指導に取り組んでいる。 ○総合的な学習の時間における食に関する指導において、学習課題の解決に向けて、適切な人材や団体等を紹介したり、連携・調整を行ったりしている。 ○特別活動と食に関する指導を関連付け、児童生徒の自治的能力の育成を重視した学級活動や給食時間の指導を行っている。	○食育と道徳教育を関連付けた指導計画の作成・見直しを行っている。 ○総合的な学習の時間と食に関する指導を関連付け、指導計画の作成・見直しを行っている。 ○各学年、教科との関連、地域や異校種と連携した組織的な指導を計画的に進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
学校運営に関わるもの	校務分掌への取組	○校務分掌の仕組み及び必要性を理解している。	○担当する校務分掌について、他の分掌や全体との関わりの中で自己の役割を理解し、迅速かつ的確に処理をしている。	○校務分掌について、課題を把握し、工夫や改善をしながら、中核となって取り組んでいる。	○校務分掌間の調整を図りながら、担当する分掌について積極的に取り組むとともに、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	給食管理（栄養管理、衛生管理）	○給食の提供に係る栄養管理の重要性を理解している。 ○食物アレルギー等の個別対応の重要性を理解している。 ○学校給食の衛生管理の重要性について理解している。	○学校給食実施基準を踏まえた給食を提供している。 ○担任や養護教諭と情報を共有し、食物アレルギー等の個別対応に取り組んでいる。 ○学校給食衛生管理基準を正しく理解し、調理従事者や施設・設備の衛生の日常管理を行っている。	○児童生徒の実態に応じた栄養管理を行い、教科等における食に関する指導と関連した給食を提供している。 ○関係職員や家庭と連携し、専門性を生かして食物アレルギー等の個に応じたきめ細かな対応を行っている。 ○安全・安心な給食の提供に向けて、衛生管理責任者として、調理従事者への指導・助言を行っている。	○栄養管理について児童生徒、保護者、教職員等に対して指導的役割を果たし、「生きた教材」として活用できる魅力ある給食を計画的に提供している。 ○食物アレルギー等の個別対応について校内で情報を共有し、専門的な立場から教職員へ適切な助言を行っている。 ○安全・安心な給食の提供に向けて、管理職・教職員との連携・調整を図っている。
	組織的・学校運営への参画	○学校運営に関して、組織的な対応の必要性を理解している。 ○児童生徒と向き合う時間を確保するためにも、効率的な業務遂行が必要であることを理解している。 ○教育課程の役割や機能、意義について理解している。	○学校運営に関して、自分の役割を理解し、学校教育目標の達成に努めている。 ○教員として必要な知識・技能を高めるよう研鑽するとともに、他の教職員と協力し、限られた時間の中で最大限の効果をあげるよう努めている。 ○学習指導要領に従い、学校教育目標の達成に向けて、教育課程に基づいて児童生徒の実態に応じた指導に取り組んでいる。	○自校の状況や課題への対応について積極的に意見を述べ、課題解決や学校教育目標の達成に向けて組織的に行動している。 ○教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働くことができるよう、効率的・効果的な学校の指導・運営体制の構築に向け、具体的な提言をしている。 ○自校の特色を生かした教育課程の編成に当たり、積極的に提言している。	○高い能力や専門性を発揮し、様々な校務を通して学校運営に積極的に参画している。 ○持続可能な学校の指導・運営体制の構築に参画するとともに、教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現を呼びかけている。 ○自校や地域の特色を生かした教育課程の編成に参画している。
	学校安全	○食に関する危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けている。	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けるとともに、主として食に関する危険を察知し、児童生徒の安全管理のために適切に対応している。	○主として食の安全に関する研修等を企画するとともに、校内の危機管理体制や危機管理マニュアル等の点検・改善について提言している。	○学校を取り巻く危険について、家庭・地域・関係機関との協力体制を確立するとともに、食に関する危機管理体制の状況を常に把握して、緊急時においても適切に判断している。
	家庭、地域、関係機関等との連携	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義や学校運営協議会の仕組みを理解している。 ○学校における食育の充実に向けて、家庭、地域の情報収集に努めている。	○学校、家庭、地域の連携・協働の意義を理解し、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組に積極的に参加して、保護者や地域の方との信頼関係を築いている。 ○学校における食育の充実に向けて、家庭、地域に向けて、学校給食及び食育に係る情報発信を積極的に行っている。	○学校課題の解決、教育目標の達成に向けて、専門性を生かし、学校支援・地域貢献の取組の企画・立案など、学校運営に積極的に参加している。 ○地域連携担当教職員等と協力し、家庭、地域や関係機関等と連携・協働してコミュニティ・スクールの取組の充実にも努めている。	○これまでの実践や経験を生かして、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組など、学校運営に積極的に参画している。 ○地域連携担当教職員等への助言・支援や全教職員の主体的な参画について働きかけ、コミュニティ・スクールの取組の一層の充実にも努めている。
	人材育成	○疑問や悩みを相談し、チームで対応する必要性を理解している。	○疑問や悩みを相談・共有しながら、自らの実践力を磨いている。	○互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくることに、経験の深い教職員を積極的に支援している。	○人材育成の重要性を踏まえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境づくりに協力するとともに、若手、中堅の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	法令遵守	○教育公務員として求められる法令を理解し、教育に対する強い使命感や情熱をもっている。	○教育に対する強い使命感や情熱をもち、信頼関係に基づいて職務を遂行するとともに、法令を遵守し、不祥事の防止に努めている。	○学校運営の一翼を担い、高い倫理観と規範意識に基づいて法令遵守の重要性を他の教職員に助言している。	○高い危機管理意識をもって学校運営に積極的に参画し、法令遵守の重要性を教職員全体に指導するとともに、模範となっている。

山口県教員育成指標【管理職】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！～

◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性を持ち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責、経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

求められる資質能力		国や県、市町の動向を踏まえ、学校の状況、教育課題や地域の期待を的確に把握した上で、高い教育的見識や揺るぎない使命感とともに学校運営に係る明確かつ具体的なビジョンをもち、学校課題の解決、学校教育目標の達成に向けて、マネジメント能力を発揮している。 コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、家庭や地域と一層連携・協働することにより、学校運営・学校支援・地域貢献の取組を充実させ、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めている。	
区分・項目	職	教頭・部主事	校長・副校長
管理職としての素養・専門性	知識・識見	○山口県の教育目標と達成の視点を全教職員に意識させるとともに、データに基づき課題の把握を行い、課題解決に向けて取組体制を整えている。 ○教育に関する法令等を深く理解し、関係法令等を遵守するとともに、所属職員全体の範となる高い倫理観を保ち、職責の遂行に全力を傾注している。	○校長としての強い使命感をもち、国の動向を踏まえた上で山口県の教育目標と達成の視点を全教職員に意識させるとともに、専門的知識や経験に基づき、学校の課題解決に向けてPDCAサイクルを十分に機能させている。 ○教育に関する法令等を深く理解し、関係法令等を遵守するとともに、所属職員全体に高い倫理観を定着させている。
	組織運営力	○PDCAサイクルを機能させ、課題解決の取組について教職員と協働して学校組織としての取組を改善している。	○学校内外の状況を踏まえ、学校組織として成果をあげられるよう、教頭や事務職員、中堅、ベテラン教職員の取組を支援し、学校組織の動きに加え、保護者・地域の動きをつくり出している。
	コミュニケーション力	○教職員それぞれの立場や職務への姿勢、感じている課題等、個々の状況をとりえ、「教示」「説得」「参加」「委任」など、状況に対応した効果的な働きかけを行っている。 ○教育活動の推進に当たり、関係機関等との連携・折衝を適切に行い、組織としての対応を円滑に進める要となっている。	○観察等によって得られる情報や教頭及び各主任等を通じて得られる情報をもとに教職員個々の状況をとらえ、適切に指導・助言を行っている。 ○学校とつながる様々な人や機関に対して、それぞれの立場や考え方を尊重しながら適切な関係づくりを行っている。
	危機管理能力	○「児童生徒に関係すること」「教職員に関係すること」「火災・自然災害等に関係すること」等の学校危機を具体的に予測し、未然防止に努めるとともに、危機が発生した際の迅速・的確な組織的対応の動きをつくり出している。	○「学校危機」とは、学校の教育目標の達成を阻害する最大の要因であることを十分に認識し、学校安全計画の改善を図るとともに、未然防止や危機が発生した際の迅速・的確な組織的対応を可能にする体制を構築している。
社会貢献としての素養・専門性	組織的な運営体制づくり	○学校教育目標を全教職員と共有し、教職員一人ひとりの役割・責務を明確にし、目標達成に向けた組織運営を進めている。 ○外部の専門家や専門機関を活用した、課題への効果的な対応を促している。	○学校教育目標を明確に示し、「報告」「連絡」「相談」を徹底させながら、教職員一人ひとりの適性や能力を生かした協働・協力体制を構築している。 ○課題に応じて外部の専門家や専門機関と連携・分担する体制を整備し、学校の機能を強化している。
	ビジョンの構築・具現化	○校長の示した教育ビジョンの具現化に向けて方策や計画を立案するとともに、全教職員に周知し、取組の方向を明確にしている。 ○教育課程の実施に当たり、各分掌等の動きの進捗を管理するとともに、検証のために必要な状況把握を行っている。	○児童生徒や学校、地域の実態等を把握した上で教育ビジョンを構想し、すべての教職員、児童生徒、保護者、地域住民等と共有している。 ○自ら示したビジョンの具現化に向け、適切な教育課程を編成し、その実施に必要な人的・物的な体制を確保するとともに、組織的な取組体制を構築している。 ○教育課程の実施状況の評価を踏まえて改善を図り、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上に取り組むとともに、ビジョンを検証し、見直しを図っている。
	家庭、地域、関係機関等との連携	○学校課題の解決、教育目標の達成に向けて、地域連携担当教職員やコーディネーター等を有効に機能させ、全教職員がコミュニティ・スクールの取組を主体的に進める体制づくりを推進している。 ○保護者や地域、関係団体等の意見や要望の把握、調整を行いながら、学校、家庭、地域の連携・協働体制を強化し、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を図っている。	○学校課題や教育ビジョンを地域と共有するとともに、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、多数の保護者や地域住民の参画による連携・協働体制を強化し、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを推進し、組織的・継続的に学校運営の充実及び改善を図っている。
	学校安全	○教職員、家庭、地域、関係団体と連携して安全管理を徹底するとともに、安全教育・危機管理の取組を推進している。	○危機管理・安全管理に向けた組織的対応や危機管理体制について、常に検証・改善の視点をもって取り組んでいる。 ○学校安全計画の検証・見直しを図っている。
	会計管理	○校長、事務職員と連携し、学校組織として会計等の管理が適切にできているかについて定期的に確認し合う体制づくりを行っている。	○会計責任者として学校事務の業務に積極的に関わっている。 ○教頭及び事務職員と連携し、教職員に学校の運営費の重要性を示し、学校全体で財源を効果的に活用する意識付けをしている。
	学校施設・設備の活用・管理	○関係分掌主任に働きかけ、学校施設・設備の問題箇所等に係る情報を共有し、スピード感をもって対応する体制づくりを行っている。	○教職員と児童生徒が安全な環境のもとで教育・学習活動に取り組めるよう、学校施設・設備についての管理体制を整備するとともに、地域の公立施設としての管理を徹底している。
	学校評価	○外部アンケートの結果から得られる成果や課題を分析・整理し、自己評価や学校関係者評価の充実を図り、課題解決に向けて地域や関係者等との連携を推進している。	○自己評価や学校関係者評価の充実により、PDCAサイクルに基づいた目標管理型の学校評価を推進し、学校運営の活性化を図っている。
	業務改善	○業務改善目標や取組方針を理解し、業務の効率化・最適化に向けて校内体制の改善・充実を図り、業務改善を推進している。	○所属教職員の勤務状況等を踏まえ、業務改善目標や取組方針を示すとともに、業務の効率化・最適化に向けた校内体制の構築により、業務改善を推進し、教育活動の充実を図っている。

区分・項目		職	教頭・部主事	校長・副校長
学校教育の管理に関するもの	人権教育		○人権尊重の視点に立って、全体計画や年間指導計画等に基づき、日常的に教育活動の点検・評価を行い、教職員に適切な指導・助言を行うこと等を通して、推進体制の充実を図っている。	○「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づき、人権が尊重された学校づくりを推進するために、児童生徒や地域社会の実情等を踏まえ、学校としての明確な方針を示すとともに、教職員の指導力の向上を図るための研修を適宜実施している。
	学力向上		○学力向上に関する取組方針について、各学年、各教科及び校務分掌間で共通認識できるような体制を構築し、自らがリーダーシップを発揮して学力向上の取組を推進している。	○児童生徒や学校、地域の実態に応じて、学力向上の取組方針を明確に示すとともに、各学年、各教科及び校務分掌等が組織的に取組を進めることができるよう校内体制の構築を図っている。
	生徒指導 教育相談		○生徒指導の取組方針に基づき、生徒指導・教育相談担当教職員や家庭との連携を密にして、教職員へ適切な指導・助言を行い、自己指導能力を高めるための積極的な生徒指導及び信頼感に基づいた教育相談活動を推進している。	○家庭、地域、関係機関等との連携を密にして、心の教育の基盤となる「開発的生徒指導」の取組方針を明確に示すとともに、「いじめ防止基本方針」に基づき、問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を推進している。
	健康管理 体力向上		○児童生徒や学校、地域の実態等に応じて、学校における健康管理及び体力向上に向けた教育ビジョン等を校長へ進言するとともに、教職員等へ適切な指示・指導・助言等を行い、効果的・効率的な取組の検証・改善を図っている。	○児童生徒や学校、地域の実態等に応じて、学校における健康管理及び体力向上に向けた教育ビジョン等を策定するとともに、家庭や地域と連携し、効果的・効率的な取組の検証・改善を図っている。
	進路指導・ キャリア教育		○全教職員の共通理解のもと、学校教育活動全体を通じた計画的なキャリア教育を推進している。 ○地や産業や地域社会と連携を図るため、関係者との意思疎通に努めている。	○児童生徒や学校、地域の実態に応じて、キャリア教育の目標を定め、全教職員の共通理解と協力体制を構築して目標の実現に向けて取り組んでいる。
	特別支援教育		○特別支援教育の理念や制度、インクルーシブ教育システム構築や合理的配慮提供の考え方等についての認識を深め、全教職員の理解を促進している。 ○校内コーディネーターと連携しつつ、自らがリーダーシップを発揮し、校内委員会の計画的な実施と組織的な支援、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成と活用、保護者や関係機関等との連絡調整、進級・進学時における情報の引き継ぎの管理を行っている。	○特別支援教育実施の責任者として、特別支援教育や障害に関する認識を常に新たにし、特別支援教育を学校経営の柱に位置付けている。 ○自らがリーダーシップを発揮し、校内委員会の充実、校内コーディネーターの育成、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の活用と管理、教職員の専門性向上、保護者や関係機関等との連携、障害者理解の促進、進学時における情報の適切な引き継ぎ等の徹底を図っている。
教職員の人材育成に関するもの	教職員理解		○日常のコミュニケーションを大切に、個々の勤務状況等を確認しながら不安や悩みを傾聴するなど、教職員の心身の健康に対してきめ細かな配慮をしている。 ○教職員一人ひとりのよさと課題を把握し、個々の教職員の課題意識やキャリアビジョン等について適切に助言している。	○個々の勤務状況や健康診断結果、日常のコミュニケーション等を通して教職員の心身の健康状態を自ら把握するとともに、不安や悩みを傾聴して教職員の健康維持に努めている。 ○教職員一人ひとりのよさと課題を踏まえ、個々の教職員の課題意識やキャリアビジョン等について十分に理解し、支援している。
	教職員評価		○校長と連携し、教職員の職務遂行状況を適切に把握し、公平性・透明性・納得性の高い評価を実現することで、当該教職員の意欲の向上と学校の活性化を図っている。	○教頭等と連携し、公平性・透明性・納得性の高い教職員評価を実現し、教職員の意欲の向上と学校の活性化を図るとともに、評価においてよさと課題を明確にし、人材育成を図っている。
	教職員研修		○教職員評価や授業評価等の仕組みを生かし、教職員のニーズをとらえた上で研修主任等と連携しながら、教職員一人ひとりが主体的に取り組む研修を実施するとともに、研修成果の共有を図っている。	○教職員のキャリアステージを踏まえ、教頭や研修主任等に働きかけ、学校の課題解決及び教職員の資質能力の向上を効果的に図ることができる研修の企画・運営について、的確に指示を与えている。
	人事管理		○教職員一人ひとりのキャリアや職務能力、業務内容・業務量を的確に把握・考量するとともに、それぞれのよさや課題、キャリアビジョンを踏まえた上で、その能力を最大限に生かす校内人事について提言している。	○教職員一人ひとりのキャリアや職務能力、業務内容・業務量を的確に把握・考量するとともに、それぞれのよさや課題、キャリアビジョンを踏まえた上で、その能力を最大限に生かす校内人事を行っている。 ○長期的な展望をもち、校内状況を勘案しつつ全員の昇進に立ち、適材適所となる人事異動を進めている。
	服務監督 綱紀保持		○所属職員の服務規律の確保と綱紀の保持に向け、校内研修の充実を図るとともに、教職員個々の状態を把握し、適切に指導・助言を行っている。	○所属職員を監督する立場としての自覚と知見、情熱をもち、校内組織・体制を確立し、職員全体の服務規律と綱紀の保持を図っている。

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	101	—	—	—	501	—
期日	令和3年5月21日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 教員としての心構え — 新任教員に期待する — （講義・演習） 社会人としてのマナー （講義・演習） 人間関係づくり — A F P Y の体験を通して —							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	101	—	—	—	501	—
期日	令和3年7月6日（火）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） 幼稚園教育の基本 — 幼稚園教育要領に基づいて — （講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする幼児の理解と支援 （講義） 児童虐待の現状と教員の役割 — S S W の視点を通して —							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員（3期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	101	—	—	—	501	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修の対象となる教諭							
1日目	令和3年8月24日（火）							
内容	（講義・実習） 応急手当Ⅰ　ー心肺蘇生法とAEDによる救命処置ー （講義・実習） 応急手当Ⅱ　ー幼児の傷病への対応ー （講義・実習） 幼児期における運動遊びについて							
2日目	令和3年8月25日（水）							
内容	（事例発表） 先輩教員からのエール （講義・実習） 表現を楽しむ環境づくり　ーリズムに合わせて表現しようー （研究協議） 一学期の保育実践を振り返って							
3日目	令和3年8月26日（木）							
内容	（講義・実習） 子どもたちに絵本の世界を届けよう　ー絵本の読み聞かせを通してー （講義・実習） 造形を楽しむ環境づくりの工夫　ー身近な材料を活用して創作しようー							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員（4期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	101	—	—	—	501	—
期日	令和3年9月28日（火）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修の対象となる教諭							
会場	オンライン（所属園）							
内容	（講義） 幼児期における食育の進め方 （講義） ネット社会と子どもたち （講義） 教員のためのメンタルヘルス							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員（5期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	101	—	—	—	501	—
期日	令和4年1月25日（火）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 幼小連携の推進							
	（事例発表） 保護者との連携の実際							
	（研究協議） 一年間の研修を振り返って　－研修の成果と今後の課題－							
	（講義） これからの幼児教育に求められること　－園長からのメッセージ－							

小学校初任者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭							
1日目	令和3年5月7日（金）							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員の服務と学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 授業研究① ー主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてー （演習） 社会人としてのマナー							
2日目	令和3年5月10日（月）							
会場	きらら博記念公園水泳プール（山口市阿知須509番）							
内容	（講義・実習） 水泳指導の進め方 （講義・実習） 応急手当 ー心肺蘇生法とAEDによる救命処置等ー							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）組織的学校運営,（教）学校安全,（教）法令遵守							

小学校初任者（2期地区別）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
期日	6月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	（講話） 新任教員に求めるもの （授業参観） 授業研究② （講義・研究協議） 授業研究③ ー授業力の向上をめざしてー （事例発表） 学級経営の実践Ⅰ （研究協議） 保護者との連携について							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）学級・学年経営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

小学校初任者（3期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
1日目	令和3年7月28日(水)							
内容	(講義) 授業研究④ ー授業づくりの理論と実践ー ■梅光学院大学子ども学部 准教授 香月 正登 (講義・実習) 授業研究⑤ ー理科の授業の充実に向けてー							
2日目	令和3年7月29日(木)							
内容	(講義・演習) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 (講義) 生徒指導の進め方 ーいじめ・不登校等の諸課題への取組ー (演習・研究協議) 授業研究⑥ ー国語科・算数科の授業づくりを通してー							
3日目	令和3年7月30日(金)							
内容	(演習) 授業研究⑦ ー国語科・算数科の模擬授業を通してー (講義・演習) 授業研究⑧ ー社会科・生活科の授業の充実に向けてー (講義・演習) 教育相談の進め方							
指標	(教)授業計画,(教)授業実施,(教)評価,(教)授業研究・改善,(教)児童生徒理解,(教)教育相談,(教)問題行動への対応,(教)特別支援教育,(教)学級・学年経営,(教)人材育成							

小学校初任者（4期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 性に関する指導の進め方 （講義） 安心・安全な学校づくりについて （講義） キャリア教育の進め方 （講義） 今、求められる情報モラル （講義） 考え、議論する道德教育の実践 （講義） 授業研究⑨ ー外国語活動・外国語の授業の充実をめざしてー							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）授業研究・改善,（教）問題行動への対応,（教）キャリア教育,（教）道德、総合、特活,（教）学校安全							

小学校初任者（5期地区別）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
期日	10月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	（講話） 新任教員に求めるもの （授業参観） 授業研究⑩ （講義・研究協議） 授業研究⑪ ー授業力の向上をめざしてー （事例発表） 学級経営の実践Ⅱ （研究協議） 学級づくりについて							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）学級・学年経営,（教）人材育成							

小学校初任者（6期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	202	—	—	—	—
期日	令和4年1月14日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	小学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
内容	（講話） 二年目に向けて期待すること （講義） 人権教育の推進について （講義・演習） 地域連携教育の推進について （講義・研究協議） キャリアビジョン ー研修の成果と今後の課題を踏まえてー							
指標	（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）問題行動への対応,（教）人権教育,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

中学校初任者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講話） 教職員の健康管理 （講義） 授業研究① ー主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてー （演習） 社会人としてのマナー							
指標	（教）授業計画,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）組織的学校運営,（教）法令遵守							

中学校初任者（2期地区別）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	6月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	（講話） 新任教員に求めるもの （授業参観） 授業研究② （講義・研究協議） 授業研究③ ー授業力の向上をめざしてー （事例発表） 学級経営の実践Ⅰ （研究協議） 保護者との連携について							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）学級・学年経営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

中学校初任者（3期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
1日目	令和3年8月4日(水)							
内容	(講義・演習) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 (講義) 授業研究④ ー授業づくりの視点と方法ー ■大分大学教育学部 教授 藤田 敦 (講義・演習) キャリア教育の進め方							
2日目	令和3年8月5日(木)							
内容	(講義) 生徒指導の進め方 (講義・演習) 地域連携教育の推進について (講義・演習) 考え、議論する道徳の授業づくり (講義・研究協議) 授業研究⑤ ー学習指導の充実をめざして(中高連携)ー ＜中高合同教科等別部会＞							
3日目	令和3年8月6日(金)							
内容	(講義) 特別活動の進め方 (講義・演習) 総合的な学習の時間の進め方 (講義・演習) 教育相談の進め方 (講義・演習) いじめ・不登校の未然防止と対応							
指標	(教)授業計画,(教)授業実施,(教)授業研究・改善,(教)児童生徒理解,(教)教育相談,(教)問題行動への対応,(教)キャリア教育,(教)特別支援教育,(教)道徳・総合・特活,(教)家庭・地域等との連携,(教)人材育成							

中学校初任者（4期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	令和3年8月20日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 望ましい部活動の在り方 （講義） 食育の進め方 （講義） 性に関する指導の進め方 （講義） 安心・安全な学校づくりについて （講義） 今、求められる情報モラル							
指標	（教）問題行動への対応,（教）道徳、総合、特活,（教）校務分掌,（教）学校安全							

中学校初任者（5期地区別）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	10月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	（講話） 新任教員に求めるもの （授業参観） 授業研究⑥ （講義・研究協議） 授業研究⑦ ー授業力の向上をめざしてー （事例発表） 学級経営の実践Ⅱ （研究協議） 学級づくりについて							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）学級・学年経営,（教）人材育成							

中学校初任者（6期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	令和4年1月14日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講話） 二年目に向けて期待すること （講義） 人権教育の推進について （研究協議） 授業研究⑧ — I C Tを活用した授業づくり— （講義・研究協議） キャリアビジョン — 研修の成果と今後の課題を踏まえて—							
指標	(教)授業実施, (教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)問題行動への対応, (教)人権教育, (教)学級・学年経営, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)人材育成							

中学校初任者（異校種研修）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	303	—	—	—
期日	9月・11月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	中学校初任者研修の対象となる教員							
会場	関係会場校							
内容	異校種研修（1日） 高等学校初任者研修（5期会場校、7期会場校）及び特別支援学校初任者研修（7期会場校）のうち、いずれか1日を選択							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)キャリア教育, (教)特別支援教育, (教)学級・学年経営, (教)組織的学校運営, (教)人材育成							

高等学校初任者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 授業研究① ー確かな学力の育成をめざしてー （演習） 社会人としてのマナー							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）法令遵守							

高等学校初任者（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年6月18日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講義・研究協議） 授業研究② ー主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてー （講義・実習） 授業研究③ ーI C Tの効果的な活用ー （研究協議） これまでの実践と今後の課題							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）授業研究・改善,（教）組織的学校運営,（教）人材育成							

高等学校初任者（3期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年7月9日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校の初任者研修の対象となる教諭							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 今、求められる情報モラル （講義） 性に関する指導の進め方 （講義） 望ましい部活動の在り方 （講義） 地域連携教育の推進について （講義） 安心・安全な学校づくりについて							
指標	(教)授業実施, (教)問題行動への対応, (教)道徳、総合、特活, (教)校務分掌, (教)学校安全, (教)家庭・地域等との連携							

高等学校初任者（4期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
1日目	令和3年8月4日(水)							
内容	(講義・演習) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 (講義) 授業研究④ ー授業づくりの視点と方法ー ■大分大学教育学部 教授 藤田 敦 (演習) 地域連携教育の推進について							
2日目	令和3年8月5日(木)							
内容	(講義・研究協議) 生徒指導の進め方 (講義・演習) キャリア教育の進め方 (講義・研究協議) 授業研究⑤ ー学習指導の充実をめざして(中高連携) ー <中高合同教科等別部会>							
3日目	令和3年8月6日(金)							
内容	(講義) 総合的な探究の時間の進め方 (講義) 主権者教育の推進について (講義・演習) 教育相談の進め方 (講義・演習) いじめ・不登校の未然防止と対応							
指標	(教)授業計画,(教)授業実施,(教)授業研究・改善,(教)児童生徒理解,(教)教育相談,(教)問題行動への対応,(教)キャリア教育,(教)特別支援教育,(教)道徳、総合、特活,(教)家庭・地域等との連携,(教)人材育成							

高等学校初任者（5期会場校）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年9月17日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	東部：山口県立防府総合支援学校（防府市大字浜方205－3） 西部：山口県立下関総合支援学校（下関市富任町8丁目9－1）							
内容	（講義） 特別支援教育の現状 （事例発表） 特別支援教育の実際 （授業参観） 授業研究⑥ 施設見学 （研究協議） 授業研究⑦　－特別支援教育の視点を生かした指導の進め方－							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）特別支援教育,（教）学級・学年経営,（教）組織的・学校運営,（教）人材育成							

高等学校初任者（6期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年10月29日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（演習・研究協議） 授業研究⑧　－授業実践を通して－ ＜初任者・中堅教諭合同教科等別部会＞							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）人材育成							

高等学校初任者（7期会場校）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和3年11月12日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	東部：山口県立徳山商工高等学校（周南市周陽3-1-1） 西部：山口県立宇部工業高等学校（宇部市北琴芝1-1-1）							
内容	（講義） 高校教育の現状 （事例発表） 学習指導について、進路指導について、生徒指導について、学級経営について （授業参観） 授業研究⑨ 施設見学 （研究協議） 授業研究⑩ —これまでの授業実践を振り返って—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)教育相談, (教)キャリア教育, (教)学級・学年経営, (教)組織的学校運営, (教)人材育成							

高等学校初任者（8期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	令和4年1月14日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 二年目に向けて期待すること （講義） 人権教育の推進について （講義） 学習指導要領を踏まえた道德教育の推進について （講義・研究協議） キャリアビジョン —研修の成果と今後の課題を踏まえて—							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)問題行動への対応, (教)人権教育, (教)道德、総合、特活, (教)学級・学年経営, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)人材育成							

※会場は、総合教育支援センター以外で
行う場合のみ記載しています。

基本研修

高等学校初任者（異校種研修）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	404	—	—
期日	6月・10月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	高等学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	異校種研修（1日） 小・中初任者研修（2期地区別、5期地区別）のいずれか1日を選択							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)学級・学年経営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

特別支援学校初任者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 山口県における特別支援教育の現状と課題 （演習） 社会人としてのマナー							
指標	（教）授業実施,（教）特別支援教育,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）法令遵守							

特別支援学校初任者（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年6月18日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講義・演習） 個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用 （講義） 授業研究① ー特別支援学校における授業づくりー （研究協議） これまでの実践と今後の課題							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）特別支援教育,（教）組織的学校運営,（教）人材育成							

特別支援学校初任者（3期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
1日目	令和3年8月4日（水）							
内容	（講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 （講義・事例発表・研究協議） 自立活動の指導と工夫							
2日目	令和3年8月5日（木）							
内容	（講義・演習） 作業療法の理論と実際 （講義） 特別支援学校におけるキャリア教育の進め方 （講話） 障害者雇用の実際－障害者の自立と社会参加をめざして－ （講義・演習） 障害のある児童生徒の教育相談							
3日目	令和3年8月6日（金）							
内容	（講義・演習） 校内事例検討会の進め方 （講義・演習） 特別支援学校における地域連携教育の推進について （講義・演習） いじめ・不登校の未然防止と対応							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)教育相談, (教)問題行動への対応, (教)キャリア教育, (教)特別支援教育, (教)道徳、総合、特活, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

特別支援学校初任者（4期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年8月20日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 今、求められる情報モラル （講義） 性に関する指導の進め方 （講義） 安心・安全な学校づくりについて （講義・演習） 支援をつなぐ ―関係機関との連携・協働―							
指標	（教）授業実施、（教）児童生徒理解、（教）問題行動への対応、（教）特別支援教育、（教）道徳、総合、特活、（教）学校安全、（教）家庭・地域等との連携							

特別支援学校初任者（5期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年9月10日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講義・演習） 授業研究② ―障害のある児童生徒の主体的な学びを促す授業づくり― ■山口大学教育学部 准教授 須藤 邦彦 （講義・実習） 特別支援教育に生かす I C T							
指標	（教）授業計画、（教）授業実施、（教）評価、（教）授業研究・改善、（教）児童生徒理解、（教）特別支援教育							

特別支援学校初任者（6期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年10月15日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講義・演習） 児童生徒理解のための検査結果の効果的な活用について （事例発表・研究協議） 授業研究③ ―教材・教具の工夫―							
指標	（教）授業計画、（教）授業実施、（教）授業研究・改善、（教）児童生徒理解、（教）特別支援教育、（教）人材育成							

特別支援学校初任者（7期会場校）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和3年11月19日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	山口県立山口総合支援学校（山口市朝田585-1）							
内容	（講義） 特別支援教育の現状 （授業参観） 授業研究④ 施設見学 （事例発表） 就労支援の実際 （研究協議） 授業研究⑤ — 授業改善の進め方—							
指標	（教）授業研究・改善,（教）キャリア教育,（教）特別支援教育,（教）人材育成							

特別支援学校初任者（8期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	令和4年1月14日（金）							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 二年目に向けて期待すること （講義） 人権教育の推進について （講義） 学習指導要領を踏まえた道徳教育の推進について （講義・研究協議） キャリアビジョン — 研修の成果と今後の課題を踏まえて—							
指標	（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）問題行動への対応,（教）人権教育,（教）特別支援教育,（教）道徳、総合、特活,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）人材育成							

特別支援学校初任者（異校種研修）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	505	—
期日	6月・10月							
目的	教員としての自覚と専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	特別支援学校初任者研修の対象となる教諭							
会場	岩国、柳井、下松・光、周南、山口、防府、宇部、美祢・山陽小野田、萩の9地区に分かれ学校を会場として実施							
内容	異校種研修（1日） 小・中初任者研修（2期地区別、5期地区別）のいずれか1日を選択							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）学級・学年経営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

小学校フォローアップ（2年次）（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	206	—	—	—	—
期日	令和3年6月1日（火）							
目的	教員としての専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後1年経過（2年次）した教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
内容	（講義） 総合的な学習の時間の充実に向けて （事例発表） 学級経営の取組 （講義・演習） 授業研究 — 学習指導の充実に向けて — <理科部会> <図画工作部会> <音楽部会>							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）授業研究・改善,（教）道徳、総合、特活,（教）学級・学年経営							

中学校・高等学校フォローアップ（2年次）（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	306	406	—	—
期日	令和3年6月3日（木）							
目的	教員としての専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後1年経過（2年次）した教諭 ※下関市立の中学校に勤務する者を除く。							
内容	（事例発表） 総合的な学習の時間の実践<中学校> 総合的な探究の時間の実践<高等学校> （事例発表） 学級経営の取組 （研究協議） 授業研究 — 学習指導の充実に向けて（中高連携） —							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）道徳、総合、特活,（教）学級・学年経営,（教）人材育成							

特別支援学校フォローアップ（2年次）（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	506	—
期日	令和3年6月3日（木）							
目的	教員としての専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後1年経過（2年次）した教諭							
内容	（事例発表） 保護者との連携の進め方 （事例発表） 学級経営の取組 （研究協議） 授業研究 — 学習指導の充実に向けて —							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）特別支援教育,（教）学級・学年経営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

小学校・中学校・高等学校フォローアップ（2年次）（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	206	306	406	—	—
期日	令和3年9月28日（火）							
目的	教員としての専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後1年経過（2年次）した教諭 ※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講義） 児童虐待の現状と教員の役割 — S S Wの視点を通して— （事例発表） 特別活動の実践 （演習・研究協議） キャリアビジョン —二年間の成果と課題を踏まえて（教頭との面談ロールプレイ）—							
指標	（教）児童生徒理解,（教）教育相談,（教）問題行動への対応,（教）キャリア教育,（教）道徳、総合、特活,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

特別支援学校フォローアップ（2年次）（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	506	—
期日	令和3年9月28日（火）							
目的	教員としての専門性を高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後1年経過（2年次）した教諭							
内容	（講義） 児童虐待の現状と教員の役割 — S S Wの視点を通して— （事例発表） 地域支援の実践 （演習・研究協議） キャリアビジョン —二年間の成果と課題を踏まえて（教頭との面談ロールプレイ）—							
指標	（教）児童生徒理解,（教）教育相談,（教）問題行動への対応,（教）キャリア教育,（教）特別支援教育,（教）道徳、総合、特活,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

フォローアップ（3年次）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	207	307	407	507	—
期日	令和3年10月8日（金）							
目的	教員としての専門性をより高めるため、学習指導、生徒指導、学級経営などの基礎的事項について研修する。							
対象	新規採用後2年経過（3年次）した教諭※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講話） これからの教員に求められるもの （講義） 山口県教育の現状と課題 （事例発表） 保護者との連携の実際 （研究協議） キャリアビジョン ー三年間の成果と今後の課題を踏まえてー							
指標	（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

ステップアップⅠ研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	208	308	408	508	—
目的	一人ひとりの適性や能力に応じた研修講座を受講することで、教員一人ひとりのよさの伸長、課題の解決を図る。							
対象	ステップアップ研修Ⅰ（4・5年次）の対象となる教諭							
内容	※センターが指定するキャリアアップ研修（教科研修、教育相談研修、特別支援教育研修、情報教育研修、課題別研修）の中から選択する。							

教職経験教諭（6年次：研修Ⅰ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	209	309	409	509	—
期日	5月中旬～1月下旬							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した教諭※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
会場	異校種等体験先							
内容	異校種等体験							

教職経験教諭（6年次：研修Ⅱ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	209	309	409	509	—
期日	令和3年11月16日（火）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した教諭 ※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） ＜Aコース＞いじめ・不登校の未然防止と対応 ＜Bコース＞特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援の在り方 （講義・研究協議） 授業研究 ―指導と評価の一体化の工夫― ＜小学校＞＜特別支援学校＞ 授業研究 ―指導と評価の一体化の工夫（中高連携）― ＜中学校・高等学校＞ （研究協議） キャリアビジョン ―六年間の成果と今後の課題を踏まえて―							
指標	(教)授業計画, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)問題行動への対応, (教)人権教育, (教)特別支援教育, (教)学級・学年経営, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成, (教)法令遵守							

ステップアップⅡ研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	210	310	410	510	—
目的	一人ひとりの適性や能力に応じた研修講座を受講することで、教員一人ひとりのよさの伸長、課題の解決を図る。							
対象	ステップアップ研修Ⅱ（7・8・9年次）の対象となる教諭							
内容	※センターが指定するキャリアアップ研修（教科研修、教育相談研修、特別支援教育研修、情報教育研修、課題別研修）の中から選択する。							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上（1期）研修 講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	111	—	—	—	511	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員の服務と学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント ―学校運営における中堅教職員の役割― ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （研究協議） 中堅教職員としての実践的な取組							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上（2期）研修 講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	111	—	—	—	511	—
期日	令和3年7月7日（水）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 幼稚園教育の現状と課題 （講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする幼児の理解と支援の在り方 （事例発表・研究協議） 手作り教材の活用について							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上（3期）研修 講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	111	—	—	—	511	—
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 児童虐待の現状と教員の役割 ―関係機関との効果的な連携に向けて― （講義・演習） 安心・安全な園・学校づくりについて ―危機対応力を高めるために― （講義） 食育の進め方 ―家庭との連携を中心に― （研究協議） 保護者との連携の充実							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上（4期）研修 講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	111	—	—	—	511	—
期日	令和3年10月14日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講義・実習） 幼稚園教育に生かす I C T （講義） 園・学校におけるアレルギーへの対応 ―食物アレルギーを中心として― ■またかたこどもアレルギークリニック 院長 真方 浩行 （講義・演習） 幼児理解と支援のための教育相談							

幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上（5期）研修 講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	111	—	—	—	511	—
期日	令和4年1月27日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 人権教育の推進について （事例発表） 幼小連携の充実 （講義） 豊かな心を育てる保育と環境 （研究協議） 豊かな心を育てる保育と環境 ―これまでの実践を通して― （研究協議） キャリアビジョン ―研修の成果と今後の課題を踏まえて―							

小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	212	312	412	—	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭 ※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント —学校運営における中堅教職員の役割— ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （研究協議） 中堅教職員としての実践的な取組							
指標	（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成,（教）法令遵守							

小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	212	312	412	—	—
期日	令和3年8月19日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
内容	※下記のA～Cコースより一つ選択して受講する。 < Aコース > （講義・演習）チーム学校としての組織的な対応 — S S Wの事例分析を通して— < Bコース > （講義・演習）特別支援教育の視点を生かした学級づくり・授業づくり < Cコース > （講義・演習）児童生徒理解、保護者連携に生かせるカウンセリングの手法 （研究協議） 生徒指導の現状と課題 — いじめ・不登校等の諸課題への組織的対応— ※小学校・中学校教諭は、教科等別部会又は特別支援学校学部別部会と合同実施する特別支援学校部会のいずれかを選択して受講する。 < 小学校教科等別部会 > < 中高教科等別部会 > （研究協議） 授業研究① — 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の工夫— < 特別支援学校（小学部）、小学校（特別支援） > < 特別支援学校（中学部）、中学校（特別支援） > （講義） 授業研究① 個別の教育支援計画・指導計画に基づく授業設計、評価							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）教育相談,（教）問題行動への対応,（教）特別支援教育,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

小学校中堅教諭等資質向上（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	212	—	—	—	—
期日	令和3年10月28日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	小学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭 ※下関市立の小学校に勤務する者を除く。							
内容	※教科等別部会又は特別支援学校（小学部）と合同実施する特別支援部会のいずれかを選択して受講する。 ※2期の学習指導研修と同一部会を選択する。 ＜小学校教科等別部会＞ （演習・研究協議） 授業研究② ―授業実践を通して― ＜特別支援学校（小学部）、小学校（特別支援）＞ （演習・研究協議） 授業研究② 個別の教育支援計画・指導計画に基づく授業設計、評価 ―指導内容、指導方法の検討―							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）特別支援教育,（教）人材育成							

中学校・高等学校中堅教諭等資質向上（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	312	412	—	—
期日	令和3年10月29日（金）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中学校・高等学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	※中学校教諭は、教科等別部会（10/29実施）又は特別支援学校（中学部）と合同実施する特別支援部会（10/28実施）のいずれかを選択して受講する。 ※高等学校教諭は中高教科等別部会（10/29実施）を受講する。 ※2期の学習指導研修と同一部会を選択する。 ＜中高教科等別部会＞【10月29日（金）実施】 （演習・研究協議） 授業研究② ―授業実践を通して― （高初任者・中堅教諭合同教科等別部会） ＜特別支援学校（中学部）、中学校（特別支援）＞【10月28日（木）実施】 （演習・研究協議） 授業研究② 個別の教育支援計画・指導計画に基づく授業設計、評価 ―指導内容、指導方法の検討―							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）特別支援教育,（教）人材育成							

小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上（4期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	212	312	412	—	—
期日	令和4年1月18日（火）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	小学校・中学校・高等学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭 ※下関市立の小・中学校に勤務する者を除く。							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） つながりを意識したキャリア教育の在り方 （演習） 地域連携教育の推進について （研究協議） キャリアビジョン —研修の成果と今後の課題を踏まえて—							
指標	（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）人権教育,（教）キャリア教育,（教）特別支援教育,（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

特別支援学校中堅教諭等資質向上（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	512	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員の服務と学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント —学校運営における中堅教職員の役割— ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （研究協議） 中堅教職員としての実践的な取組							
指標	（教）学級・学年経営,（教）校務分掌,（教）組織的学校運営,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成,（教）法令遵守							

特別支援学校中堅教諭等資質向上（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	512	—
期日	令和3年8月19日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	※下記のA～Cコースより一つ選択して受講する。 < Aコース > （講義・演習）チーム学校としての組織的な対応 — S S Wの事例分析を通して— < Bコース > （講義・演習）特別支援教育の視点を生かした学級づくり・授業づくり < Cコース > （講義・演習）児童生徒理解、保護者連携に生かせるカウンセリングの手法 （事例発表・演習） 特別支援教育コーディネーターの役割 ※下記のⅠ～Ⅲより一つ選択して受講する。 Ⅰ < 特別支援学校学部別部会 > （講義）授業研究① 個別の教育支援計画・指導計画に基づく授業設計、評価 Ⅱ < 小学校教科等別部会 > （研究協議）授業研究① — 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の工夫— Ⅲ < 中高教科等別部会 > （研究協議）授業研究① — 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の工夫—							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）児童生徒理解,（教）教育相談, （教）問題行動への対応,（教）特別支援教育,（教）家庭・地域等との連携,（教）人材育成							

特別支援学校中堅教諭等資質向上（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	512	—
期日	令和3年10月28日（木）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	※下記のⅠ～Ⅲより一つ選択して受講する。 ※2期の学習指導研修と同一部会を選択する。 Ⅰ < 特別支援学校学部別部会 > 【10月28日（木）実施】 （演習・研究協議） 授業研究② 個別の教育支援計画・指導計画に基づく授業設計、評価 —指導内容、指導方法の検討— Ⅱ < 小学校教科等別部会 > 【10月28日（木）実施】 （演習・研究協議） 授業研究② —授業実践を通して— Ⅲ < 中高教科等別部会 > 【10月29日（金）実施】 授業研究② —授業実践を通して—（高初任・中堅教諭合同教科等別部会）							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）特別支援教育,（教）人材育成							

特別支援学校中堅教諭等資質向上（4期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	512	—
期日	令和4年1月18日（火）							
目的	教員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修の対象となる教諭							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） つながりを意識したキャリア教育の在り方 （研究協議） 地域連携教育の推進について （研究協議） キャリアビジョン ー研修の成果と今後の課題を踏まえてー							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)人権教育, (教)キャリア教育, (教)特別支援教育, (教)学級・学年経営, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

ミドルマネジメント研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	213	313	413	513	—
目的	マネジメントに関する研修講座を受講することで、ミドルリーダーとして求められる積極的な学校運営及び人材育成に関するマネジメント力の育成を図る。							
対象	ミドルマネジメント研修（14・15・16年次）の対象となる教諭							
内容	※センターが指定するマネジメント研修の中から選択する。							

新任教頭・部主事（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	214	314	414	514	—
期日	令和3年6月8日（火）							
目的	教頭・部主事としての使命感と識見を高めるため、学校運営上の基本的事項について研修する。							
対象	令和2年度新任教頭・部主事研修講座後に昇任又は任命された教頭及び特別支援学校の部主事（既受講者を除く。）							
内容	（講話） 新任教頭・部主事に期待する （講義） 人権教育の推進と教頭・部主事の役割 （講義） 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と組織的な支援の在り方 —校内体制の充実をめざして— （講義） 教職員評価について （講義） 学校における働き方改革の推進について （講義・演習） 教育関係法規 —教頭・部主事の実務を円滑にする—							
指標	（管）知識・識見,（管）組織運営力,（管）コミュニケーション力,（管）組織的な運営体制づくり,（管）業務改善,（管）人権教育,（管）特別支援教育,（管）教職員評価							

新任教頭・部主事（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	214	314	414	514	—
期日	令和3年9月28日（火）							
目的	教頭・部主事としての使命感と識見を高めるため、学校運営上の基本的事項について研修する。							
対象	令和2年度新任教頭・部主事研修講座後に昇任又は任命された教頭及び特別支援学校の部主事（既受講者を除く。）							
内容	（講義） ＜小学校・中学校＞ 「やまぐち型地域連携教育」の充実に向けて ＜高等学校＞ コミュニティ・スクールの推進について ＜特別支援学校＞ コミュニティ・スクールの推進について （講義） 組織的な学校運営における教頭・部主事の役割 （講義・演習） 学校における危機管理 （講義・演習） 教頭・部主事の実務を学ぶ —フォローアップ（2年次）との面談ロールプレイを通して—							
指標	（管）知識・識見,（管）組織運営力,（管）コミュニケーション力,（管）危機管理能力,（管）組織的な運営体制づくり,（管）家庭・地域・関係機関との連携,（管）学校安全,（管）教職員理解,（管）教職員評価,（管）服務監督綱紀保持							

新任校長（1期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	215	315	415	515	—
期日	令和3年5月11日（火）							
目的	校長としての使命感と識見を高めるため、学校経営上の基本的な諸問題について研修する。							
対象	令和2年度新任校長研修講座後に採用された校長（既受講者を除く。）							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講話） 教育長メッセージ ―新任校長に期待する― （講義） 人材育成の進め方と教職員評価について （講義） 男女共同参画の推進について （講義） 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 ―校内体制の充実をめざして― （講義） 学校における働き方改革の推進について （講義） 教育関係法規 ―校長の実務を円滑にする― （講義） 予算執行と財務管理							
指標	（管）知識・識見,（管）組織運営力,（管）コミュニケーション力,（管）組織的な運営体制づくり,（管）ビジョンの構築・具現化,（管）会計管理,（管）学校施設・設備の活用・管理,（管）生徒指導教育相談,（管）特別支援教育,（管）教職員評価,（管）人事管理,（管）服務監督綱紀保持							

新任校長（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	215	315	415	515	—
期日	令和3年9月13日（月）							
目的	校長としての使命感と識見を高めるため、学校経営上の基本的な諸問題について研修する。							
対象	令和2年度新任校長研修講座後に採用された校長（既受講者を除く。）							
内容	（講義） 学校の諸問題への対応 （研究協議） 学校経営ビジョンの実現に向けた取組と課題 ―地域連携教育の視点を踏まえて― （講義・演習・研究協議） 学校における危機管理 ―校長のリーダーシップ― ■鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授 阪根 健二							
指標	（管）知識・識見,（管）組織運営力,（管）危機管理能力,（管）組織的な運営体制づくり,（管）家庭・地域・関係機関との連携,（管）学校安全,（管）生徒指導教育相談							

養護教諭新規採用者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、サービスと職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 学校保健関係事務の円滑な実施 （演習） 社会人としてのマナー							
指標	（養）保健管理,（養）校務分掌,（養）組織的 school 運営,（養）家庭・地域等との連携,（養）法令遵守							

養護教諭新規採用者（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
期日	令和3年6月25日（金）							
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、サービスと職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
内容	（講義・演習） 保健教育の進め方　ー養護教諭の専門性を生かした授業への参画ー （講義） 学校における傷病の予防及び発生時における養護教諭の役割 （講義・演習） カウンセリングスキルの向上をめざして　ー健康相談、教育相談に生かすためにー （講義） 学校環境衛生の理論とくすり教育・薬物乱用防止教育の進め方 ■山口県薬剤師会 学校薬剤師部会 部会長 沖田 敏宜							
指標	（養）保健管理,（養）保健教育,（養）健康相談,（養）児童生徒理解,（養）教育相談							

養護教諭新規採用者（3期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
1日目	令和3年8月2日（月）							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） 児童虐待の現状と養護教諭の役割 — S S Wの視点を通して— （講義・実習） 保健室経営における I C T活用 （事例発表・研究協議） 先輩養護教諭の実践から学ぶ							
2日目	令和3年8月3日（火）							
内容	（講義） 心臓疾患の管理と指導 ■萩市民病院 医師 砂川 博史 （講義・演習） いじめ・不登校の未然防止と対応 （講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援 （事例発表・研究協議） 健康相談・保健指導の進め方 —養護教諭の専門性を生かして—							
3日目	令和3年8月4日（水）							
内容	（講義・実習） 応急手当 —学校における傷病者への対応— ■日本赤十字社山口県支部 赤十字救急法指導員 （事例発表・研究協議） 保健組織活動の進め方 —学校保健委員会、児童生徒保健委員会の取組—							
指標	（養）保健管理,（養）保健教育,（養）健康相談,（養）児童生徒理解,（養）教育相談,（養）問題行動への対応,（養）人権教育,（養）特別支援教育,（養）道徳、総合、特活,（養）保健室経営,（養）組織的学校の運営,（養）学校安全,（養）家庭・地域等との連携,（養）人材育成							

養護教諭新規採用者（4期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 今、求められる情報モラル （講義） 性に関する指導の進め方 （講義） 安心・安全な学校づくりについて							
指標	（養）保健教育,（養）問題行動への対応,（養）道徳、総合、特活,（養）学校安全							

養護教諭新規採用者（5期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
期日	令和3年10月14日（木）							
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
内容	（講義・演習） 保健室経営の進め方 （講義） 園・学校におけるアレルギーへの対応　ー食物アレルギーを中心としてー ■まかたこどもアレルギークリニック　院長　真方　浩行 （研究協議） アレルギー対応の実際　ー養護教諭と栄養教諭の連携を通してー							
指標	（養）保健管理,（養）保健室経営,（養）組織的学校運営,（養）学校安全,（養）人材育成							

養護教諭新規採用者（6期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	216	316	416	516	—
期日	令和4年1月21日（金）							
目的	養護教諭としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	養護教諭新規採用者研修の対象となる養護教諭							
内容	（研究協議） 保健室経営の実践 ＜中堅養護教諭資質向上研修合同＞ （研究協議） キャリアビジョン　ー研修の成果と今後の課題を踏まえてー ＜中堅養護教諭資質向上研修合同＞							
指標	（養）保健室経営,（養）組織的学校運営,（養）人材育成							

教職経験養護教諭（6年次：研修Ⅰ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	217	317	417	517	—
期日	5月中旬～1月下旬							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した養護教諭							
会場	異校種体験先							
内容	異校種体験							

教職経験養護教諭（6年次：研修Ⅱ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	217	317	417	517	—
期日	令和3年11月16日（火）							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した養護教諭							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） ＜Aコース＞いじめ・不登校の未然防止と対応 ＜Bコース＞特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援の在り方 （講義・演習） 養護教諭の専門性を生かした保健教育の推進 （研究協議） キャリアビジョン 一六年間の成果と今後の課題を踏まえてー							
指標	（養）保健教育,（養）児童生徒理解,（養）問題行動への対応,（養）人権教育,（養）特別支援教育,（養）校務分掌,（養）保健室経営,（養）組織的學校運営,（養）家庭・地域等との連携,（養）人材育成,（養）法令遵守							

中堅養護教諭資質向上（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	218	318	418	518	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅養護教諭等資質向上研修の対象となる養護教諭							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント —学校運営における中堅教職員の役割— ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （研究協議） 中堅教職員としての実践的な取組							
指標	（養）校務分掌,（養）組織的学校運営,（養）家庭・地域等との連携,（養）人材育成,（養）法令遵守							

中堅養護教諭資質向上（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	218	318	418	518	—
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅養護教諭資質向上研修の対象となる養護教諭							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義・演習） 安心・安全な園・学校づくりについて —危機対応力を高めるために— （講義） 養護教諭に今後求められるもの （事例発表・研究協議） 健康相談・保健指導の充実 —コーディネーターとしての役割—							
指標	（養）保健管理,（養）健康相談,（養）人権教育,（養）保健室経営,（養）学校安全,（養）人材育成							

中堅養護教諭資質向上（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	218	318	418	518	—
期日	令和3年10月19日（火）							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅養護教諭資質向上研修の対象となる養護教諭							
内容	（講義・演習） 保健教育の充実 （講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と支援の在り方 — 関係機関との連携 — （講義・演習） いじめ・不登校の未然防止と対応 — S C との連携 — （事例発表・研究協議） 保健組織活動の充実 — 児童生徒の主体的な健康づくりをめざして —							
指標	（養）保健教育,（養）児童生徒理解,（養）教育相談,（養）問題行動への対応,（養）特別支援教育,（養）道徳、総合、特活,（養）組織的學校運営,（養）家庭・地域等との連携,（養）人材育成							

中堅養護教諭資質向上（4期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	218	318	418	518	—
期日	令和4年1月21日（金）							
目的	養護教諭としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅養護教諭資質向上研修の対象となる養護教諭							
内容	（研究協議） 中堅養護教諭としての実践的な取組 — 児童生徒の健康課題の解決に向けて — ＜養護教諭新規採用者研修合同＞ （研究協議） キャリアビジョン — 研修の成果と今後の課題を踏まえて — ＜養護教諭新規採用者研修合同＞							
指標	（養）保健管理,（養）保健教育,（養）健康相談,（養）校務分掌,（養）保健室経営,（養）組織的學校運営,（養）家庭・地域等との連携,（養）人材育成							

教職経験栄養教諭等（6年次：研修Ⅰ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	219	319	419	519	—
期日	5月中旬～1月下旬							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した栄養教諭及び学校栄養職員							
会場	他施設等体験先							
内容	他施設等体験							
指標	(栄)食に関する指導, (栄)給食管理							

教職経験栄養教諭等（6年次：研修Ⅱ）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	219	319	419	519	—
期日	令和3年10月14日(木)							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	新規採用後5年経過（6年次）した栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（事例発表・研究協議） 学校・家庭・地域の連携による食育の推進 （講義） 園・学校におけるアレルギーへの対応　ー食物アレルギーを中心としてー ■まかたこどもアレルギークリニック　院長　真方　浩行 （研究協議） アレルギー対応の実際　ー養護教諭と栄養教諭の連携を通してー							
指標	(栄)食に関する指導, (栄)道徳、総合、特活, (栄)給食管理, (栄)組織的学校運営, (栄)学校安全, (栄)家庭・地域等との連携, (栄)人材育成							

中堅栄養教諭等資質向上（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	220	320	420	520	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅栄養教諭等資質向上研修の対象となる栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント —学校運営における中堅教職員の役割— ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （講義） 栄養教諭に今後求められるもの							
指標	（栄）食に関する指導,（栄）校務分掌,（栄）給食管理,（栄）組織的学校運営,（栄）家庭・地域等との連携,（栄）人材育成,（栄）法令遵守							

中堅栄養教諭等資質向上（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	220	320	420	520	—
期日	令和3年7月9日（金）							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅栄養教諭等資質向上研修の対象となる栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（事例発表・演習） 給食の時間における食に関する指導の進め方① （事例発表・研究協議） 各教科等における食に関する指導の展開							
指標	（栄）食に関する指導,（栄）道徳、総合、特活,（栄）給食管理,（栄）家庭・地域等との連携,（栄）人材育成							

中堅栄養教諭等資質向上（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	220	320	420	520	—
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅栄養教諭等資質向上研修の対象となる栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（講義・演習） 児童生徒理解に生かすカウンセリングの手法 —個別的な相談指導の充実に向けて— （演習・研究協議） 給食の時間における食に関する指導の進め方② —「ちょこっと食育」の実践を通して— （講義・演習） I C Tを活用した食に関する指導の進め方							
指標	（栄）食に関する指導,（栄）児童生徒理解,（栄）教育相談,（栄）道徳、総合、特活,（栄）給食管理,（栄）人材育成							

中堅栄養教諭等資質向上（4期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	220	320	420	520	—
期日	令和3年9月14日（火）							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅栄養教諭等資質向上研修の対象となる栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（事例発表・研究協議） 児童生徒に対する栄養管理の在り方 （事例発表・研究協議） 衛生管理の在り方 ー作業工程表・作業動線図の作成と活用ー							
指標	（栄）食に関する指導,（栄）児童生徒理解,（栄）給食管理,（栄）学校安全,（栄）人材育成							

中堅栄養教諭等資質向上（5期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	220	320	420	520	—
期日	令和3年10月14日（木）							
目的	栄養教諭及び学校栄養職員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅栄養教諭等資質向上研修の対象となる栄養教諭及び学校栄養職員							
内容	（事例発表・研究協議） 学校・家庭・地域の連携による食育の推進 （講義） 園・学校におけるアレルギーへの対応 ー食物アレルギーを中心としてー ■まかたこどもアレルギークリニック 院長 真方 浩行 （研究協議） アレルギー対応の実際 ー養護教諭と栄養教諭の連携を通してー							
指標	（栄）食に関する指導,（栄）道徳、総合、特活,（栄）給食管理,（栄）組織的学校運営,（栄）学校安全,（栄）家庭・地域等との連携,（栄）人材育成							

高等学校・特別支援学校実習助手新規採用者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	421	521	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	実習助手としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	実習助手新規採用者研修の対象となる実習助手							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員の服務と学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 実習助手の職務 （演習） 社会人としてのマナー							

高等学校・特別支援学校実習助手新規採用者（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	421	521	—
期日	令和3年7月21日（水）							
目的	実習助手としての自覚と専門性を高めるため、服務と職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	実習助手新規採用者研修の対象となる実習助手							
内容	（講義・演習） 児童生徒理解の進め方 （講義） 人権教育の推進について （講義） 今、求められる情報モラル （事例発表・研究協議） 実習助手に求められるもの							

特別支援学校寄宿舎指導員新規採用者（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	522	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	寄宿舎指導員としての自覚と専門性を高めるため、サービスと職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	寄宿舎指導員新規採用者研修の対象となる寄宿舎指導員							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義） 教職員のサービスと学校における働き方改革について （講義） 教職員の健康管理 （講義） 山口県における特別支援教育の現状と課題 （演習） 社会人としてのマナー							

特別支援学校寄宿舎指導員新規採用者（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	522	—
期日	令和3年7月21日（水）							
目的	寄宿舎指導員としての自覚と専門性を高めるため、サービスと職務内容の基礎的事項について研修する。							
対象	寄宿舎指導員新規採用者研修の対象となる寄宿舎指導員							
内容	（講義・演習） 児童生徒理解の進め方 （講義） 人権教育の推進について （講義・演習） 障害の特性に応じた支援の工夫 （事例発表・研究協議） 寄宿舎における生活指導について							

特別支援学校中堅寄宿舎指導員資質向上（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	523	—
期日	令和3年6月11日（金）							
目的	寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅寄宿舎指導員資質向上研修の対象となる寄宿舎指導員							
内容	（講話） 中堅教職員に期待する （講義） 教職員の服務と学校における働き方改革について （講義） 学校組織マネジメント —学校運営における中堅教職員の役割— ■福岡教育大学教育学部 教授 鈴木 邦治 （研究協議） 中堅教職員としての実践的な取組							

特別支援学校中堅寄宿舎指導員資質向上（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	523	—
期日	令和3年7月21日（水）							
目的	寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図るため、職務に関するより高度な専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。							
対象	中堅寄宿舎指導員資質向上研修の対象となる寄宿舎指導員							
内容	（講義・演習） 児童生徒理解の進め方 （講義） 人権教育の推進について （講義・演習） 障害の特性に応じた支援の工夫 （事例発表・研究協議） 寄宿舎における生活指導について							

新規採用事務職員課程（1期オンライン）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	224	324	—	—	—
期日	令和3年4月16日（金）							
目的	事務職員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度新規採用事務職員課程研修講座後に採用された事務職員							
会場	オンライン（所属校）							
内容	（講義） 教職員評価について （講義） 教職員の福利厚生 （講義） 社会人としてのマナー （講義） 文書事務の基本							

新規採用事務職員課程（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	224	324	—	—	—
期日	令和3年4月23日（金）							
目的	事務職員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度新規採用事務職員課程研修講座後に採用された事務職員							
内容	（講義・演習） 出勤簿整理の実務 （講義・演習） 給与の実務 （講義・演習） 小・中学校事務ネットワークシステムの実務							

新規採用事務職員課程（3期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	224	324	—	—	—
期日	令和3年5月7日（金）							
目的	事務職員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度新規採用事務職員課程研修講座後に採用された事務職員							
内容	（講話） 新任教職員に期待する （講義・演習） 教職員の倫理・綱紀の保持 （講義） 教職員の健康管理 （講義・演習） 学校における人間関係づくり							

新規採用事務職員課程（4期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	224	324	—	—	—
期日	令和3年5月18日（火）							
目的	事務職員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度新規採用事務職員課程研修講座後に採用された事務職員							
内容	（講義・演習） 旅費の実務 （講義・演習） 接遇 （講義・研究協議） 仕事の進め方 — 学校事務職員として —							

新規採用事務職員課程（5期宿泊）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	224	324	—	—	—
目的	事務職員としての自覚と専門性を高めるため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度新規採用事務職員課程研修講座後に採用された事務職員							
1日目	令和3年8月26日（木）							
内容	（講義・演習） 文書の実務 （講義） 情報モラル —学校における個人情報の保護について— （講義・実習） I C Tの活用Ⅰ —I C T教育の推進— （実習） I C Tの活用Ⅱ —仕事の効率化—							
2日目	令和3年8月27日（金）							
内容	（講義） 学校における保護者対応 （講義） 特別支援教育の推進について （講義） 人権教育の推進について （講義） 学校運営参画と学校事務職員の役割 （グループ討議） 各学校の課題と対応							

事務職員事務主任課程（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	225	325	—	—	—
期日	令和3年6月17日（木）							
目的	事務主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的事項について研修する。							
対象	令和2年度以降に事務主任に昇任した事務職員							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義・実習） 学校におけるICT活用 （講義） 教育行政の現状と課題 （研究協議） 学校事務運営上の諸問題							

事務職員事務主任課程（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	225	325	—	—	—
期日	令和3年9月16日（木）							
目的	事務主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的事項について研修する。							
対象	令和2年度以降に事務主任に昇任した事務職員							
内容	（講義） 学校における働き方改革 ー教職員の意識改革と学校組織マネジメントの視点を踏まえてー（教員・事務職員合同） ■合同会社ライフ＆ワーク 代表 妹尾 昌俊 （講義） 学校安全管理について （講義・研究協議） 学校運営の円滑な推進に向けて ー保護者への対応ー							

事務職員主査課程（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	226	326	—	—	—
期日	令和3年6月17日（木）							
目的	主査としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的事項について研修する。							
対象	令和2年度以降に主査に昇任した事務職員							
内容	（講義） 人権教育の推進について （講義） 学校における I C T活用 （講義） 事務指導員の役割 （研究協議） 主査の職責と実務							

事務職員主査課程（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	226	326	—	—	—
期日	令和3年9月16日（木）							
目的	主査としての資質能力の向上を図るため、職務に関する専門的事項について研修する。							
対象	令和2年度以降に主査に昇任した事務職員							
内容	（講義） 学校における働き方改革の推進 ー教職員の意識改革と学校組織マネジメントの視点を踏まえてー（教員・事務職員合同） ■合同会社ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊 （事例発表） 学校の業務改善に向けた実践的な取組（教員・事務職員合同） （演習・研究協議） 教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて（教員・事務職員合同） ■合同会社ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊							

事務職員新任事務長課程研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	227	327	—	—	—
期日	令和3年5月25日（火）							
目的	事務長としての使命感と識見を高めるため、事務長の職務と学校運営上の基本的事項について研修する。							
対象	令和元年度事務職員新任事務長課程研修講座後に事務長に昇任した事務職員							
会場	県庁教育委員会室（山口市滝町1-1）							
内容	（講話） 事務長に期待する （講義） 事務職員の人材育成 （講義） 教職員評価を活用した人材育成 （講義・研究協議） 学校の危機管理 （講義・研究協議） 学校事務職員の学校運営への参画 ー学校における働き方改革を踏まえてー							

教務主任研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	228	328	428	528	—
		定 員						
期日	令和3年6月4日(金)							
目的	教務主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	初めて教務主任となった教員							
内容	(講義) 学校における人権教育の推進 (講義) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と対応 (講義) 学校安全の推進における教務主任の役割 (講義・演習) 教務主任のための教育関係法規 (事例発表・研究協議) 教務主任の職務とその実際 ー学校における I C T活用の取組ー							
指標	(教)授業計画, (教)児童生徒理解, (教)人権教育, (教)特別支援教育, (教)校務分掌, (教)組織的 学校運営, (教)学校安全, (教)家庭・地域等との連携, (教)法令遵守							

学年主任研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	229	329	429	529	—
		定 員						
期日	令和3年6月16日(水)							
目的	学年主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	3学級以上の学年において、初めて学年主任となった教員							
内容	(講義・演習) 学年主任に求められるコミュニケーション能力 ー教職員間及び保護者との連携を強化するためにー (講義・演習) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの理解と学年主任としての対応 (事例発表) 学年経営の実際 ＜小学校・小学部部会＞＜中学校・中学部部会＞＜高等学校・高等部部会＞ (研究協議) よりよい学年経営をめざして ＜小学校・小学部部会＞＜中学校・中学部部会＞＜高等学校・高等部部会＞							
指標	(教)児童生徒理解, (教)特別支援教育, (教)学級・学年経営, (教)組織的 学校運営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

保健主任研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	230	330	430	530	—
		定 員						
期日	令和3年6月15日(火)							
目的	保健主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対象	6学級以上の学校において、初めて保健主任となった教員							
内容	(講義) 保健主任の職務 (講義・演習) 学校の危機管理における保健主任の役割 —組織的な対応に向けて— (事例発表) 組織的な学校保健活動の取組 (研究協議) 組織的な学校保健活動の充実に向けて —学校・家庭・地域の連携を中心に—							
指標	(教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)学校安全, (教)家庭・地域等との連携, (養)校務分掌, (養)組織的学校運営, (養)学校安全, (養)家庭・地域等との連携							

生徒指導主任研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	231	331	431	531	—
		定 員						
期日	令和3年6月10日(木)							
目的	生徒指導の今日的課題についての理解を深め、生徒指導主任としての資質能力の向上を図るため、生徒指導主任の職務について研修する。							
対象	初めて生徒指導主任となった教員							
内容	(講義・演習) 組織で取り組む生徒指導 (講義) 効果的な保護者連携・家庭支援の在り方 (講義・演習) 困難事例への対応 —具体的事例を通して—							
指標	(教)問題行動への対応, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)家庭・地域等との連携							

初めて特別支援学級を担当する教員（小・中）及び初めて校内Coを担当する教員（高）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	232	332	432	—	—
		定 員						
期日	令和3年6月2日(水)							
目的	特別支援学級を担当する教員（小・中）、校内コーディネーター（校内Co）を担当する教員（高）としての資質能力の向上を図るため、基礎的事項と実践上の諸課題について研修する。							
対象	初めて特別支援学級を担当する教員（小・中）及び初めて校内Coを担当する教員（高）							
内容	（講義） 特別支援教育の基礎 （講義） 個に応じた指導・支援の充実 －事前アンケートから－ （事例発表・研究協議） 特別支援学級における指導・支援の実際 －実践上の課題解決に向けて－ 〈小学校部会〉 〈中学校部会〉 （事例発表・研究協議） 校内支援体制構築の実際 －実践上の課題解決に向けて－ 〈高等学校部会〉							
指標	(教) 児童生徒理解, (教) 特別支援教育, (教) 学級・学年経営, (教) 組織的学校の運営							

複式学級担任研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	233	—	—	—	—
		定 員		30				
期日	令和3年8月3日(火)							
目的	複式教育に関する専門性を高めるため、複式学級のよさや課題に目を向け、複式学級における授業の工夫・改善や学級づくりについて研修する。							
対象	複式学級編成のある小学校教員							
内容	（講義・演習） 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた複式学級の授業づくりと学級づくりの在り方 ■比治山大学現代文化学部 教授 上之園 公子 （事例発表・研究協議） 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた複式学級の授業づくりと学級づくりの工夫 －実践事例の検討を通して－							
指標	(教) 授業実施, (教) 授業研究・改善, (教) 学級・学年経営							

観察、実験の技能を高める実習助手研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	434	534	—
		定 員				18	2	
期日	令和3年6月17日(木)							
目的	実習助手としての専門性を高めるため、観察・実験器具及び薬品の安全な取扱いについて研修する。							
対象	実習助手（普通教科）							
内容	（講義・実習） I C T機器を活用した実験・実習例について （講義・実習） 観察器具の取扱いについて — 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察を通して — （講義・実習） 観察器具の取扱いについて — 手作り偏光顕微鏡による岩石薄片の観察を通して — （事例発表・研究協議） 安心・安全な観察、実験の実際							

教育委員会事務局新任職員等（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	—	635
		定 員						
期日	令和3年4月12日（月）							
目的	教育委員会事務局職員としての自覚と識見を高めるため、教育行政に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度教育委員会事務局新任職員等研修講座後に、県教育委員会、市町教育委員会の事務局又は学校以外の教育機関に勤務することになった教職出身者（既受講者を除く） ※令和2年度の受講対象者も聴講可能							
会場	オンライン（各所属）							
内容	（講義） 山口県の教育改革の動向について （講義・演習） 文書事務の進め方							

教育委員会事務局新任職員等（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	—	635
		定 員						
期日	令和3年4月22日（木）							
目的	教育委員会事務局職員としての自覚と識見を高めるため、教育行政に関する基礎的事項について研修する。							
対象	令和2年度教育委員会事務局新任職員等研修講座後に、県教育委員会、市町教育委員会の事務局又は学校以外の教育機関に勤務することになった教職出身者（既受講者を除く） ※令和2年度の受講対象者も聴講可能							
内容	（講話） 事務局新任職員に期待する （講義・演習） 教育関係法規の読み方 （講義） 人権教育の推進と事務局職員としての在り方 <第1部会> （講義・演習） 「現場重視」の助言 <第2部会> （講義・実習） Excelの活用 （講義・演習） 「成果重視・スピード重視」をふまえた資料作成 （講話） 事務局職員の仕事の進め方							

探究する力の育成をめざす授業づくり推進（リーダー養成）（1期） 研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	236	336	436	536	—
		定 員		10	10	16	4	
期日	令和3年6月9日（水）							
目的	各教科・科目における探究する力の育成をめざす授業づくりを組織的に推進するリーダーを養成するため、理論と方法について実践的に研修する。							
対象	授業づくりを組織的に推進する教員							
内容	（講義）【開放講義】 習得・活用・探究における授業と評価の改善 ー主体的・対話的で深い学びの実現に向けてー ■東京大学 名誉教授 市川 伸一 （講義） 探究する力の育成をめざす授業づくりの工夫 ー探究の過程を意識した学習事例を通してー （研究協議） 探究する力の育成をめざす授業づくりを推進するために ー実践的な取組をめざしてー							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）人材育成							

探究する力の育成をめざす授業づくり推進（リーダー養成）（2期） 研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	236	336	436	536	—
		定 員		10	10	16	4	
期日	令和3年10月22日（金）							
目的	各教科・科目における探究する力の育成をめざす授業づくりを組織的に推進するリーダーを養成するため、理論と方法について実践的に研修する。							
対象	授業づくりを組織的に推進する教員							
内容	（研究協議） 探究する力の育成をめざす授業づくりの実際 ー実践の成果と課題の共有を通してー （講義・演習） 探究する力の育成をめざす授業づくりを組織的に推進するために ーリーダーとして求められることー ■関西大学総合情報学部総合情報学科 教授 黒上 晴夫 （研究協議） 探究する力の育成をめざす授業づくりを組織的に推進するために ー課題解決の実現に向けてー ■関西大学総合情報学部総合情報学科 教授 黒上 晴夫							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善,（教）組織的学校運営,（教）人材育成							

教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進（リーダー養成）（1期） 研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	237	337	437	537	637
		定 員		9	9	8	6	3
期日	令和3年6月23日（水）							
目的	地域連携教育を推進するリーダーとして、連携することの意義や重要性について理解し、計画的・継続的な連携を企画・運営する方法について研修する。							
対象	地域連携教育を推進する教職員							
内容	（講義） 学校における地域連携教育の方向性 ーコミュニティ・スクールを核とした地域とのつながりの強化ー ■山口大学教育学部 教授 （講義・演習） コミュニティ・スクールを核とした取組の充実と成果 ー地域連携カリキュラムとカリキュラム・マネジメントー ■山口大学教育学部 教授							
指標	（教）組織的・学校運営,（教）家庭・地域等との連携							

教職大学院で学ぶ「地域連携教育」推進（リーダー養成）（2期） 研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	237	337	437	537	637
		定 員		9	9	8	6	3
期日	令和3年11月10日（水）							
目的	地域連携教育を推進するリーダーとして、連携することの意義や重要性について理解し、計画的・継続的な連携を企画・運営する方法について研修する。							
対象	地域連携教育を推進する教職員							
内容	（事例発表・研究協議） それぞれの学校と地域の特色を生かした地域連携カリキュラム ー地域連携教育に係る取組の改善プランー ■山口大学教育学部 教授 （講義・研究協議） 地域連携カリキュラムとカリキュラム・マネジメントの工夫 ー組織的な取組の充実を目指してー ■山口大学教育学部 教授 （講義・演習） これからのコミュニティ・スクールの取組の充実に向けて ー地域連携を推進するリーダーに求められることー ■山口大学教育学部 教授							
指標	（教）組織的・学校運営,（教）家庭・地域等との連携							

※会場は、総合教育支援センター以外で
行う場合のみ記載しています。

リーダー養成研修

小学校プログラミング教育推進（リーダー養成）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	238	—	—	—	—
		定 員		120				
期日	令和3年6月2日（水）・3日（木）・4日（金）【各回40人ずつ同一内容で実施】							
目的	各学校や地域における小学校プログラミング教育を推進するリーダーを養成するため、理論と方法について実践的に研修する。							
対象	各学校や地域で小学校プログラミング教育を推進する教員							
内容	（講義） 小学校段階におけるプログラミング教育の在り方 ■山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮 ■山口大学教育学部 教授 中田 充 （講義・実習） ロボット教材を活用したプログラミング教育の進め方 （講義・実習） プログラミングを取り入れた教科等の学習の進め方 （事例発表・研究協議） プログラミング教育の充実に向けた取組の工夫							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)授業研究・改善							

I C T活用推進（小・中・特）（リーダー養成）（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	239	339	—	539	—
		定 員		20	20		6	
期日	令和3年6月25日（金）							
目的	通常の授業等における I C T活用を、各学校や地域の中核となって推進するリーダーを養成するため、授業づくりやマネジメント等について研修する。							
対象	各学校や地域で I C Tの活用を推進する教諭							
内容	（講義） 新時代における授業・学習における I C T活用と研修の在り方 ー1人1台環境が有効活用できる研修を進めるアイデアー ■鹿児島大学教育学部 准教授 山本 朋弘 （講義・実習） クラウドを活用した協働的な学びについて① （講義・実習） クラウドを活用した協働的な学びについて② （講義・実習） I C T活用の校内研修・授業づくりについて ■山口大学教育学部 教授 （実習） I C Tを活用した授業づくり ■山口大学教育学部 教授							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）授業研究・改善							

I C T活用推進（小・中・特）（リーダー養成）（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	239	339	—	539	—
		定 員		20	20		6	
期日	令和3年12月2日（木）							
目的	通常の授業等における I C T活用を、各学校や地域の中核となって推進するリーダーを養成するため、授業づくりやマネジメント等について研修する。							
対象	各学校や地域で I C Tの活用を推進する教諭							
内容	（事例発表） 研究授業の事例発表 ■山口大学教育学部 教授 （研究協議） I C T活用研修の進め方 ■山口大学教育学部 教授 （講義・実習） I C T活用研修の充実に向けて ーコーディネータに求められることー ■山口大学教育学部 教授							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）授業研究・改善							

I C T活用推進（高）（リーダー養成）（1期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	440	—	—
		定 員				30		
期日	令和3年6月24日(木)							
目的	通常の授業等における I C T活用を、各学校や地域の中核となって推進するリーダーを養成するため、授業づくりやマネジメント等について研修する。							
対象	各学校や地域で I C Tの活用を推進する教諭							
内容	(講義) 新時代における授業・学習における I C T活用と研修の在り方 ー1人1台環境が有効活用できる研修を進めるアイデアー ■鹿児島大学教育学部 准教授 山本 朋弘 (講義・実習) クラウドを活用した協働的な学びについて① (講義・実習) クラウドを活用した協働的な学びについて② (講義・実習) I C T活用の校内研修づくりの在り方 ■山口大学教育学部 教授 (実習) 研修パッケージを活用した研修づくり ■山口大学教育学部 教授							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)授業研究・改善							

I C T活用推進（高）（リーダー養成）（2期）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	440	—	—
		定 員				30		
期日	令和3年12月3日(金)							
目的	通常の授業等における I C T活用を、各学校や地域の中核となって推進するリーダーを養成するため、授業づくりやマネジメント等について研修する。							
対象	各学校や地域で I C Tの活用を推進する教諭							
内容	(事例発表) 企画・運営した研修の事例発表 ■山口大学教育学部 教授 (研究協議) I C T活用研修の進め方 ■山口大学教育学部 教授 (講義・実習) I C T活用研修の充実に向けて ーコーディネータに求められることー ■山口大学教育学部 教授							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)授業研究・改善							

「学校における働き方改革」研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	141	241	341	441	541	—
		定 員	4	20	20	20	6	
期日	令和3年9月16日(木)							
目的	持続可能な学校の指導・運営体制の構築及び教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて教職員の意識改革を図る研修をする。							
対象	ミドルマネジメント研修の対象となる教諭及び新規採用後10年以上経過した教職員							
内容	(講義) 【開放講義】 学校における働き方改革 ー教職員の意識改革と学校組織マネジメントの視点を踏まえてー (教員・事務職員合同) ■合同会社 ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊 (事例発表) 学校の業務改善に向けた実践的な取組 (教員・事務職員合同) (演習・研究協議) 教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて (教員・事務職員合同) ■合同会社 ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊							
指標	(教)学級・学年経営, (教)校務分掌, (教)組織的学校運営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	142	242	342	442	542	—
		定 員	5	35	15	10	5	
期日	令和3年8月20日(金)							
目的	学校における生徒指導上の諸課題によって生じる学校危機への対応力を向上させるため、生徒指導、教育相談の視点からリスクマネジメントについて研修する。							
対象	ミドルマネジメント研修の対象となる教諭(経験年数14～16年目)及び新規採用後10年以上経過した教職員							
内容	(講義・演習) 生徒指導上の課題とリスクマネジメント ーいじめの事例から考えるー (講義) 児童虐待と家庭支援について (講義・演習) 【開放講義】 児童虐待が子どもの心身の発達に与える影響について ■福井大学 教授 友田 明美							
指標	(教)児童生徒理解, (教)教育相談, (養)健康相談, (養)児童生徒理解, (養)教育相談, (栄)児童生徒理解, (管)危機管理能力, (管)学校安全							

※会場は、総合教育支援センター以外で
行う場合のみ記載しています。

マネジメント研修

つながりを核としたカリキュラム・マネジメント研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	243	343	443	543	—
		定 員		37	20	10	3	
期日	令和3年7月9日(金)							
目的	学校の組織力向上をめざし、教職員の資質能力の向上を図るために、カリキュラム・マネジメントの理論と方法について研修する。							
対象	ミドルマネジメント研修対象となる教諭及び新規採用後10年以上経過した教職員							
内容	(事例発表・研究協議) つながり を核としたカリキュラム・マネジメントの実際 —具体的な取組と工夫について— (講義・演習) つながり を核としたカリキュラム・マネジメントの在り方 —分析と評価の視点から— ■広島大学大学院人間社会科学研究科(教育学コース) 教授 曾余田 浩史 (研究協議) つながり を核としたカリキュラム・マネジメントの進め方 —各学校の実践分析を通して— ■広島大学大学院人間社会科学研究科(教育学コース) 教授 曾余田 浩史							
指標	(教)授業計画, (教)組織的学校運営, (教)家庭・地域等との連携, (教)人材育成							

キャリアアップ研修(教科研修)

情報を関連付けて読む力を育てる国語科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	244	344	—	544	—
		定 員		60	18		2	
期日	令和3年7月26日(月)							
目的	国語科に関する専門性の向上を図るため、情報を関連付けて読む力を育てる授業づくりについて研修する。							
対象	小学校・特別支援学校の教員及び中学校の国語科を担当する教員							
内容	(講義・演習) 情報を関連付けて読む力を育てる授業づくりの在り方 ■兵庫教育大学大学院 教授 吉川 芳則 (事例発表・研究協議) 情報を関連付けて読む力を育てる授業づくりの実際 ー実践事例の検討を通してー ＜小学校・小学部部会＞＜中学校・中学部部会＞ (演習) 説明的な文章を読む力を育てる授業づくりの工夫 ー教材研究を通してー ＜小学校・小学部部会＞＜中学校・中学部部会＞							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

表現を吟味して書く力を育成する国語科研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	445	545	—
		定 員				18	2	
期日	令和3年9月14日(火)							
目的	国語科を担当する教員としての専門性を高めるため、書く力の育成を図る指導と評価について研修する。							
対象	国語科を担当する教員							
内容	(講義・演習) 表現を吟味して書く力を育成する指導と評価の在り方 ー新学習指導要領を踏まえてー (事例発表・研究協議) 表現を吟味して書く力を育成する指導の実際 ー実用的な文章と文学的な文章を題材としてー							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教科研修)

新学習指導要領を踏まえた社会科（歴史的分野）・地理歴史科 「歴史総合」研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	346	446	546	—
		定 員			14	12	2	
期日	令和3年9月17日（金）							
目的	社会科及び地理歴史科を担当する教員としての専門性を高めるため、新学習指導要領を踏まえた指導と評価について研修する。							
対象	社会科及び地理歴史科を担当する教員							
内容	（講義・演習） 新学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方 －社会科（歴史的分野）と地理歴史「歴史総合」を中心に－ ■鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授 梅津 正美 （演習） 深い学びの実現に向けた授業の工夫 －I C Tの活用を中心に－ ＜中学校・中学部部会＞ （演習・研究協議） 深い学びの実現に向けた授業の実際 －単元指導計画の作成を通して－ ＜高等学校・高等部部会＞ （講義・研究協議） 深い学びの実現に向けた授業の実際 －「歴史総合」の模擬授業の検討を通して－							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善							

対話を通して学びを深める算数科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	247	—	—	547	—
		定 員		78			2	
期日	令和3年8月17日（火）							
目的	算数科に関する専門性の向上を図るため、対話を通して学びを深める授業づくりについて研修する。							
対象	教員							
内容	（講義・演習） 対話を通して学びを深める授業づくりの在り方 （事例発表・研究協議） 対話を通して学びを深める授業づくりの工夫 －新領域・新内容を踏まえた模擬授業の検討を通して－							
指標	（教）授業計画,（教）授業実施,（教）評価,（教）授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教科研修)

数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	348	448	548	—
		定 員			18	14	2	
期日	令和3年9月15日(水)							
目的	数学科を担当する教員として指導力の向上を図るため、数学的な見方・考え方を働かせる数学科授業づくりについて研修する。							
対象	数学科を担当する教員							
内容	(事例発表・研究協議) 数学的な見方・考え方を働かせる授業の工夫 —模擬授業の検討を通して— (講義・演習) 数学的な見方・考え方を働かせる授業の在り方 —I C Tの活用を通して—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	249	349	—	549	—
		定 員		9	5		2	
期日	令和3年8月24日(火)							
目的	家庭科に関する専門性の向上を図るため、食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりについて研修する。							
対象	小学校・特別支援学校の教員及び中学校技術・家庭科(家庭分野)を担当する教員							
内容	(講義・実習) 実践的・体験的な活動の充実に向けた指導の在り方 —調理実習及び教材作成を通して— ■大和食品株式会社 代表取締役社長 本保 圭一郎 (事例発表・研究協議) 実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりの実際 —実践事例の検討を通して— (研究協議) 実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりの工夫 —個に応じた指導をより一層充実させるために—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教科研修)

「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」について 基礎から学ぶ技術・家庭科（技術分野）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	350	—	550	—
		定 員			17		3	
期日	令和3年6月24日(木)							
目的	技術・家庭科（技術分野）に関する指導力の向上を図るため、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」のプログラミングについて基礎的な指導方法を研修する。							
対象	技術・家庭科（技術分野）を担当する教員							
内容	（講義・演習） 技術における見方・考え方 ー研修モジュールを活用してー （講義・実習） プログラミング教育の実際 ー小・中の学習内容のつながりを意識してー （講義・実習） 「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」を題材とした授業づくりの在り方 （研究協議） 「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」を題材とした授業づくりの工夫							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科（英語）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	251	351	—	551	—
		定 員		60	20		2	
期日	令和3年6月17日(木)							
目的	外国語活動・外国語科（英語）に関する専門性を高めるとともに、小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科（英語）の指導と評価について研修する。							
対象	小学校・特別支援学校の教員及び中学校の外国語科（英語）を担当する教員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	（事例発表・研究協議） 小・中の学びの接続を重視した授業の実際 ー模擬授業を通してー （講義・演習）【開放講義】 小・中の学びの接続を重視した授業の在り方 ー円滑な接続を見据えた指導と評価についてー ■信州大学学術研究院教育学系 教授 酒井 英樹							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教科研修)

新学習指導要領の実施に向けた外国語科（英語）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	452	552	—
		定 員				20	2	
期日	令和3年9月22日（水）							
目的	外国語科（英語）を担当する教員としての専門性を高めるため、新学習指導要領を踏まえた指導と評価について研修する。							
対象	外国語科（英語）を担当する教員							
内容	（事例発表・研究協議） 新学習指導要領を踏まえた授業の実際 — I C T の効果的な活用を通して — （講義・演習）【開放講義】 新学習指導要領を踏まえた授業の在り方 — 指導と評価の一体化をめざして — ■ 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 富高 雅代							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

考え、議論する道徳科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	253	353	—	553	—
		定 員		48	30		2	
期日	令和3年10月1日（金）							
目的	道徳科に関する専門性を高めるため、考え、議論する道徳の授業づくりについて研修する。							
対象	教員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
会場	総合教育支援センターを会場とするが、離島の学校に所属する受講者については、オンライン会議システムを使用した所属校での受講も可能とする。							
内容	（講義） 考え、議論する道徳科授業づくりの在り方 — 効果的な指導方法と評価の視点から — ■ 帝京大学大学院 教授 赤堀 博行 （事例発表・研究協議） 考え、議論する道徳科授業づくりの工夫 — 小中のつながりを踏まえた模擬授業の検討を通して —							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善, (教)道徳、総合、特活							

キャリアアップ研修(教科研修)

深い学びにつなげる理科授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	254	—	—	554	—
		定 員		22			2	
期日	令和3年7月20日(火)							
目的	理科に関する専門性を高めるため、観察、実験の工夫と児童が見方・考え方を働かせることで深い学びの実現につなげる授業づくりについて研修する。							
対象	教員							
内容	(講義・実習) 雨水の行方と地面の様子、流水の働きと土地の変化、土地のつくりと変化の学習に関する観察、実験の工夫 (講義・演習) 生きた知識が身に付く授業づくりの工夫 —振り子の運動の単元を通して— (講義・実習) 児童が見方・考え方を働かせる場面をつくる工夫 —身の回りの生物の教材研究と I C T の活用を通して—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

これで安心！基礎から学ぶ理科観察、実験研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	255	—	—	555	—
		定 員		22			2	
期日	令和3年8月27日(金)							
目的	深い学びの実現に向けた教科指導力の向上を図るため、理科における観察、実験の指導に必要な基礎的内容について研修する。							
対象	教員							
内容	(講義・実習) 金属、水、空気と温度に関する観察、実験の指導の進め方 (講義・実習) 磁石の性質、電流が作る磁力に関する観察、実験の指導の進め方 (講義・実習) 太陽、月、星座の観察、 I C T の活用と実験の指導の進め方							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教科研修)

深い学びにつなげる理科（第1分野）観察、実験研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	356	—	556	—
		定 員			22		2	
期日	令和3年8月17日(火)							
目的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、生徒が見方・考え方を働かせることで深い学びにつなげる観察、実験の指導方法について研修する。							
対象	理科を担当する教員							
内容	(講義・実習) 見方・考え方を働かせ、生きた知識を身に付ける観察、実験の指導の工夫 —「電流とその利用」の単元を通して— (事例発表・研究協議) 小・中学校の学びのつながり、学習指導要領を意識した授業づくり —「粒子領域」の学習を通して— (講義・実習) 見方・考え方を働かせ、生きた知識を身に付ける観察、実験の指導の工夫 —「化学変化とイオン」の単元を通して—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

深い学びにつなげる理科（第2分野）観察、実験研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	357	—	557	—
		定 員			22		2	
期日	令和3年6月24日(木)							
目的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、生徒が見方・考え方を働かせることで深い学びにつなげる観察、実験の指導方法について研修する。							
対象	理科を担当する教員							
内容	(講義・実習) 「いろいろな生物とその共通点」に関する観察の指導の工夫Ⅰ —身近な生物の観察を通して— ■山口大学教育学部 准教授 柴田 勝 (講義・実習) 「いろいろな生物とその共通点」に関する観察の指導の工夫Ⅱ —生きた知識が身に付く探究の進め方— (講義・実習) 見方・考え方を働かせ、生きた知識を身に付ける観察、実験の指導の工夫 —「地球と宇宙」の単元を通して—							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

※会場は、総合教育支援センター以外で
行う場合のみ記載しています。

キャリアアップ研修(教科研修)

深い学びにつなげる理科（物理）授業づくり研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	458	558	—
		定 員				14	2	
期日	令和3年10月21日(木)							
目的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、生徒が見方・考え方を働かせることで深い学びにつなげる指導方法について研修する。							
対象	理科を担当する教員							
内容	(講義・実習) 深い学びにつなげる理科（物理）授業づくりの在り方 ー探究の過程における実験・実習の視点からー ■山口大学教育学部 教授 重松 宏武 (講義・演習) 見方・考え方を働かせる理科（物理）授業づくりの進め方 ー指導と評価を意識してー (事例発表) 深い学びにつなげる理科（物理）授業づくりの実際 ー物理領域における I C T の効果的な活用を通してー (研究協議) 深い学びの実現に向けた理科（物理）授業づくりの工夫 ー実践事例の検討を通してー							
指標	(教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(教育相談研修)

教育相談におけるコーディネート力養成研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	259	359	459	559	—
		定 員		15	15	12	3	
期日	令和3年7月29日(木)							
目的	教育相談に関する基礎的な理論・技術とともに、教育相談担当者が担う役割や校内外の効果的な連携の在り方について研修することで、機能的な教育相談体制の構築をめざす。							
対象	教育相談を担当する教員（教育相談に関する基礎的な内容の習得を希望する者） ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	（講義） 組織的な教育相談 （事例発表） 教育相談担当者の役割 ー不登校に関する支援を中心にー ＜小学校部会＞＜中学校部会＞＜高等学校部会＞ （講義・演習） 児童生徒理解と教育相談の進め方 （講義・演習） 効果的な連携の在り方 ー保護者支援を中心にー							
指標	(教)児童生徒理解, (教)教育相談, (教)問題行動への対応, (教)校務分掌, (養)健康相談, (養)児童生徒理解, (養)教育相談, (養)問題行動への対応, (養)校務分掌							

今日から始める不登校に関する支援の在り方研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	260	360	460	560	—
		定 員		25	16	14	5	
期日	令和3年6月21日(月)							
目的	児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、不登校の未然防止や不登校児童生徒及びその保護者への迅速かつ適切な支援の在り方について実践的に研修する。							
対象	教員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	（講義・研究協議） 不登校の理解と支援 （講義・演習） 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの理解と支援 （講義・演習）【開放講義】 不登校の未然防止と支援 ■とね臨床心理士事務所 カウンセリング・オフィス「ZEN」 所長 刀根 良典							
指標	(教)児童生徒理解, (教)教育相談, (教)問題行動への対応, (教)特別支援教育, (養)健康相談, (養)児童生徒理解, (養)教育相談, (養)問題行動への対応, (養)特別支援教育, (管)生徒指導教育相談, (管)特別支援教育							

※会場は、総合教育支援センター以外で行う場合のみ記載しています。

キャリアアップ研修(特別支援教育研修)

ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた発達障害のある子どもを含む全ての子どもへの支援研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	161	261	361	461	561	—
		定 員	15	42	20	20	5	
期日	令和3年8月2日(月)							
目的	特別支援教育の推進と充実を図るため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、発達障害のある子どもを含む全ての子どもへの指導・支援について専門的に研修する。							
対象	教職員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	(講義・演習) ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた学級づくり・授業づくり (研究協議) ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた指導・支援の実際 (講義) 【開放講義】 ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教育ー発達障害のある子どもを含む全ての子どもたちのためにー ■植草学園短期大学福祉学科 教授 佐藤 慎二							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)特別支援教育, (教)学級・学年経営, (養)児童生徒理解, (養)特別支援教育, (栄)児童生徒理解, (栄)特別支援教育, (管)特別支援教育							

専門性を高める特別支援教育(知的障害、肢体不自由)研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	162	262	362	462	562	—
		定 員	3	15	5	3	27	
期日	令和3年7月27日(火)							
目的	特別支援学校等の教育に携わる教職員としての資質向上を図るため、幼児児童生徒の障害特性や困難さに応じた指導・支援について専門的に研修する。							
対象	教員、実習助手、寄宿舎指導員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	(講義) 自立活動の指導の充実に向けて (事例発表) 障害特性や困難さに応じた指導・支援の実際Ⅰ ーICT機器の効果的な活用事例を中心にー ＜知的障害部会＞＜肢体不自由部会＞ (講義・演習・研究協議) 障害特性や困難さに応じた指導・支援の実際Ⅱ ー卒業後の姿を見据えた支援体制の充実のためにー ＜知的障害部会＞ ■社会福祉法人鹿野福祉会 障がい福祉課長・管理者 通山 賢一 ＜肢体不自由部会＞ ■山口コ・メディカル学院 副校長 吉村 静馬							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)特別支援教育, (養)児童生徒理解, (養)特別支援教育, (管)特別支援教育							

※会場は、総合教育支援センター以外で行う場合のみ記載しています。

キャリアアップ研修(特別支援教育研修)

専門性を高める特別支援教育（自閉症・情緒障害、視覚障害）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	163	263	363	463	563	—
		定 員	8	15	5	3	22	
期日	令和3年9月29日(水)							
目的	特別支援学校等の教育に携わる教職員としての資質向上を図るため、幼児児童生徒の障害特性や困難さに応じた指導・支援について専門的に研修する。							
対象	教員、実習助手、寄宿舎指導員 ※下関市立の小・中学校に勤務する者においては、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ対象者のみ受講可能。							
内容	(講義) 自立活動の指導の充実に向けて (事例発表) 障害特性や困難さに応じた指導・支援の実例Ⅰ ー I C T機器の効果的な活用事例を中心にー ＜自閉症・情緒障害部会＞＜視覚障害部会＞ (講義・演習・研究協議) 障害特性や困難さに応じた指導・支援の実例Ⅱ ー卒業後の姿を見据えた支援体制の充実のためにー ＜自閉症・情緒障害部会＞ ■山口県立大学社会福祉学部 講師 永瀬 開 ＜視覚障害部会＞ ■元視覚障害教育センター 元地域コーディネーター 谷 守人							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)特別支援教育, (養)児童生徒理解, (養)特別支援教育, (管)特別支援教育							

通級による指導の充実研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	164	264	364	464	—	—
		定 員	3	34	11	14		
期日	令和3年6月28日(月)							
目的	特別支援教育の推進と充実を図るため、通級による指導を受けている幼児児童生徒の指導・支援について実践的・専門的に研修する。							
対象	教職員							
内容	(講義) 通級指導教室の役割と運営 (事例発表) 通級による指導における指導・支援の実例Ⅰ (講義・演習) 【開放講義】 通級による指導を受けている幼児児童生徒への指導・支援 ー I C T機器の効果的な活用事例を中心にしてー ■松江市立意東小学校 教諭 井上 賞子 (研究協議) 通級による指導における指導・支援の実例Ⅱ							
指標	(教)授業研究・改善, (教)児童生徒理解, (教)特別支援教育, (管)特別支援教育							

キャリアアップ研修(情報教育研修)

基礎からはじめるＩＣＴ活用（小・特）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	265	—	—	565	—
		定 員		38			4	
期日	令和3年8月19日(木)							
目的	1人1台端末の効果的な活用によって、主体的・対話的で、深い学びを実現するための指導力向上を図るため、ＩＣＴを効果的に活用した授業づくりの基礎について研修する。							
対象	教員							
内容	(講義・演習) 授業におけるＩＣＴ活用の在り方 ■東京学芸大学教育学部 准教授 高橋 純 (講義・実習) 基礎から学ぶプログラミング教育 (講義・実習) 1人1台端末を使った授業づくり ークラウドサービスを活用してー (演習・研究協議) 授業における効果的なＩＣＴ活用							
指標	(教)授業実施, (教)授業研究・改善							

基礎からはじめるＩＣＴ活用（中・特）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	366	—	566	—
		定 員			24		4	
期日	令和3年7月9日(金)							
目的	教育の情報化が推進される中で、分かりやすい授業及び主体的な学びを創造・実践するため、授業における基礎的なＩＣＴ活用の在り方について研修する。							
対象	教員							
内容	(講義) 教育の情報化と今後の展望 ■山口大学教育学部 准教授 阿濱 茂樹 (講義・実習) 教員のＩＣＴ活用 ーＩＣＴ機器を活用した授業づくりー (講義・実習) 生徒のＩＣＴ活用 ー1人1台端末を活用した授業づくりー (事例発表) 特別支援学校におけるＩＣＴ活用 ー個に応じた指導・支援の実際ー (研究協議) 授業におけるＩＣＴ活用の工夫							
指標	(教)授業研究・改善							

キャリアアップ研修(情報教育研修)

基礎からはじめるＩＣＴ活用（高・特）研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	467	567	—
		定 員				24	4	
期日	令和3年6月30日(水)							
目的	1人1台端末環境において、授業等でＩＣＴを活用するため、タブレット型端末の基礎的・基本的な活用方法について研修する。							
対象	教員							
内容	(講義) 1人1台端末環境におけるＩＣＴ活用の在り方 ー情報活用能力育成の視点を意識してー ■山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮 (講義・実習) ＩＣＴ活用の基礎Ⅰ ータブレット型端末と大型モニターの活用ー (講義・実習) ＩＣＴ活用の基礎Ⅱ ークラウドサービスの活用による教材作成ー (演習・研究協議) 授業等におけるＩＣＴ活用 ーＩＣＴの普段づかいに向けてー							
指標	(教)授業実施							

キャリアアップ研修(課題別研修)

子どもの学びを未来につなぐキャリア教育研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	268	368	468	568	—
		定 員		10	10	16	4	
期日	令和3年11月5日(金)							
目的	キャリア教育の実践者としての資質能力の向上を図るため、キャリア教育の取組の在り方を研修する。							
対象	教職員							
内容	(講義) 特別活動を要としたキャリア教育の充実 (講話) 学校と地域をつなぐキャリア教育 ー地域の未来を担う人づくりの視点からー ■株式会社ザメディアジョン・リージョナル 代表取締役 北尾 洋二 (事例発表) キャリア・パスポートの実践 (演習・研究協議) 教育活動全体を通じた組織的なキャリア教育の進め方 ー基礎的・汎用的能力を育むためにー							
指標	(教)キャリア教育,(教)道徳、総合、特活,(教)組織的学校運営,(教)家庭・地域等との連携,(教)人材育成							

農業の視点から持続可能な社会をめざす環境教育研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	269	369	469	569	—
		定 員		8	8	8	3	
期日	令和3年6月29日(火)							
目的	環境教育を実践するための資質能力の向上を図るため、地域資源を活用し、農業と持続可能な社会との関わりを通じた環境教育の進め方について研修する。							
対象	教職員							
会場	山口県立農業大学校(防府市牟礼318)							
内容	(講義・実習) 持続可能な農業生産と地球環境 ー山口県における農業の現状ー ■県立農業大学校 職員 (講義・実習) 農業から考える環境教育 ー農業実習を通してー ■県立農業大学校 職員 ※5コースから選択(予定) 野菜・花き・果樹・酪農・肉用牛 (研究協議) 持続可能な社会をめざす環境教育の進め方 ー各学校の取組を通してー							
指標	(教)人権教育,(教)道徳、総合、特活,(教)組織的学校運営,(教)家庭・地域等との連携,(養)人権教育,(養)道徳、総合、特活,(養)組織的学校運営,(養)家庭・地域等との連携,(栄)食に関する指導,(栄)人権教育,(栄)道徳、総合、特活,(栄)組織的学校運営,(栄)家庭・地域等との連携							

キャリアアップ研修(課題別研修)

JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 小学校 研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	270	—	—	570	—
		定 員		22			2	
期日	令和3年8月18日(水)							
目的	宇宙教育の理念について理解を深め、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の様々な教育資源を生かした「宇宙」を教材とした授業づくりの方法について研修する。							
対象	教員							
内容	（事例発表） 子どもたちの心に火をつける宇宙教育 ー好奇心・冒険心・匠の心を育てる取組を通してー ■国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 宇宙教育推進室 主事 古賀 友輔 （講話） 宇宙での活動を支える山口県の技術 ーアイデアから図へ、図から物へー ■株式会社ひびき精機 専務取締役 松山 功 （講義・実習） 地球と宇宙で数値が変わる？ ー理科における“正確”ー （講義・実習） 測って書いて切って折って組立てる惑星探査車 ー算数科、図画工作科における“正確”ー （研究協議） 宇宙の魅力を子どもの学びに生かすために							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善							

※会場は、総合教育支援センター以外で
行う場合のみ記載しています。

キャリアアップ研修(課題別研修)

JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業 中学校・高等学校 地理情報システム(GIS)を用いたデータ活用研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	371	471	571	—
		定 員			13	9	2	
期日	令和3年10月5日(火)							
目的	宇宙教育の理念について理解を深め、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の様々な教育資源を生かした「宇宙」を教材とした授業づくりの方法について研修する。							
対象	教員							
会場	山口大学工学部(宇部市常盤台2丁目16番1号)							
内容	(事例発表) 子どもたちの心に火をつける宇宙教育 ー好奇心・冒険心・匠の心を育てる取組を通してー ■国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙教育推進室 主事 古賀 友輔 (講義) 地球観測衛星データ利用とデータサイエンス ー衛星リモートセンシングの現在と未来ー ■山口大学工学部 教授 長井 正彦 (講義・実習) オープンデータを活用した探究活動の工夫 ー地理情報システム(GIS)を用いてー ■山口大学工学部 教授 長井 正彦 (研究協議) 「宇宙」を教材とした授業づくりの方法について							
指標	(教)授業計画, (教)授業実施							

社会教育の視点を学校教育に生かすための社会教育主事有資格者等研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	272	372	472	572	—
		定 員		10	6	2	2	
期日	令和3年10月22日(金)							
目的	地域連携教育に係る教職員の資質向上を図るため、学校教育を社会教育の視点から見つめ直し認識を深め、その円滑な推進・充実に向けた方法について研修する。							
対象	教職員(社会教育主事有資格者、社会教育主事講習修了者、社会教育主事養成課程修了者*、地域連携教育に係る教職員等)※大学等において社会教育に関する専門科目24単位取得した者							
内容	(講義) 社会教育・生涯学習の国と県における動向 (事例発表) 社会教育主事有資格者等の職務と期待される役割 ー学校との関わりを踏まえながらー (演習・研究協議) 社会教育主事有資格者等の専門性を現在の業務に生かすために							
指標	(教)組織的・学校運営, (教)家庭・地域等との連携							

社会教育の視点を業務に生かすための社会教育主事有資格者等研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	—	673
		定 員						40
期日	令和3年10月22日(金)							
目的	社会教育の視点を自分の業務に生かすとともに、地域連携教育の理解者の養成を図るため、自分の業務を社会教育の視点から見つめ直し認識を深め、その円滑な推進・充実に向けた方法について研修する。							
対象	市町職員（社会教育主事有資格者、社会教育主事講習修了者、社会教育主事養成課程修了者※、社会教育行政担当課職員）※大学等において社会教育に関する専門科目24単位取得した者							
内容	（講義） 社会教育・生涯学習の国と県における動向 （事例発表） 社会教育主事有資格者等の職務と期待される役割 —学校との関わりを踏まえながら— （演習・研究協議） 社会教育主事有資格者等の専門性を現在の業務に生かすために							

社会教育指導者のための人権教育研修講座		校 種	幼	小	中	高	特	教委
		講座番号	—	—	—	—	—	674
		定 員						40
期日	令和3年7月2日(金)							
目的	地域や職場等の人権意識の高揚と充実をめざし、社会教育指導者としての資質能力の向上を図るため、人権教育の考え方や進め方について研修する。							
対象	社会教育関係団体、企業、行政機関等で人権教育を担当している者							
内容	（講義） 子どもと人権 —児童虐待を中心に— （講義・演習） 情報化の進展と人権 （講義） 社会教育における人権教育の推進について （演習） 人権教育の効果的な進め方							

サテライト研修

サテライト研修の体系

サテライト研修

校内研修や教育研究会等を支援する研修

1 出前研修プラン

⇒ 所定の研修内容について、学校等へ出向いて行う研修（「SD」の講座）

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------|
| (1) 教育研修部 | 教職研修班 | 083-987-1180 |
| (2) 教育支援部 | 学校支援班(理科を除く教科全般) | 083-987-1190 |
| (3) 教育支援部 | 学校支援班(理科) | 083-987-1190 |
| (4) 教育支援部 | 情報教育班 | 083-987-1220 |
| (5) ふれあい教育センター | | 083-987-1246 |
| (6) 子どもと親のサポートセンター | | 083-987-1242 |

2 所内研修プラン

⇒ 所定の研修内容について、当センターを会場として行う研修（「SC」の講座）

教育支援部 学校支援班(理科)

3 リクエストプラン

⇒ 上記以外の研修内容について、その詳細を学校等と相談して行う研修（「SR」の講座）

受付開始日及び研修実施日

	受付開始日	研修実施日
○複数の学校による合同校（園）内研修会	4月 8日（木）～	5月11日（火）～2月末
○小・中・高・特の教育研究会の研修会	4月 8日（木）～	5月11日（火）～2月末
○市町教育委員会等による研修会	4月 8日（木）～	5月11日（火）～2月末
○単独の学校・園による校（園）内研修会	5月11日（火）～	6月11日（金）～2月末

1 出前研修プラン

時間・人数・会場等については、相談に応じます。

申込み方法については、ウェブページを御覧ください。

「研修内容」の記号は、次のとおりです。

○：講義中心 ◎：実習・演習中心 ☆：指導助言中心

(1) 教育研修部 教職研修班 083-987-1180

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 101	キャリア教育 セミナー	60～120	○キャリア教育の進め方 ・特別活動を要とした キャリア教育の進め方 ・キャリア・パスポート の活用 ・キャリア教育の実践事例 ☆キャリア教育の授業研究会に おける指導助言		○	○	○		5以上	

(2) 教育支援部 学校支援班(理科を除く教科全般) 083-987-1190

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 001	危機管理セ ミナー	60～90	◎危機管理に関する対応 ・危機管理のポイント ・危機管理演習 ・危険予測（KYT）学習		○	○	○	○	5以上	
SD 002	人権教育セ ミナー	60～120	○人権教育の進め方 ・山口県における人権教育の 推進について ・学習展開の工夫 ・ワークショップ等の手法の 紹介	○	○	○	○	○	5以上	
SD 003	教員のための AFPY活用セ ミナー	60～150	◎学校教育におけるAFPYの活用 方法 ・学級づくりとAFPY ・授業づくりとAFPY ・学校組織のチームビルディ ングとAFPY ・地域連携とAFPY 等	○	○	○	○	○	5以上	人数につ いては研修 内容に応じて 随時相談
SD 201	小学校 授業研究支援 セミナー	90～150	☆学習指導案検討会や授業研究 会における指導助言 ※授業研究会の運営についても 相談に応じます。		○			○	5以上	各学校等 の研究テー マに沿って 実施します。
SD 202	小学校 授業づくりセ ミナー	60～120	○◎学習指導要領で求められる 授業づくり ・言語活動の充実 ・ICTの有効活用 *国語、社会、算数、家庭科、 外国語活動・外国語、道徳		○			○	5以上	
SD 203	小学校 複式学級授業 づくり支援セ ミナー	60～120	○◎複式学級における授業づく り ・複式学級のよさを生かした 授業づくり ・複式学級における授業の充 実を図る指導の工夫 ・ICTの有効活用		○				3以上	

SD 204	小学校 授業評価を生 かした授業改 善セミナー	60～120	◎学習指導要領における授業評 価を生かした授業改善の在り 方 ・学習指導要領に対応した学 習評価 ・PDCAサイクルに沿った授業 改善の進め方 ・指導と評価の工夫		○			○	5以上	
SD 205	中学校 授業研究支援 セミナー	90～150	☆授業研究における学習指導案 検討・指導助言			○		○	5以上	各学校等の 研究テーマ に沿って実 施します。
SD 206	中学校 授業づくりセ ミナー	90～120	◎◎学習指導要領で求められる 授業づくり ・思考力・判断力・表現力等 を育てる授業 ・言語活動の充実 ・I C Tの有効活用 *国語、社会、数学、技術・ 家庭（家庭分野）、外国語 （英語）、道徳 *教科横断的な研修			○		○	5以上	その他の内 容について も相談に応 じます。
SD 207	中学校 授業評価を生 かした授業改 善セミナー	60～120	◎学習指導要領における授業評 価を生かした授業改善の在り 方 ・学習指導要領に対応した学 習評価 ・PDCAサイクルに沿った授業 改善の進め方 ・指導と評価の工夫			○		○	5以上	
SD 208	高等学校 授業研究支援 セミナー	90～150	☆授業研究における学習指導案 検討・指導助言					○	○	5以上 各学校等の 研究テーマ に沿って実 施します。
SD 209	高等学校 授業づくりセ ミナー	60～120	◎◎新学習指導要領で求められ る授業づくり ・思考力・判断力・表現力等 を育てる授業 ・言語活動の充実 ・I C Tの有効活用 *国語、地理歴史、公民、数 学、外国語(英語)、家庭 *教科横断的な研修					○	○	5以上 その他の内 容について も相談に応 じます。
SD 210	高等学校 授業評価を生 かした授業改 善セミナー	60～120	◎新学習指導要領における授業 評価を生かした授業改善の在 り方 ・学習指導要領に対応した学 習評価 ・PDCAサイクルに沿った授業 改善の進め方 ・指導と評価の工夫					○	○	5以上
SD 211	総合的な学習 (探究)の時 間セミナー	60～90	◎◎総合的な学習（探究）の時 間の指導と評価 ・総合的な学習（探究）の時 間の考え方や進め方 ・指導計画の改善 ・評価の在り方 ・I C Tの有効活用		○	○	○	○	5以上	

(3) 教育支援部 学校支援班(理科) 083-987-1190

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 301	小学校 理科授業研究 支援セミナー	90～150	☆授業研究における学習指導案 検討・指導助言		○			○	5以上	各学校等の 研修テーマ に沿って実 施します。
SD 302	小学校 理科実験セミ ナー 1	90～120	◎風やゴムの力の働き、光と音 の性質に関する観察、実験の 工夫 (A) 風やゴムの働きを使った おもちゃづくり (B) 光の明るさや温かさ、音 と震え方を調べる観察、 実験		○			○	5～30	
SD 303	小学校 理科実験セミ ナー 2	90～120	◎磁石の性質、電流がつくる磁 力の働きに関する観察、実験 の工夫 (A) 磁石に引き付けられる物、 極の間に働く力の性質を 調べる観察、実験 (B) 磁石の性質を使ったおも ちゃづくり		○			○	5～30	
SD 304	小学校 理科実験セミ ナー 3	90～120	◎電気の通り道、電流の働きに 関する観察、実験の工夫 (A) 電気を通すつなぎ方や物、 乾電池の数に関する実験 (B) 光電池の働きに関する実 験		○			○	5～30	
SD 305	小学校 理科実験セミ ナー 4	90～120	◎電気の利用に関する観察、実 験の工夫 (A) 発電・蓄電、エネルギー の変換に関する実験 (B) プログラミング実習		○			○	5～30	
SD 306	小学校 理科実験セミ ナー 5	90～120	◎振り子の運動やてこの規則性 に関する観察、実験の工夫 (A) 振り子の運動に関する実 験 (B) てこの規則性に関する実 験		○			○	5～30	
SD 307	小学校 理科実験セミ ナー 6	90～120	◎空気と水の性質に関する観察、 実験の工夫 (A) 空気や水の圧縮の違いに 関する観察、実験 (B) 空気や水の性質を使った ものづくり		○			○	5～30	
SD 308	小学校 理科実験セミ ナー 7	90～120	◎物と重さ、物の溶け方に関す る観察、実験の工夫 (A) 形や体積と重さの関係を 調べる実験 (B) 物が水に溶ける量の限度 や変化を調べる観察、実 験		○			○	5～30	
SD 309	小学校 理科実験セミ ナー 8	90～120	◎金属、水、空気と温度に関す る観察、実験の工夫 (A) 温まり方の違い（伝導、 対流）に関する観察、実 験 (B) 水の三態変化に関する観 察、実験		○			○	5～30	

SD 310	小学校 理科実験セミ ナー 9	90～120	◎燃焼の仕組みに関する観察、 実験の工夫 (A) 物を燃やす働きのある気 体を調べる観察、実験		○			○	5～30	
SD 311	小学校 理科実験セミ ナー 10	90～120	◎水溶液の性質に関する観察、 実験の工夫 (A) 水溶液の性質を調べる観 察、実験 (B) 気体が溶けている水溶液、 金属を変化させる水溶液 を調べる観察、実験		○			○	5～30	
SD 312	小学校 理科実験セミ ナー 11	90～120	◎身の回りの生物に関する観察、 実験の工夫 (A) 昆虫や植物の成長の観察 (B) 昆虫や植物の体のつくり の模型づくり		○			○	5～30	
SD 313	小学校 理科実験セミ ナー 12	90～120	◎植物の養分と水の通り道に関 する観察、実験の工夫 (A) でんぷんのでき方を調べ る観察、実験 (B) 水の通り道を調べる観察、 実験		○			○	5～30	
SD 314	小学校 理科実験セミ ナー 13	90～120	◎動物の誕生に関する観察、実 験の工夫 (A) 卵の中の成長や水中の小 さな生物を調べる観察、 実験 (B) 顕微鏡観察の基礎		○			○	5～30	
SD 315	小学校 理科実験セミ ナー 14	90～120	◎人の体のつくりと運動、働き に関する観察、実験の工夫 (A) 関節モデルの製作 (B) 手羽先を用いた関節の観 察		○			○	5～30	
SD 316	小学校 理科実験セミ ナー 15	90～120	◎天体に関する観察、実験の工 夫 (A) 太陽や月、星の動きを調 べる観察、実験		○			○	5～30	
SD 317	小学校 理科実験セミ ナー 16	90～120	◎天気の様子や変化に関する観 察、実験の工夫 (A) 水の自然蒸発と結露を調 べる観察、実験 (B) 雲と天気の変化を調べる 観察の工夫		○			○	5～30	
SD 318	小学校 理科実験セミ ナー 17	90～120	◎雨水の行方、流水の働き、土 地のつくりと変化に関する観 察、実験の工夫 (A) 雨水の行方を調べるモデ ル実験 (B) 流水の働きを調べるモデ ル実験 (C) 地層のでき方を調べるモ デル実験		○			○	5～30	
SD 319	小学校 理科実験セミ ナー 18	90～120	◎選べる実験セミナー ・各小学校理科実験セミナー の(A)(B)(C)から希望する 2つを組み合わせで実施		○			○	5～30	

SD 320	中学校 理科授業研究 支援セミナー	90～150	☆授業研究における学習指導案 検討・指導助言			○		○	5以上	各学校等の 研修テーマ に沿って実 施します。
SD 321	中学校 理科実験セミ ナー 1	90～120	◎身近な物理現象に関する実験 の工夫 ・光と音に関する実験 ・簡易分光器の製作 ・力の働きに関する実験			○		○	5～30	
SD 322	中学校 理科実験セミ ナー 2	90～120	◎電流とその利用に関する実験 の工夫 ・電流、電圧、抵抗、熱量に 関する実験 ・電流と磁界に関する実験			○		○	5～30	
SD 323	中学校 理科実験セミ ナー 3	90～120	◎運動とエネルギーに関する実 験の工夫 ・力のつり合いと合成・分解 に関する実験 ・I C T機器を活用した運動 の規則性、力学的エネル ギーの測定や分析			○		○	5～30	
SD 324	中学校 理科実験セミ ナー 4	90～120	◎身の回りの物質に関する実験 の工夫 ・物質のすがたに関する実験 ・水溶液と状態変化に関する 実験			○		○	5～30	
SD 325	中学校 理科実験セミ ナー 5	90～120	◎化学変化と原子分子に関する 実験の工夫 ・化学変化に関する実験 ・化学変化と熱に関する実験			○		○	5～30	
SD 326	中学校 理科実験セミ ナー 6	90～120	◎化学変化とイオンに関する実 験の工夫 ・酸・アルカリに関する実験 ・金属イオン、化学変化と電 池に関する実験			○		○	5～30	
SD 327	中学校 理科実験セミ ナー 7	90～120	◎いろいろな生物とその共通点 に関する実験、観察の工夫 ・生物のなかま分けに関する 実習 ・煮干しの解剖と観察、軟体 動物の解剖と観察			○		○	5～30	
SD 328	中学校 理科実験セミ ナー 8	90～120	◎生物の体のつくりと働きに関 する観察、実験の工夫 ・タブレット撮影用顕微鏡ア ダプターの製作 ・マイクロチューブを使った 唾液のはたらきを調べる実 験 ・手羽先を使った骨と筋肉の はたらきに関する観察			○		○	5～30	
SD 329	中学校 理科実験セミ ナー 9	90～120	◎生命の連続性に関する観察、 実験の工夫 ・タブレット撮影用顕微鏡ア ダプターの製作 ・細胞からDNAを抽出する 実験 ・身近な植物を用いた体細胞 分裂の観察			○		○	5～30	

SD 330	中学校 理科実験セ ミナー 1 0	90～120	◎大地の成り立ちと変化に関する観察、実験の工夫 ・溶岩の流れと火山の形に関するモデル実験 ・地震や地層に関するモデル実験			○		○	5～30	
SD 331	中学校 理科実験セ ミナー 1 1	90～120	◎気象とその変化に関する観察、実験の工夫 ・前線についてのモデル実験 ・アメダスを利用したデータ処理ソフト ・簡易雲発生装置			○		○	5～30	
SD 332	中学校 理科実験セ ミナー 1 2	90～120	◎地球と宇宙に関する観察、実験の工夫 ・天体学習用地球モデルを使ったモデル実験 ・天体の運動における I C T 機器の活用			○		○	5～30	
SD 333	中学校 理科実験セ ミナー 1 3	90～120	◎選べる実験セミナー ・各中学校理科実験セミナーの内容から希望する2つを組み合わせて実施			○		○	5～30	
SD 334	高等学校 理科授業研究 支援セミナー	90～120	☆授業研究における観察・実験における検討・指導助言					○ ○	5以上	各学校等の研修テーマに沿って実施します。
SD 335	高等学校 実習助手理科 実験セミナー	90～150	◎実習助手のための観察・実験の準備、方法及び器具、薬品の取り扱い					○ ○	原則として 3以上	

(4) 教育支援部 情報教育班 083-987-1220

I C Tセミナーの実習・演習は、センターの I C T機器を使用いたします。

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 401	I C Tセミ ナー 1	90～120	◎授業等における I C T活用の 基礎 ・教師及び児童・生徒が使う タブレット型端末の活用 ・クラウドサービスgoogle Workspace (旧G Suite)活用の基 礎	○	○	○	○	○	5～30	・個別のクラ ウドサービス の導入及び設 定方法につい ては対応いた しません。 ・対応可能な 機器や人数等 について、事 前にお問合せ ください。
SD 402	I C Tセミ ナー 2	90～120	◎クラウドサービスの活用の 基礎 ・Google Workspace (旧G Suite) の設定方法と役割 ・アンケートフォームの活用 ・同時編集機能の活用 ・遠隔機能の活用				○	○	5～30	・対応可能 な機器や人 数等につい て、事前に お問合せく ださい。
SD 403	I C Tセミ ナー 3	60	○学校における情報モラル教育・ 情報セキュリティ ・子どもたちを取り巻くイン ターネットトラブルの現状 ・学校における情報モラル教 育の在り方 ・個人情報の保護 ・学校における著作物の利用	○	○	○	○	○	5以上	・状況に応 じて、オン ラインによ る遠隔研修 も可能で す。
SD 404	I C Tセミ ナー 4	60	○保護者とともに考える情報モ ラル教育 ・子どもたちを取り巻くイン ターネットトラブルの現状 ・家庭における情報モラル教 育の在り方	○	○	○	○	○	5以上	・教職員と 保護者の参 加を前提と していま す。
SD 405	I C Tセミ ナー 5	90～120	◎小学校におけるプログラミング 教育の基礎 ・ロボットを用いたプログラ ミング実習 ・Scratchを用いた5年生算数 「正多角形の作図」実習 ・プログラミング教育ポータ ルサイトの活用		○				5以上	・対応可能 な機器や人 数等につい て、事前に お問合せく ださい。

※教育支援部 情報教育班 SD401・SD402は教育委員会からの要請のみ対応

(5) ふれあい教育センター 083-987-1246

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 501	発達障害教育 セミナー1 理解と支援	90～120	○◎ ・インクルーシブ教育システム と合理的配慮 ・発達障害等のある児童生徒の 適切な理解と必要な支援 ・校内支援体制の在り方	○	○	○	○	○	5以上	
SD 502	発達障害教育 セミナー2 学級づくり・ 授業づくり	90～120	○◎ ・「人・物・場」の視点で考 える学級づくり・授業づくり ・教材・教具の工夫 ・困難さに応じたICT機器の 活用	○	○	○	○	○	5以上	必要に応じ て、情報教 育班と連携 して実施し ます。
SD 503	発達障害教育 セミナー3 事例検討	90～120	○◎☆ ・全校体制による支援の実際 ・通常の学級における授業検討 (公開授業での指導助言等) ・事例検討による支援の検討 ・個別の教育支援計画、個別の 指導計画の活用 ・アセスメントの意義・目的、 心理検査の読み取りと支援へ の活用	○	○	○	○	○	5以上	各学校等の 研修テーマ に沿って実 施します。
SD 504	高等学校にお ける特別支援 教育セミナー	60～120	○◎☆ ・発達障害等のある生徒の理解 と支援の在り方 ・特別支援教育の視点を生かし た授業づくり、教材等の工夫 ・通級による指導(自立活動の 指導) ・困難さに応じたICT機器の 活用				○		5以上	
SD 505	特別支援教育 授業研究セミ ナー	90～120	○◎☆ ・特別支援学級における授業研 究(公開授業での指導助言等) ・特別支援学校における授業研 究(公開授業での指導助言等) ・新学習指導要領を踏まえた学 習指導案の検討 ・自立活動の指導 ・キャリア教育		○	○		○	5以上	各学校等の 研修テーマ に沿って実 施します。

(6) 子どもと親のサポートセンター 083-987-1242

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SD 601	サポートセ ミナー 1	90～120	◎いじめへの対応 ・いじめの問題の理解と対応 ・いじめの未然防止とその取組 ・事例を通して考えるよりよい 対応	○	○	○	○	○	5以上	
SD 602	サポートセ ミナー 2	90～120	◎不登校や集団不適応等への支援 ・不登校や集団不適応等の理解 と支援 ・事例を通して考えるよりよい 支援	○	○	○	○	○	5以上	
SD 603	サポートセ ミナー 3	90～120	◎教育相談 ・学校教育相談の機能 ・校内外の連携の在り方 ・幼児児童生徒理解のポイント ・応答の基本（電話、面接）	○	○	○	○	○	5以上	
SD 604	サポートセ ミナー 4	90～120	◎保護者連携 ・保護者理解と支援の在り方 ・応答の基本（電話、面接） ・事例を通して考えるよりよい 支援	○	○	○	○	○	5以上	

2 所内研修プラン（教育支援部）

所定の研修内容について、当センターを会場として行う研修です。

申込み方法については、ウェブページを御覧ください。

「研修内容」は、実習・演習中心（◎）です。

講座 番号	講 座 名	時間 (分)	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
				幼	小	中	高	特		
SC 001	理科実験セ ミナー	90～120	◎天体観察の基礎 ・天体望遠鏡の基本操作 ・プラネタリウムを利用した、 星空の観察	○	○	○	○	○	3～25	

3 リクエストプラン

出前研修プラン・所内研修プラン以外の研修内容について、その詳細を学校等と協議して
行う研修です。申込み方法については、ウェブページを御覧ください。

講座 番号	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
		幼	小	中	高	特		
SR 001	具体的な内容は、学校等と相談の上、決定します。 各学校等の実態に応じた研修テーマを設定できます。 〈例〉 ・各学校の研究課題等に応じた講義、実習・演習 ・教育研究会における指導助言	○	○	○	○	○	5以上	

課題解決型サポート研修

校内の研修計画・運営・振り返りを通して、ミドルリーダーの育成を支援します。
各学校の課題解決に向けた組織的な取組を、1年間、計画的・継続的に支援します。

同一校に年3回、センターから講師を派遣することに加えて、遠隔システムを活用して校内研修を支援します（講師旅費3回分はセンターが旅費を負担します）。その他、校内研修に関わるミドルリーダーからの電話相談・メール相談に対応します。

講座 番号	研 修 内 容	対 象					開講人数 目安	備 考
		幼	小	中	高	特		
SK 001	- 校内研修の年間プラン作成の段階から助言します。 - 学校独自の課題解決に向けた組織的な取組案について具体的に助言します。 - 校内研修後の振り返りでは、次回の研修運営に向けた助言を行い、校内研修のPDCAサイクルが回るようミドルリーダーを支援します。		○	○	○	○		申込締切 令和3年 2月5日 ※申込み は締切り ました。

＜参考＞令和4年度課題解決型サポート研修の申込み案内の通知を令和3年12月ごろに発出する予定です。

開放講義

※開放講義は、総合教育支援センターが実施する研修講座の受講とは異なり、研修講座の一部の講義を希望者に開放するものです。校種を問わず受講できます。

◆申込期間:令和3年4月12日(月)～各講義実施日の1週間前 ※定員になり次第締め切ります。

◆申込みは、やまぐち総合教育支援センターウェブサイト「開放講義」のメニューからお願いします。

検索

やまぐち総合教育支援センター

URL:https://www.ysn21.jp/

	開放講義名	講師	定員	日時 会場	開放している研修講座
1	習得・活用・探究における授業と評価の改善 ー主体的・対話的で深い学びの実現に向けてー	東京大学 名誉教授 帝京大学中学校・高等学校 校長補佐 市川 伸一	35	6/9(水) 10:00～12:00 講堂	探究する力の育成 をめざす授業づくり推進(リーダー養成)(1期)
2	小・中の学びの接続を重視した授業の在り方 ー円滑な接続を見据えた指導と評価についてー	信州大学学術研究院教育学系 教授 酒井 英樹	50	6/17(木) 13:00～15:50 大研修室	小・中の学びの接続を重視した外国語活動・外国語科(英語)
3	不登校の未然防止と支援	とね臨床心理士事務所 カウンセリング・オフィス「ZEN」 所長 刀根 良典	20	6/21(月) 13:20～15:50 101研修室	今日から始める不登校に関する支援の在り方
4	通級による指導を受けている幼児児童生徒への指導・支援 ーICT機器の効果的な活用事例を中心にー	島根県松江市立意東小学校 教諭 井上 賞子	30	6/ 28(月) 13:00～14:50 大研修室	通級による指導の充実
5	県民も参加 ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教育 ー発達障害のある子どもを含む全ての子どもたちのためにー	植草学園短期大学 教授 佐藤 慎二	100	8/2(月) 13:10～15:50 講堂	ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた発達障害のある子どもを含む全ての子どもへの支援
6	県民も参加 児童虐待が子どもの心身の発達に与える影響について	福井大学 教授 友田 明美	100	8/20(金) 13:20～15:50 講堂	生徒指導上の学校危機に備えるリスクマネジメント
7	県民も参加 今後の英語教育に求められること ー子どもたちが活用できる英語を身に付けるためにー	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 富高 雅代	50	9/22(水) 12:50～15:50 大研修室	新学習指導要領の実施に向けた外国語科(英語)
8	学校における働き方改革 ー教職員の意識改革と学校組織マネジメントの視点を踏まえてー	合同会社ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊	40	9/16(木) 9:50～12:00 大研修室	「学校における働き方改革」
計			425		

※県民も参加できる開放講義は、ひとづくり財団と共催して実施するものです。

オープンセミナー

※県民の皆様によまぐち総合教育支援センターの施設等を活用した講座を用意しています。

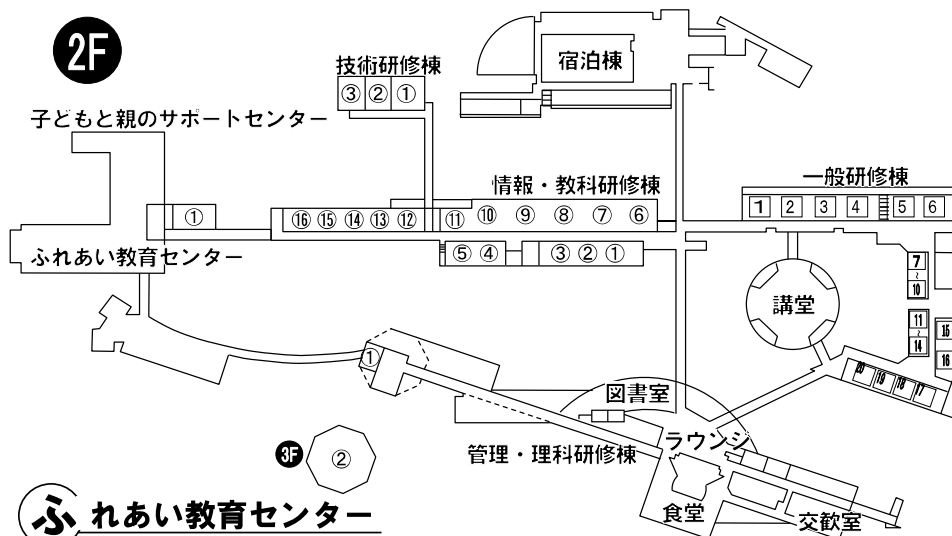
○：講義中心 ◎：実習・演習中心 △：視聴中心

講座 番号	講 座 名	内 容	対 象 者 〔定員〕	日 時	募集期間
OP1	夏休み子ども科学工作 サイエンス・アドベン チャー	◎風 電kizm いつまで回るのサー ～コンデンサーで回るコマを作ろ う～	小学3～6年生 (保護者同伴) 〔各回20組〕	(1回) 8/3(火) 10:00～12:00 (2回) 8/3(火) 14:00～16:00	7/1(木) 9時から 開催日の1 週間前まで
OP2	みんなで楽しむ天体観 測	○今晚の星空 ◎天体観測 (雨天時はプラネタリウムによる 解説と希望者は顕微鏡を使った 観察活動) ・天体望遠鏡による星の観測 ・季節を代表する星座の観測 ・天体望遠鏡の使い方 ・ICTを活用した星座探し 各回のテーマ (1回、2回) 火星と春の星座を観測しよう (3回、4回) 木星、土星と夏の星座を観測し よう (5回) 月、木星、土星と秋の星座を観 測しよう (6回、7回) 星雲・星団と冬の星座を観測し よう	一般 (中学生以下は 保護者同伴) 〔各回25人〕	(1回) 4/5(月) 19:00～20:30 (2回) 4/23(金) 19:00～20:30	3/4(木) 9時から 開催日の1 週間前まで
				(3回) 8/25(水) 19:30～21:00 (4回) 8/26(木) 19:30～21:00 (5回) 9/17(金) 18:30～20:00	6/3(木) 9時から 開催日の1 週間前まで
				(6回) 2/22(火) 18:30～20:00 (7回) 2/25(金) 18:30～20:00	令和4年 1/5(水) 9時から 開催日の1 週間前まで
OP3	プラネタリウムで楽し む夏の星空	○星空解説 「星の動き方」 「夏の星座の見付け方」 △番組投影 「夏・銀河のものがたり」 ○県内最大級の大型屈折式天体望遠 鏡及び天体ドームの見学(希望者 のみ)	一般 (小学生以下は 保護者同伴) 〔各回25人〕	(1回) 7/26(月) 14:30～15:30 (2回) 7/27(火) 14:30～15:30	6/3(木) 9時から 開催日の1 週間前まで
OP4	<小学校団体> 小学生のためのプラネ タリウム (随時) ※今年度終了予定	○北極星や各季節の代表的な星座の 見付け方 ◎星座早見の使い方	団体での見学を 希望する小学校 〔各回40人〕	要相談 ※土、日、祝日は除 く。 ※予約時に日程、 内容、投影時間 等を調整。	開催日の3 週間前まで

●申込み・問合せ先 やまぐち総合教育支援センター 教育支援部学校支援班

TEL 083-987-1190 FAX 083-987-0209 URL <https://www.ysn21.jp/>

施設案内



一般研修棟

- | | |
|------------|------------|
| 1 研修室 201 | 11 研修室 211 |
| 2 研修室 202 | 12 研修室 212 |
| 3 研修室 203 | 13 研修室 213 |
| 4 研修室 204 | 14 研修室 214 |
| 5 研修室 205 | 15 研修室 215 |
| 6 研修室 206 | 16 研修室 216 |
| 7 研修室 207 | 17 研修室 217 |
| 8 研修室 208 | 18 研修室 218 |
| 9 研修室 209 | 19 研修室 219 |
| 10 研修室 210 | 20 研修室 220 |

情報・教科研修棟

- ① マルチメディア室
- ② マルチメディア研究室
- ③ スタジオ録音室
- ④ 教育支援部情報教育班室
- ⑤ 教育支援部学校支援班室
- ⑥ ICT実践室（第2情報研修室）
- ⑦ パソコン研修室（第1情報研修室）
- ⑧ 情報管理室
- ⑨ やまぐち学びプラザ
- ⑩ 情報技術研究室
- ⑪ 教科第1研修室（情報技術研修室）
- ⑫ 研修補助室（視聴覚研究室）
- ⑬ 教科第2研修室（視聴覚研修室）
- ⑭ 音楽研修室
- ⑮ 音楽研究室
- ⑯ 演奏室

ふれあい教育センター

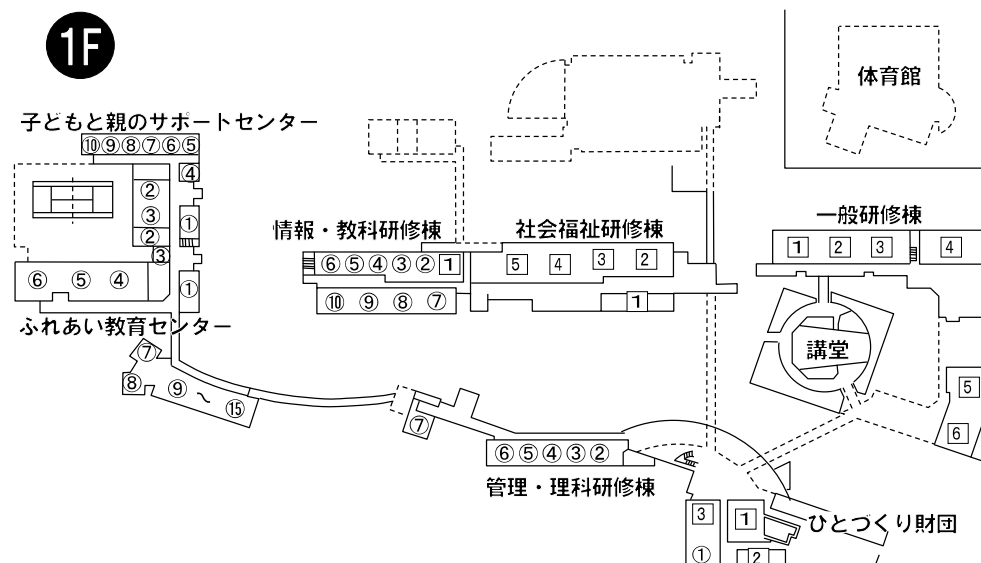
- ① 教材・教具研究室

技術研修棟

- ① 木材加工・金属加工・機械実習室
- ② 研究室
- ③ 電気工作室

管理・理科研修棟

- ① 気象観測室
- ② 天体観測室



一般研修棟

- | |
|------------|
| 1 研修室 101 |
| 2 研修室 102 |
| 3 研修室 103 |
| 4 大研修室 |
| 5 セミナー室（2） |
| 6 セミナー室（1） |

社会福祉研修棟

- ① 社会福祉研修部
- ② 社会福祉研修室（1）
- ③ 社会福祉研修室（2）
- ④ 介護実習室
- ⑤ リハビリテーション実習室

情報・教科研修棟

- ① 調理実習室
- ② 食物実習室
- ③ 食物研究室
- ④ 家庭科実験室
- ⑤ 被服研究室
- ⑥ 被服実習室
- ⑦ 第2多目的研修室（幼児教育研修室）
- ⑧ 幼児教育研究室
- ⑨ 造形・書道書写研究室
- ⑩ 第1多目的研修室（造形・書道書写研修室）

ひとづくり財団

- ① 管理部
- ② 自治研修部
- ③ 県民学習部

子どもと親のサポートセンター

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 研究室 | ⑤ ふれあい相談室 |
| ② プレイルームA | ⑥ 相談室B |
| ③ プレイルームB | ⑦ 相談室C |
| ④ 待合室 | ⑧ 心理検査室 |
| | ⑨ 相談室D |
| | ⑩ 相談室E |

聴覚・言語訓練室
感覚・知覚訓練室

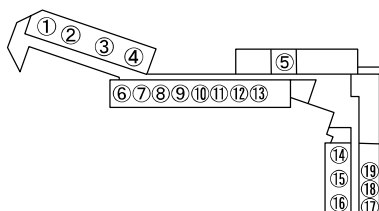
管理・理科研修棟

- ① やまぐち総合教育支援センター
- ② 物理実験室
- ③ 物理研究室
- ④ 電磁気・教育工学実験室
- ⑤ 電磁気・教育工学研究室
- ⑥ 精密機器測定室
- ⑦ プラネタリウム

ふれあい教育センター

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 研究室 | ⑦ プレイルームE（感覚・知覚訓練室） |
| ② 医務室・救急安静室 | ⑧ プレイルームF（聴覚・言語訓練室） |
| ③ 待合室 | ⑨ 相談検査室 1 |
| ④ プレイルームC（機能訓練室） | ⑩ 相談検査室 2 |
| ⑤ プレイルームD（遊戯療法室） | ⑪ 相談検査室 3 |
| ⑥ 温水プール | ⑫ 相談検査室 4 |
| | ⑬ 相談検査室 5 |
| | ⑭ 相談検査室 6 |
| | ⑮ 生活指導研究室 |

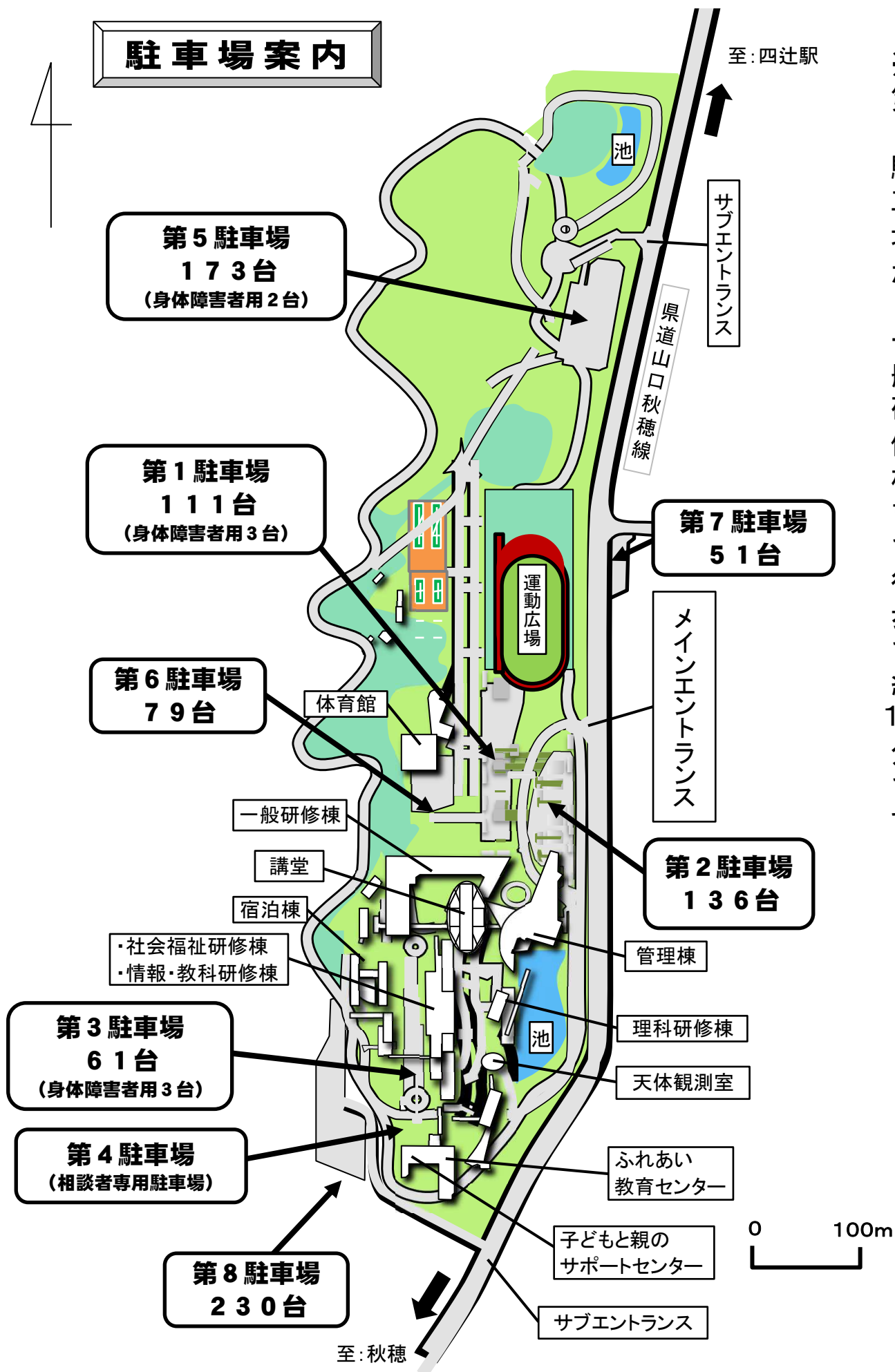
B1F



理科研修棟

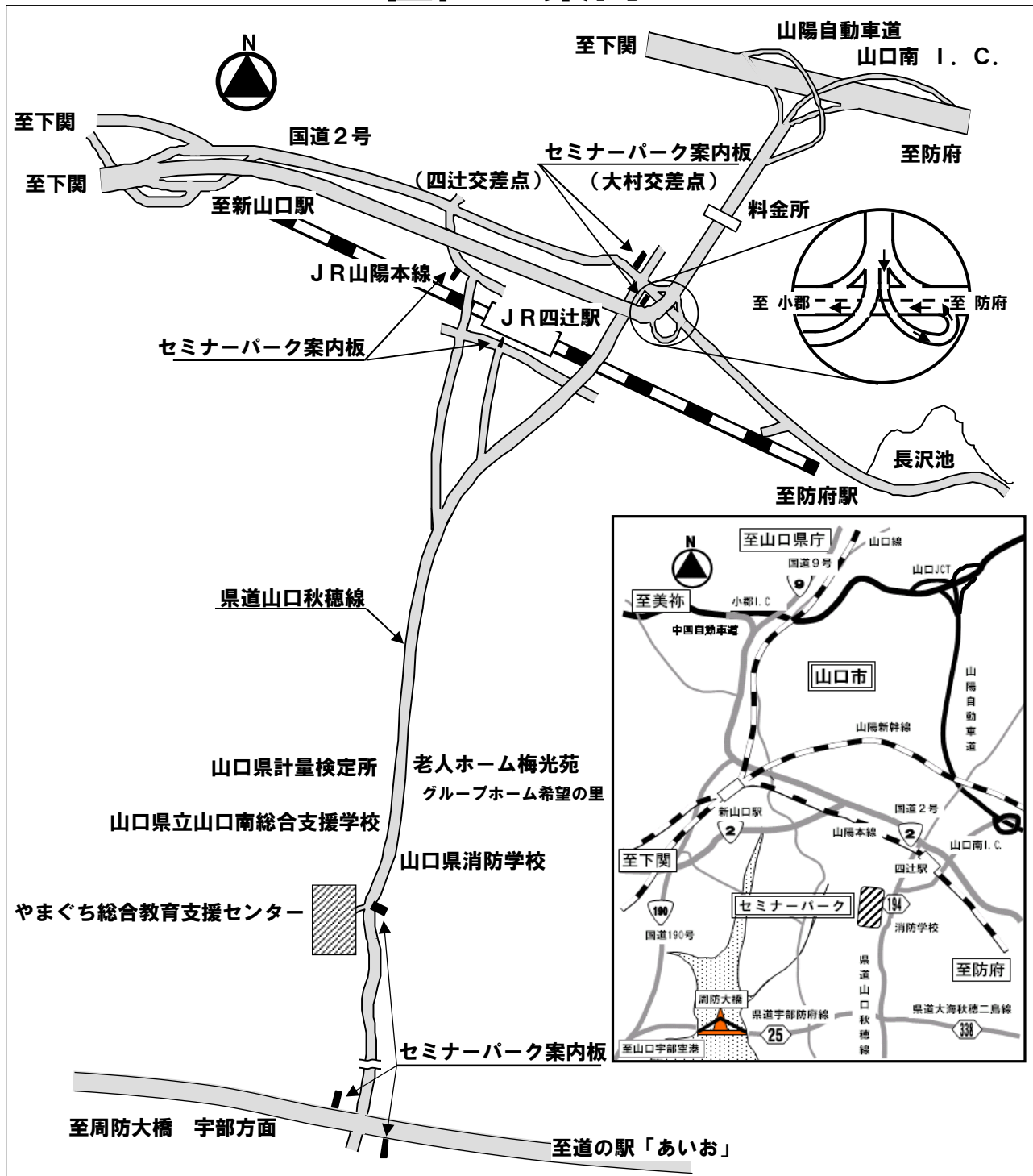
- | | |
|-----------|----------|
| ① 岩石加工室 | ⑪ 機器分析室 |
| ② 標本室・資料室 | ⑫ 化学研究室 |
| ③ 理科学習室 | ⑬ 化学実験室 |
| ④ 理科研究室 | ⑭ 生物研究室 |
| ⑤ 天秤室-1 | ⑮ 生物実験室 |
| ⑥ 地学研究室 | ⑯ 恒温飼育室 |
| ⑦ 地学実験室 | ⑰ 生理実験室 |
| ⑧ 天秤室-2 | ⑱ 無菌実験室 |
| ⑨ 理科学習室 | ⑲ 電子顕微鏡室 |
| ⑩ 廃液処理室 | |

駐車場案内



※第5駐車場から一般研修棟まで徒歩で約15分です。

位置・案内



交通の御案内

JR山陽本線	新山口駅から約10km(タクシー約15分)
JR山陽本線	四辻駅から約3km(タクシー約5分)
山陽自動車道	山口南I.C.から車で約10分
中国自動車道	小郡I.C.から車で約20分

やまぐち総合教育支援センター

〒754-0893
 山口県山口市秋穂二島1062番地
 TEL 083-987-1160(代表)
 FAX 083-987-1200
 URL <https://www.ysn21.jp/>